

年報

2023

vol.21

～人と自然と文化の調和した丹波の森づくりをめざして～



(公財)兵庫丹波の森協会

県立丹波の森公苑

県立丹波年輪の里

県立ささやまの森公園

県立丹波並木道中央公園



もくじ

森トピックス	P1
活動方針	P2
事業報告	P7
兵庫丹波の森協会事務局 丹波の森公苑	P49
講座一覧	P50
出前講座の状況	P56
活動一覧	P58
施設利用一覧	P63
評議員会・理事会・運営委員会の開催状況及び委員等名簿	P65
機能	P70
沿革	P75
施設の概要	P77
組織と職員	P79
丹波年輪の里	P81
活動一覧	P82
施設利用一覧	P84
運営協議会委員及び関係者名簿	P85
沿革	P86
施設の概要	P88
組織と職員	P89
ささやまの森公園	P90
活動・施設利用一覧	P91
運営協議会の開催状況及び委員名簿	P97
機能	P99
沿革	P100
施設の概要	P102
組織と職員	P103
丹波並木道中央公園	P104
活動一覧	P105
施設利用一覧	P110
森の円卓会議の開催状況及び委員名簿	P117
施設の概要・沿革	P119
組織と職員	P120
利用案内	
利用案内	P122

1 森トピックス

1. 花と緑を活かしたイベントの実施 . . . P19

丹波並木道中央公園

2. いどうこんちゅうかん . . . P21

丹波の森公苑

3. 体験プログラムの展開 . . . P25

里山体験班のプログラム 里山伝承班のプログラム

ささやまの森公園

4. 丹波の森公苑リニューアルオープン記念式典 . . . P33

丹波の森公苑

5. 丹波の森公苑リニューアルコンサート . . . P34

丹波の森公苑

6. ティラノサウルスレース in 丹波竜の里 . . . P36

丹波年輪の里

令和５年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会活動方針

兵庫丹波の森協会は、昭和６３年（１９８８）に設立（平成２４年（２０１２）公益財団法人へ移行）され、「丹波の森宣言」（昭和６３年９月）に基づき、丹波地域を「丹波の森」と位置づけ、緑豊かな自然環境と伝統文化など地域の特性や資源を生かしながら、人と自然と文化、産業の調和した地域づくりを目標に、住民、事業者、行政が一体となって、「丹波の森づくり」を推進してきました。

また、県立４施設（丹波の森公苑、丹波年輪の里、ささやまの森公園、丹波並木道中央公園）の指定管理者として、丹波の森づくりの理念に基づいて、施設運営に取り組んでいます。

平成３０年度には、「丹波の森宣言」から３０周年を迎え、今後の３０年を見据えた方向性「丹波の森づくりのこれから」を示しました。

また、「丹波の森づくり」の推進の原動力となり、その礎を築かれた河合雅雄先生が取り組まれた丹波の森大学、縄文の森塾、ウィーン国際交流のシンボル事業でもあるオオムラサキの保護増殖等、当協会の主要事業として展開してきました。

令和４年度は、まだまだ新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない中ですが、感染対策を徹底し、計画した事業はほぼ実施することができました。

丹波地域は、豊かな自然環境や森のスローライフなどの生活スタイルに欠くことができない地域特性を有し、新型コロナと共存することとなる今後の社会にとって、最も適応した地域とされ、田園回帰など移住者の増加につながっています。

しかし一方で、令和３年度に丹波県民局が実施したアンケート調査において、丹波地域で３０年以上にわたり取り組んできた「丹波の森宣言・丹波の森構想」の理念や活動に対する認知度が３割未満であることがわかりました。

この結果を受け止め、令和５年度においては、丹波の森宣言・丹波の森構想を基本理念とし実現するため「アクションプラン」づくりを重要な課題として取り組みます。

１ （公財）兵庫丹波の森協会の施策推進について（課題を踏まえて）

１）課題等

理事会や小委員会の中で、次の通り当面の課題を整理しました。

①丹波の森づくり（理念の浸透）

丹波の森宣言・丹波の森構想・「丹波の森づくり＝丹波の地域づくり」の理念を地域の皆さんに浸透させること、あわせて、地域へ浸透させる役割を担う協会や県・市職員が、理念を学び返すことが重要であること。

②丹波地域の皆さんに伝える

丹波の森づくり（丹波の森宣言や丹波の森構想）とは何に取り組むことなのか、兵庫丹波の森協会は、どんなことをしている組織なのかを住民に知ってもらうこと。

③社会環境の変化

協会設立当初は１０町で構成され、また、地域づくりを支援する民間組織がなかった時代から、２市になり多くのＮＰＯ法人など民間中間支援組織や地域で積極的に活動する人が生まれるなど社会環境が変わる中で、協会のあり方や取り組みの整理が必要になっていること。

④協会・２市・県民局の連携強化

丹波の森づくりを効果的に事業推進するためには、今以上に、協会、市、県の連携が重要であることから、それぞれの役割を明確にすること。

⑤丹波の森づくり（人材づくり）

丹波の森に関わる人材づくりのため、森づくりに関わる人をつなぎ、新たにかかわる人材を育成する、また、中間支援組織（民間）との連携、子どもから高齢者まで切れ目のない人材育成すること。

⑥丹波の森研究所

研究テーマや研究に向けた取り組みに対し、２市との連携を深めるとともに、２市にある中間支援組織との連携を深めること。

⑦４指定管理施設の取り組み

協会が管理運営する意義を考え、丹波の森づくりの拠点であることから、理念に沿った取り組みを進め、さらに4施設の連携を深めて、直接、地域住民や参加者に丹波の森づくりを伝えるとともに、将来の指定管理者の公募に向けた強みを作り出すこと。

⑧計画の修正や成果指標

丹波の森づくりを計画的に進めていく中で、定期的に計画を検証する。目標を設定し、成果を評価する仕組みをつくること。

2) 課題等に対する令和5年度の取り組み

①「アクションプラン」づくり

小委員会や市・県・協会の議論を深め、「丹波の森宣言・丹波の森構想」の理念を実現するための「アクションプラン」を協議し、理事会に対して、経過を随時報告するとともに、アクションプランを決定します。

・小委員会

協会理事、市県担当者、丹波の森研究所研究員で構成する「丹波の森」を考える小委員会で、30年記念に整理された「丹波の森づくりの取組の方向（提言）」及び「丹波2050地域ビジョン」を踏まえつつ、理念を実現する「アクションプラン」について協議・検討します。小委員会のメンバーに加え、現在丹波地域で活動している人や団体、過去に丹波の森構想に取り組んできた研究員など、様々な方々に意見を聞く場も設定します。

・市、県、協会協議

アクションプランは、市、県、協会で策定を進めるものであり、ともにプランづくりに取り組むとともに、小委員会にかかる基礎資料の整理や提供、市民を巻き込む方策について検討します。

・地域住民への周知

関係者だけで構想やアクションプランをつくるのではなく、その過程も含め、地域住民を巻き込みながら、策定を進めます。具体的な住民の巻き込み方については、市とともに検討していきます。

②継続した取り組みの中での丹波の森づくり（理念の浸透）

- ・子どもから高齢者まで、切れ目なく「丹波の森づくり」を学べるよう取り組みます。
- ・丹波の森づくりを周知する広報誌（市広報誌への掲載を含む）の作成、地域住民への理念の浸透とともに、協会の取り組みを周知します。
- ・4施設連携の一環として、各施設のプログラムやイベント情報を掲載した広報誌の作成を検討します。
- ・協会（4施設含む）が実施するプログラムやイベント開催時において、丹波の森づくりにかかる理念の浸透を図ります。

③協会・2市・県民局の連携強化

- ・定期的な市・県政策部門との会議開催（推進連絡会）
- ・分野ごと、事業ごとに、協会（研究所含む）と市関係部門との連携
- ・協議を進めることで、それぞれの役割を明確にし、一体的に丹波の森づくりを推進します。
- ・地域住民への理念浸透に対し、重要な役割を担う市及び協会職員が丹波の森づくりを学ぶ場を作ります。
- ・丹波の森研究所は、市・県との連携を図り、地域課題解決のため、市・県と地域とともに考える地域伴走型支援を行います。

④丹波の森づくり（人材づくり）

- ・子どもから高齢者まで、切れ目のない学びや体験が提供できるよう、講習や講座、プログラムなど、取り組みや事業の整理を行います。
- ・丹波の森大学では、だれもが参加しやすい環境の整備（開催曜日や時間、回数、市との連携開催など）検討するとともに、丹波の森づくりの理念を広く浸透させます。あわせて、学びを深化させるため、ワークショップ形式（ゼミ方式）を一部取り入れます。
- ・丹波の森大学を市と連携して取り組むことにより、より深く丹波の森づくりを地域に浸透させます。

⑤民間組織や人との連携強化

- ・神戸大学丹波篠山フィールドステーションや丹波市市民活動支援センター等の中間支援組織との情報共有を図り、それぞれと連携し、効率的・効果的な丹波の森づくりを推進します。

⑥ 4 指定管理施設の運営

- ・協会が指定管理者である強みをさらに深めるため、丹波の森づくりを基軸とした施設運営に努めます。地域住民や参加者に直接伝える取り組みを推進します。
- ・3施設は、令和5年度は、現指定管理期間の最終年度であり、同時に次期指定管理に向け取り組む年度です。引き続き指定管理者に選定されるよう、充実したプログラム作りに取り組めます。
- ・2025年の「大阪・関西万博」に向け、4つの施設や丹波の森の魅力を国内外アピールできるよう、4施設が連携したフィールドパビリオンとして魅力あるプログラムの提供に取り組めます。

指定管理施設の在り方については、現時点では不透明な部分もありますが、丹波の森構想、丹波の森宣言を推進する中心である「公益財団法人兵庫丹波の森協会」の目指す方向性は、明確であり、丹波の森づくりを広く地域住民に浸透させ、丹波の森づくりに関わる人材を育成・確保することが重要です。これらの取り組みは、協会だけでなく、協会を設立した2市と県とともに、連携を深め、継続して職員意識の向上を図ることは不可欠です。今後さらに議論を深め、丹波地域の自然環境を守り育て、緑を基軸とした「人と自然と文化」の調和した丹波地域の森づくりを推進します。

最後に、財政上の課題として、県補助金である地域振興事業補助金の大幅な減額や、金利の低下により基本財産にかかる運用益も低減する中、協会の収入確保は厳しい状況にあります。令和5年度においては、事業の見直しや拡充などを進めるとともに、丹波の森づくり基金の計画的な活用を検討します。

2 部門・施設ごとの主な取り組み方向

【公益財団法人兵庫丹波の森協会（公益目的事業）】

- 1 森林文化（地域づくり）の創造
人と自然が共生する丹波の森づくりを推進するために
 (1) 魅力ある地域づくりの推進
 (2) 生物多様性保全に向けた豊かな地域づくりの推進
 (3) 生物多様性を育む地域とのふれあい事業の推進
- 2 生活創造活動への支援
多様なライフスタイルの創造を支援するため、地域・団体活動の支援や生涯学習の場の提供、くらしの安全安心の推進、明日を担う丹波っ子の育成など生活創造活動への支援を行う。
- 3 芸術文化の振興
人と人、人と自然のふれあいの中から生まれた文化を大切に作る心を醸成するとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供や芸術文化活動の振興、芸術文化団体活動の支援など芸術文化の振興を図る。

1) 協会事務局

- ・丹波の森宣言及び森構想に即した「アクションプランづくり」
丹波の森を考える小委員会や市・県との協議の場を設け、「アクションプラン」等づくりに取り組みます。
- ・市、県との連携強化
丹波の森構想推進連絡会（協会と市政策部門の会議）を定期的に開催し、理念推進に向け、連携を図るとともに、役割、職員意識の向上を図っていくとともに、具体的な取り組みに繋げていきます。
- ・指定管理の継続に向けて
3施設が、令和5年度で指定管理期間が終了します。次期指定管理に向け、情報の収集を図り、丹波の森づくりの拠点として、継続して指定管理が受けられるよう取り組みます。
- ・丹波の森大学（丹波の森研究所とともに）
若い年代を含め、広い世代が丹波の森づくりを学べる環境づくりを進めるとともに、丹波の森づくりに関わる人材の育成を進めます。あわせて、市及び協会職員の研修の場として位置づけ、丹波の森づくりを推進する人材、意識向上を図っていきます。
- ・ウィーン市13区ヒーティングとの都市間友好親善提携の締結
丹波篠山市、丹波市とウィーン市13区の新たな都市間友好親善提携に向け、2市と連携しながら令和5年度内の締結を目指します。友好親善訪問やオオムラサキを通じた交流とともに、WEB

などを活用した新たな交流を検討していきます。

2) 丹波の森研究所

・「アクションプラン」づくり

令和5年度の重点的な取り組みとして、「丹波の森」を考える小委員会や市・県との連携会議をコーディネートし、アクションプラン（案）等の作成に取り組みます。

・市、県との連携

市とともに調査研究のあり方を検討し、政策部門のみならず、調査研究に関係する部門と今以上に連携を深め、情報を収集し、情報と課題を共有する中心的な役割を担うとともに、今後の研究テーマを検討します。

・地域伴走型シンクタンク活動の強化

市、県との連携を図るとともに、地域活性化や地域固有の課題についても地域住民とともに考え、課題解決に向けた支援を行います。また、神戸大学丹波篠山フィールドステーションや丹波市市民活動支援センター等の中間支援組織や地区のまちづくり協議会や自治協議会との連携協働を図り、課題解決に向けた支援を行います。

・生物多様性の保全創生

丹波地域の自然、生活、文化の継承と再生を図るための重要な基盤となる生物多様性について、丹波の森公苑の里山エリア等を中心に保全創生に関わる実践的な取り組みを行い、定期的な情報発信を行います。

・連携による研究所のサポート体制の強化

人と自然の博物館や森林動物研究センターなどの研究機関との連携強化、市民・企業・大学からの研究員参加など研究所のサポート体制の多角化・強化を図ります。

3) 丹波の森公苑

・丹波の森づくりの理念の浸透と人材づくり（担い手の育成）

自然体験学習、里山の整備、芸術文化の振興などの各種事業を継続展開し、各事業ごとに丹波の森づくりに関する考え方を説明し理解を進めるとともに、事業での取組や体験が地域で実践されるよう丹波の森づくりの担い手育成に繋がります。

・施設の利用促進

令和3～4年度のホール天井耐震化、各施設の修繕、アトリエ棟・テニスコートの改修など、大規模な改修工事完了の機を捉え、今後のさらなる利用促進に向けたリニューアルオープン記念事業を実施します。

・人と自然が共生する丹波の森づくりの推進

丹波の森公苑の里山を活用し、森づくり講座の開催や里山ボランティアとの協力を通じて里山林の利活用を考える機会を提供するとともに、それに携わる人材を育成します。また、「丹波縄文の森塾」、「里山の秋の実り体験」、「国蝶オオムラサキの舞う里山づくり」等により自然体験学習の場を提供し、森づくりに参画する人材の育成を図るとともに、青少年の環境学習を推進します。

・多様なライフスタイルを創造するための活動支援

丹波地域の生活創造活動グループの活動を支援するとともに、「丹波OB大学・丹波OB大学大学院」、「講座丹波学」の開設等により生涯学習と交流の機会を提供し、地域づくりに参画する人材養成に取り組みます。また、「丹波の森子どもミュージカル体験塾」の開催等により子どもたちの感性や表現力を磨き、芸術を創造する楽しさを体験する機会を提供し、日を担う丹波っ子を育成します。

・丹波が誇れる芸術文化の振興

「丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば実行委員会」のコンサート開催等を支援し、優れた芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、地域内外の交流を促進します。また、丹波地域の文化協会・広域文化団体で組織する「丹波文化団体協議会」の芸術文化活動を支援するとともに、丹波の森公苑のホールや展示ギャラリー施設を最大限活用し、芸術文化の振興を図ります。

4) 丹波年輪の里

・木エクラフトや木育を通じた丹波の森づくりの普及と人材づくり

木エクラフトを体験することで自然の恵みを感じ、木育を通じて木材への親しみや木の文化への理解を深めることで、丹波の森づくりにかかる人材を育成します。

・カルチャー・スポーツ・レクリエーションの促進

労政福祉課のCSR施設としてゴールデンウィークフェスタ、心を届けるたんば絵てがみコンク

ール、グラウンドゴルフ大会など魅力ある事業の展開や、活動団体を支援することにより、県民の憩いの場を提供します。

- ・丹波地域におけるクラフト文化の向上、創作活動の普及促進

丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ大賞展）やアートクラフトフェスティバル、座っ展、ウッドワーカーズクラフトなど、木とのふれあいを通じた芸術文化活動を振興する事業を進めます。

- ・遊びを通して木のぬくもりや良さを伝える木育活動の推進

五感を通じて木の良さや温もり、優しさを感じられるよう、幼児を対象として県下の認定こども園等への木のおもちゃの貸出しやワークショップを実施します。

5) ささやまの森公園

- ・自然の恵み「森の活力」を体験することで丹波の森づくりの大切さを知る

255haの樹林が育む「森の活力」を体験し、「里山の美しさ」「森の創造力」を実感することで、丹波の森づくりに共感する森人を育成します。

- ・森づくりを愛する森人を育てる

プログラムのほとんどはボランティア”活動スタッフ”の手により企画、運営されています。このボランティア活動を推し進めながら、丹波の森づくりに直接かかわる森人を育成します。

- ・縄文の知恵を今に伝える里山文化の記録と保存

里山に伝わる有形・無形の文化財を「守り、伝えて」、新時代に求められる新たな知恵を「創造」します。

- ・感動の森の創造

来園者の方々が「来てよかった」、「また来たい」と言ってもらえる公園づくりに努めます。

6) 丹波並木道中央公園

- ・数多い若い世代の来園者と地場産材を加工できる製材設備を活用した丹波の森づくり広く普及する

都市と農村の交流及び地域活性化の拠点となる丹波地域初の都市公園。子育て世代を中心に若い世代の利用が多く、さらに4施設の中で唯一製材施設を有している公園。幅広い世代へ丹波の森づくりを伝えることに取り組みます。

- ・公園の資源を活用した公園運営に取り組む

公園の資源である自然環境、生物多様性、里山、棚田、丹波の特産物などを活用して、来園者が丹波の森を感じる事業やイベントを地域や各種団体と連携強化を図りながら取り組みます。

- ・多様な世代が楽しめる公園運営に取り組む

丹波地域恐竜化石フィールドミュージアムのコア施設として整備された「動く恐竜模型」「恐竜遊具」と、サイクルを生かした地域活性化の拠点として整備された「サイクルステーション」を広くPRし、多様な世代が楽しめる公園運営に取り組めます。

事業報告

令和5年度に実施した（公財）兵庫丹波の森協会の主要な事業・取り組み

公1 森林文化（地域づくり）の創造

（1）魅力ある地域づくりの推進

- ・丹波の森大学の開設
- ・ウィーンの森親善訪問事業
- ・丹波の森研究所
- ・地域づくり支援事業
- ・花と緑の地域づくり事業
- ・花づくり活動支援事業
- ・丹波の森フェスティバルの開催
- ・丹波年輪の里事業
- ・丹波並木道中央公園事業

【県立丹波年輪の里】
【県立丹波並木道中央公園】

（2）生物多様性保全に向けた豊かな地域づくりの推進

- ・丹波地域生物多様性保全学習事業
- ・丹波の森公苑里山事業
- ・丹波の森公苑環境学習推進事業
- ・縄文の森ユース躍動プロジェクト事業
- ・ささやまの森公園事業

【県立ささやまの森公園】

公2 生活創造活動への支援

（1）地域・団体活動の支援

- ・生活創造活動支援事業（消費生活を含む）
- ・生活創造活動施設貸し館業務
- ・スポーツ大会・文化教室の開催

【県立丹波年輪の里】

（2）生涯学習の場の提供

- ・兵庫県地域高齢者大学4年制大学講座（丹波OB大学）の開設
- ・兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座（丹波OB大学大学院）の開設
- ・講座「丹波学」の開設
- ・丹波地域学ぶ高齢者のつどいの開催

（3）明日を担う丹波っ子の育成

- ・トライやる・ウィーク等の受入
- ・丹波の森子どもミュージカル体験塾の開催
- ・丹波（丹波篠山市・丹波市）のむかしばなし語りペクラブの活動支援

【全施設】

公3 芸術文化の振興

（1）舞台芸術鑑賞機会の提供

- ・丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんばの開催
- ・丹波の森公苑ホール等自主事業

（2）芸術文化活動の振興

- ・アートクラフトフェスティバル in たんばの開催
- ・丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ展）の開催
- ・丹波の森アートフェスティバルの開催
- ・展示ギャラリーの開設
- ・伝統文化活性化支援事業
- ・座っ展 2023—丹波で坐る木の椅子—の開催

【県立丹波年輪の里】

公共 丹波地域情報の発信等

（1）丹波地域情報の発信等

- ・情報発信等

他1 芸術文化団体等活動支援事業

（1）芸術文化団体等活動支援

- ・芸術文化団体等への活動支援
- ・音楽活動団体等への支援

【全施設】

※【 】書きは実施している施設名を記載。記載がないものは県立丹波の森公苑で実施。

丹波の森大学の開設

◇実施内容

学習の基本テーマを「森のデザイン」とし、持続可能で魅力あふれる丹波の森づくりをめざすきっかけを学びました。現地学習では、神戸市立森林植物園に出向き、六甲山の山並みを背景に木本植物などを見学することができました。また、今年度より初めての試みとしてワークショップ（ゼミ形式）を取り入れて、講師や他の受講生の方と議論し、交流できる方法をつくり、受講生たちの地域づくりに活用できるきっかけづくりになりました。

開催期間：5月27日（土）～令和6年1月20日（土）

講義10回と現地学習1回

5月27日（土）に開講式を開催

令和6年1月20日（土）に閉講式を開催

場 所：丹波の森公苑、丹波篠山市民センター

受 講 者：50人（延べ541人）

（詳細はP50講座一覧表に掲載）



講義

◇成果（自己評価等）

丹波の森の空間デザインや生活デザインの視点から、丹波地域の将来像について、受講生とともに考えました。また、「丹波の森構想」の理念や丹波地域の地域づくり活動に関わることの醍醐味を、改めて確認することができました。

ウィーンの森親善訪問事業

◇実施内容

○ウィーン市写真展の開催

ウィーン市13区ヒーティング友好親善提携30周年記念として、ウィーン市在住の「カール・ハインドル氏写真展」を開催しました。

開催場所及び期間

①丹波の森公苑 7月25日（火）～8月3日（木）

②ゆめタウン丹波 8月9日（水）～17日（木）

③丹波篠山市民センター 8月18日（金）～24日（木）

写真点数 19点



ウィーン市写真展（ゆめタウン丹波）

○シューベルティアードたんば2023ガラ・コンサート

友好親善提携30周年記念事業とし、ウィーン13区出身のピアノ奏者を招き開催しました。開演にあたり、提携当時のウィーン市13区ヒーティング元区長からのメッセージを紹介し、30年に亘る交流の歩みを振り返りました。

Ausblick auf die Partnerschaft von Hietzing mit Tanba-no-mori

- Die Intensität der gemeinsamen Kontakte ist wegen verschiedener Probleme geringer geworden.
- Die Gründe sind teilweise personelle Änderungen, politische und finanzielle Probleme, vor allem die Corona-Pandemie mit einem großen Rückschlag.
- Bringt 2024 neue Impulse?
 - 25 Jahre Japanischer Garten in Schönbrunn
 - 155 Jahre Diplomatische Beziehungen zwischen Japan und Österreich könnten Anlässe sein!



元ウィーン13区長のメッセージ

◇成果（自己評価等）

昨年度からウィーン市民との新たな交流が始まり、2年続けての写真展を開催することができました。地道な交流ではありますが、継続的に取り組んでいきます。またコロナ禍で訪問交流事業が滞ったことで、これまでにない新たな交流の取り組みの方向性が確認できました。

丹波の森研究所の活動

◇実施内容

丹波の森研究所は、「丹波の森構想」（人・自然・文化・産業の調和した地域づくり）を推進するために、地域づくり等に関する調査研究・提言・支援などを行っています。「丹波の森宣言30周年シンポジウム」を契機として、「集落に住み続ける」、「生物多様性を育む」などの地域課題について、県民局と両市と意見交換を進めながら、調査研究を進めています。

①「丹波の森」アクションプランづくり

○「丹波の森」を考える小委員会や市・県との連絡会議をコーディネートし、30周年記念時ににおいて整理した18項目毎に、具体的な取り組み方向を示した「丹波の森創造計画」の作成を支援しました。

○また、兵庫丹波の森協会として、丹波の森宣言や構想に係わる理念浸透や体制の強化、人づくりなどに取り組む「丹波の森協会アクションプラン」の作成を支援しました。

②地域伴走型のシンクタンク活動の強化

○前年度までの「集落機能の維持や活性化に係わる一連の調査」の成果を受けて、両市との連絡を密にし、集落の活性化を目指した具体的な調査研究テーマや、モデル集落での支援内容などについての情報共有などを進めました。

○また、旧小学校区単位での情報を整理した「地区カルテ」作成から10年が経過しており、地域活性化を支援する基礎情報の収集と更新システムの構築「新地区カルテ」の検討を進めました。

③地域づくり支援事業（アドバイザー派遣事業）

○活力と魅力ある丹波の森（地域）づくり推進に向けて、地域のまちづくり活動団体のほか、行政や大学等と連携しながら、地域づくりの活動を支援しました。

ア）丹波篠山市河原町地区「河原町通り無電柱化記念鉾復活実行委員会」

○「全国伝統的建造物群保存地区協議会丹波篠山市大会」において、鉾復活巡行を実施するための事業計画の作成を支援しました。

イ）丹波市「谷上自治会」

○ほたるが飛び交う美しい村を作るために区民が心がけなければならないこと、クリーン作戦の時期などについて助言しました。

ウ）福住地区の移住戦略会議

○特定地域づくり事業協同組合、事業共創パートナー、各種施設の改修工事、アートプロジェクトなどの取り組みに対して助言しました。

エ）「瓶割峠活性化プロジェクト推進連絡会」におけるアドバイス業務。

○プロジェクトの内容について、国領地区、大山地区、両地区の連携体制の必要性和全体コンセプトの明確化、活動目標と検討ポイントについてアドバイスしました。

④縄文の森ユース躍動プロジェクト

○丹波2050地域ビジョンにおけるシンボルプロジェクトである「たんばユース躍動プロジェクト」を受けて、次世代を担う中高生たちとの生物多様性の推進や人材育成を目指して、「丹波の森の恵みと再生のあり方を学ぶ」講座を実施しました。

○6月～12月にかけて、動物、植物、食（ジビエなど）、生活環境など多様な10講座（実習含む）を丹波の森公苑にて実施し、計95名の参加がありました。



＜植物調査の実習風景＞



＜動物調査の実習風景＞

⑤丹波地域のモデルとなる里山づくり活動の支援

○丹波の里山づくり支援として、丹波地域の里山づくり活動団体への支援事業を行いまいした。

(1) 生郷里山づくり懇話会（丹波市）、(2) 下三井庄自治会（丹波市）、(3) 平松区森林愛好会（丹波市）、(4) 八幡共有山組合（丹波篠山市）、(5) 岩崎自治会（丹波篠山市）、(6) ふるさと和田里山づくり協会（丹波市）、(7) 国領自治協議会（丹波市）など、7団体にアドバイザーを派遣し、両市の担当者も加えて、定期的に里山づくりアドバイザー会議を開催しました。

花と緑の地域づくり事業【丹波の森ミニガーデン展の開催】

◇実施内容

美しい地域づくりの実現に向けて、丹波の森公苑などの主要スポットに地域住民の手により製作したミニガーデンを展示しました。

開催期間：１０月７日（土）～１１月５日（日）

開催場所：丹波の森公苑、丹波並木道中央公園

丹波年輪の里（３施設、６枠）

参加グループ：丹波の森花くらぶ、丹波市商工会女性部有志、更生保護女性会、篠山産業高校篠山東雲高校、氷上高校



◇成果（自己評価等）

ミニガーデン展の開催も今年度で６回目となり、幅広い世代に周知され、また遠方からの見学者もあり、認知度の高まりを感じました。次年度以降の出展も全団体が希望されており、地域住民や各世代の交流の場となったことは意義がありました。



花と緑の地域づくり事業【たんばオープンガーデンへの参加】

◇実施内容

個人の庭を広く一般に公開する社会活動として「オープンガーデン」が開催されます。当協会としても趣旨に賛同し、丹波の森公苑に庭を作りオープンガーデンに参加しました。

開催日：４月２３日（日）、５月２１日（日）

場 所：丹波の森公苑



◇成果（自己評価等）

丹波篠山市及び丹波市管内で４０ヶ所の個人宅等のお庭が参加され、それぞれのお庭で人と花がつながり、そこから交流が始まっていました。丹波の森公苑のガーデンにも色とりどりの季節の花を植え、訪れる方は足をとめて見ておられました。オープンガーデンは長年継続されてきた地域の取組みであり、当協会としてもこの趣旨に賛同し、協力していくことが重要です。



丹波の森公苑の庭

花づくり活動支援事業

◇実施内容

美しい丹波づくりを推進するため、花、緑、園芸に関する知識の習得並びに地域での普及活動のリーダーを育成する教室を開催しました。

(花と緑の教室)

開催日：5、7、9、11、12、3月の年6回

受講者：午前・午後の部 計54人

(花と緑の教室 自主活動グループ)

開催日：5、7、9、11、12、3月の年6回

受講者：5グループ・21人

(園芸教室)

開催日：5、7、9(2回)、10、11、3月の年7回

受講者：31人

(詳細はP50講座一覧表に掲載)

◇成果(自己評価等)

丹波地域住民を中心にこれまでの受講生数はおおよそ1,900人。各教室では、講師への熱心な質問や受講生間の会話も弾んでおり、受講生の学びや交流の機会を提供しました。また、教室の受講生等が講師となる「花と緑の教室自主活動グループ事業」を呼びかけ、花と緑あふれる美しい丹波づくりの輪も広げることができています。



園芸教室

2023丹波の森フェスティバル開催

◇実施内容

丹波の森公苑では、地域住民や各種団体が取り組む生涯学習活動や地域づくり活動の成果発表を通じて、活動者の交流を深める機会として、丹波の森フェスティバルを開催しました。

開催日：10月29日(日)

内容：里山ハイキング、ツリーイング、パネル展示、ワークショップ、フリーマーケット、森のステージ、飲食ブース等

来場者：2,500人

◇成果(自己評価等)

「森とふれあおう! ゆったり満喫! 丹波の森公苑」をテーマに、体験事業や活動団体のワークショップ、ステージ発表、パネル展示、成果物の販売等を実施し、活動成果の発表や交流の機会となりました。

特に、自然とふれあう体験や、様々なワークショップは来場者に好評でした。

また、「ひようごSDGsWEEK」事業の一環に位置づけるとともに、「丹波の森構想」の啓発を行いました。



中庭芝生広場



ツリーイング

丹波年輪の里事業【丹波年輪の里】

ゴールデンウィークフェスタ2023

◇実施内容

○私のクラフト作品展

開催日：4月29日（土・祝）～5月5日（金・祝）

会場：丹波年輪の里 木の館ホール

出展者：友の会、工作指導員 合計16人

点数：99点

入場者：1,375人

○水彩画展

開催日：4月29日（土・祝）～5月5日（金・祝）

会場：丹波年輪の里 木の館研修室A

出展者：絵画サークル

入場者：336人

○小鳥のバードカービング展・プチ体験

開催日：5月3日（水・祝）～4日（木・祝）

会場：丹波年輪の里 アトリエA（南棟）

出展者：年輪の里バードカービングクラブ

入場者：103人

○フリーマーケット

開催日：5月5日（金・祝）

会場：丹波年輪の里 けやき通り

出店者：39店

○積木で遊ぼう

開催日：5月4日（木・祝）

会場：丹波年輪の里 木の館2階展示場

○端材で遊ぼう

開催日：5月4日（木・祝）

会場：丹波年輪の里 芝生広場

○竹とんぼづくり

開催日：5月4日（木・祝）

会場：丹波年輪の里 芝生広場

利用者：79人

○ツリーイング体験

開催日：5月4日（木・祝）

会場：丹波年輪の里 芝生広場

利用者：24人



親子でつくる工作教室



ツリーイング体験



フリーマーケット

◇成果（自己評価等）

ゴールデンウィーク中、アトリエの有効活用や、工作室の利用促進を図るため、教室参加者の作品の展示や発表の場を提供しました。

また、木に親しむワークショップ等を開催し、期間中は約11,000人の来場者があり、大変盛況でした。

第9回ウッドワーカーズクラフト【丹波年輪の里】

◇実施内容

木工に特化したクラフトイベントで、40人の木工作家の展示販売会とこだわりの食ブースが緑いっぱいの芝生広場にて開催されました。

開催日時：4月29日（土）、30日（日）
会 場：丹波年輪の里 芝生広場



◇成果（自己評価等）

京都丹波地域では、木工作家として自立・独立した作家たちが育っています。

年輪の里では、こうした作家を応援するとともに、「木工の里丹波」を広く周知するため、



展示販売会

スポーツ大会・文化教室の開催【丹波年輪の里】

丹波年輪の里杯グラウンドゴルフ大会

◇実施内容

グラウンドゴルフ愛好者を対象に、相互の交流と利用を促進し、また、健康づくりのため、年3回の大会を開催しました。

開催状況：6月6日（火）148/募集定員192人

9月5日（火）128/募集定員192人

12月5日（火）155/募集定員192人

令和6年3月5日（火）中止



◇成果（自己評価等）

芝生広場でのグラウンドゴルフの人気は依然高いが、天候に影響されたり、他の大会との重複もあります。さらに魅力的な賞品を用意し、参加しやすい状況を検討していきます。

緑の中のコンサート

◇実施内容

緑いっぱいの自然あふれる園内で、音楽を通して来園者の皆さんに癒やしと安らぎの時間を過ごしていただくために開催しました。

第1回はACFTと同時開催とし、地元高校生、グループの方やプロの演奏家等、多彩な出演者が多種多様な楽器の演奏や歌声を届けていただき、より多くの人に楽しんでいただきました。第2回はベンチャーズの往年のヒットメドレーやクリスマスソングを多くの来場者に楽しんでいただきました。

○氷上高等学校吹奏学部・氷上西高等学校ギター部

今西藤美・SHIMONによるコンサート

開催日：11月3日（金・祝）

会場：丹波年輪の里 木の館ホール

○チキンハートclub・樋口英之・稲岡大介によるコンサート

開催日：11月4日（土）

会場：丹波年輪の里 木の館ホール

観客数：両日で400人

○クリスマスコンサート

開催日：12月17日（日）

会場：丹波年輪の里 木の館ホール

観客数：107人



◇成果（自己評価等）

音楽と自然の融合は年輪の里にとっても大きな魅力であり、地元で活躍する演奏家等を中心にさらに充実していきたいです。

第7回たんば絵てがみコンクール【丹波年輪の里】

◇実施内容

第7回のテーマは「宝物」。家族や友人、親しい人の顔を思い浮かべながら、暮らしのひとコマ、風景、身近にあるものを描いた「絵てがみ」を募集し、展示しました。

募集期間：9月1日（金）～12月28日（木）

応募者数：633人（第6回 398人）

応募総数：736点（第6回 487点）

展示期間：令和6年2月3日（土）～18日（日）

場 所：丹波年輪の里 木の館ホール

入 場 者：1,530人（休館日を除く14日間）

巡 回 展：兵庫県中央労働センター

令和6年3月7日（木）～27日（水）



一般の部金賞「毎日が宝物」
茂木美咲（埼玉県秩父市）



高校生以下の部金賞作品
「年の離れた妹へ」
矢持未有（県立柏原高等学校2年）

◇成果（自己評価等）

北海道から沖縄まで前年を大きく上回る736点（633人）の全国各地の子供や大人から多数の応募がありました。審査委員のみなさんからは年々レベルが上がっていると評価いただいております、また、来場者からは多数の心温まる絵手紙作品に好評のお声をいただきました。

③児童・幼児対象のワークショップなど木育活動【丹波年輪の里】

◇実施内容

兵庫県林務課の依頼により、兵庫県木材業協同組合連合会から委託を受け、県内の保育施設等を訪問し年輪の里が保管する木育遊具の貸出しを実施しました。木製玩具遊びやワークショップを通して木の良さを体感してもらうとともに、子ども・指導者・保護者に向けて「木の話」を行い、木に対する関心を高めています。

(1) 木製玩具の貸出

①各認定こども園・幼稚園・保育所等への貸出……期間 1園 約1週間

丹波市(8園) 丹波篠山市(4園) 猪名川町(1園) 芦屋市(5園) 神戸市(5園)
尼崎市(9園) 伊丹市(3園) 計35園

②「木の話」の回数 29園／35園

○施設訪問時に20分程度の木の話を実施

テーマは、「木のにおい」「木の削り面」「いろいろなのこぎり」「継ぎ手」など、幼児にわかりやすく指導するため、視覚だけでなく、触覚、嗅覚などにも訴える指導を行っています。



(2) 木製玩具づくりのワークショップ 5園 実施

①園児・小学生を対象としたワークショップ

丹波市 2園(ぬぬぎ・あおがき) …のこぎり引きから積木車へ(発展型)

3小学校(前山・竹田・進修) …リールシロフォンの製作

②施設イベントでのワークショップ

○GWフェスタ(年輪の里) ○阪神農林事務所(伊丹市)

○ささやまの森公園フェスティバル(丹波篠山市)

(3) 研修会への対応

令和6年1月17日(神戸市立長田東保育所)

実際の木育活動(保育所訪問)の現地見学

並びに木育活動体験(生徒6名、教員2名)

(4) 木育に関する施設訪問と情報発信

○木製玩具を作成する業者の視察、収集した情報をホームページ等で発信



◇成果(自己評価等)

木の香り、手触りを製作の中で感じ取るとともに、道具を扱う際の緊張感や集中することの大切さも、子どもたちの取り組む姿から感じ取ることができました。

1名の指導補助員を増員させる予定です。現在管理している木製玩具の効率的な運用を行い、より多くの希望施設に貸出していきます。森林環境譲与税の有効活用により、木製玩具の購入促進を働き掛けていきます。

丹波並木道中央公園の企画運営【丹波並木道中央公園】

①かやぶき民家と棚田で「丹波の食を丸ごと楽しむ」

◇実施内容

公園や公園周辺には、赤米、丹波篠山茶、大山スイカ、丹波ブランドの黒豆などの食資源が多く存在します。その味覚を公園で味わい、たまには作るところから楽しめる地産地消型の公園×食プログラムを展開しました。

○棚田での赤米づくり体験

・田植え体験

5月23日（火）認定こども園2園（神戸市）45人

5月28日（日）一般 参加者22人

・かかし立て&草引き体験

9月5日（火）認定こども園2園（神戸市）54人

・稲刈り体験

10月23日（月）認定こども園2園（神戸市）46人

10月29日（日）参加者23人



赤米の稲刈り体験

○黒枝豆収穫体験

10月15日（日）参加者：19人

○丹波篠山茶プロジェクト

6月3日（土）新茶の飲み比べ（茶まつり連携）参加者：21人

7月30日（日）和紅茶づくり 参加者：10人

9月24日（日）ペーパークラフトWS と和紅茶 参加者：9人

令和6年2月4日（日）寒茶づくり体験 参加者：9人

◇成果（自己評価等）

公園内の棚田で行う作物の栽培は、地域の協力を得て、古代米である赤米を育てています。田植えから稲刈りまで体験していただいています。毎年、市外のこども園の幼児や都市部からの親子参加があります。棚田では丹波篠山市の名産である黒枝豆も育てており、収穫体験は人気です。

また、丹波篠山茶プロジェクトは、日本茶インストラクターとともに四季折々のお茶を楽しむプログラムを企画・実施しました。リピーターの方も多く好評です。

②こころと身体のヘルシーパーク

◇実施内容

多様な世代に、身体だけでなくこころの健康づくりもできる「場」と「機会」を提供しました。丹波地域で活躍をしている専門家を講師に迎え、講座を実施しました。

○ノルディックウォーキング

合計12回実施 合計91人が参加

○心とからだの癒し講座

- ・木の実の宝箱づくり（園芸療法）
開催日：4月11日（火）参加者：4人
- ・梅雨のガラス絵づくり（臨床美術）
開催日：5月9日（火）参加者：4人
- ・ハーブ入りバスソルトアロマテラピー
開催日：6月13日（火）参加者：5人
- ・芝人形づくり園芸療法
開催日：9月12日（火）参加者：6人
- ・幸福を呼ぶ福来郎臨床美術
開催日：11月19日（日）参加者：4人
- ・クリスマスのアロマワックスサシェアロマテラピー
開催日：12月17日（日）参加者：8人



心とからだの癒し講座

◇成果（自己評価等）

ノルディックウォーキングは、リピーターの参加者が多く、手入れの行き届いた公園を歩くのは気持ちいいなどと好評をいただいています。特に林道を通るコースは森林浴ができると好評です。毎月1回の実施で、園内の花や樹木の四季の移り変わりを楽しみながら、気軽に健康づくりができる機会を提供しています。

また心とからだの癒し講座では園芸療法・臨床美術・アロマテラピーを得意とする地元のグループが講師となり、講座を開催しました。

③ゼロエミッションを目指して！植物性廃棄物リサイクル推進事業

◇実施内容

園内の植物廃材を、チップ化・堆肥化や木エプログラムに活用するなど、環境保全につながる取組を推進しました。

○大人の木工教室

合計18回

参加者：合計28人（1回の定員は2人～3人）

○なみきみちクラフト

実施期間：6月4日、7月30日、8月6日、
9月10日、11月5日、3月3日

参加者：合計24人



なみきみちクラフト

◇成果（自己評価等）

大人の木工教室やなみきみちクラフトなど、年間を通じて定期的に開催し、多くの方が参加しました。

④花と緑を活かしたイベントの実施【丹波並木道中央公園】

◇実施内容

季節ごとにテーマを設定し、実習形式で行う寄せ植え教室などを実施しました。

- 第1回：夏の草花の寄せ植えと管理法
開催日：5月19日（金）参加者：25人
- 第2回：夏の花木を使った寄せ植えと管理法
開催日：6月16日（金）参加者：22人
- 第3回：観葉植物を使った寄せ植えと管理法
開催日：7月21日（金）参加者：18人
- 第4回：秋のこけ玉づくりと管理法
開催日：9月15日（金）参加者：12人
- 第5回：秋の草花の寄せ植えと管理法
開催日：10月20日（金）参加者：19人
- 第6回：ポインセチアを使った寄せ植えと管理法
開催日：11月24日（金）参加者：17人
- 第7回：正月を飾る寄せ植えと管理法
開催日：12月15日（金）参加者：21人
- 第8回：早春の草花の寄せ植えと管理法
開催日：令和6年2月16日（金）参加者：17人
- 第9回：春の草花の寄せ植えと管理法
開催日：令和6年3月15日（金）参加者：24人



◇成果（自己評価等）

花と緑の教室はフラワーセンターとの連携で実施されている実習形式の講座で、寄せ植えのポイントをはじめ、植物の豆知識なども合わせて学ぶことができ、毎回参加される受講生も多く、講師からは持ち帰った後の花の管理方法なども指導され、リピート参加も多い講座です。

⑤たんばハブ・パーク（他施設や行政との連携によるイベントの実施）

◇実施内容

共同事業体が管理運営する他公園や施設、行政などと積極的に連携し、この公園だから実施可能なイベントを協力・連携実施しました。

- 化石発掘体験会（丹波篠山市教育委員会）
実施期間：5月13日（土）、7月29日（土）、8月5日（土）
参加者：合計27人
- 丹波の森ミニガーデン展（兵庫丹波の森協会）
実施期間：10月7日（土）～11月5日（日）
- モバイルスタンプラリー
（丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会）
実施期間：10月14日（土）～11月26日（日）



丹波の森ミニガーデン

◇成果（自己評価等）

行政や様々な団体と連携をし、イベントやプログラムを実施することができました。

⑥公園広報紙「PARK LIFE」での情報発信

◇実施内容

3か月に1回、広報紙「PARK LIFE」を作成する。丹波地域の全小学生と県立の都市公園、丹波地域の公共施設等へ配布を行いました。

○実施内容

- Vol. 6 4 夏：化石調査ボランティア
 - Vol. 6 5 秋：丹波なみきみちまつり収穫祭
 - Vol. 6 6 冬：茅葺き民家デイキャンプ
 - Vol. 6 7 春：棚田を守る
- 発行回数：4回
発行部数：1万4,000部



PARK LIFE 表紙

◇成果（自己評価等）

公園の広報紙 PARK LIFE の発行を合計4回行いました。広報誌には公園の季節の話題や新たな取り組みについて掲載しており、裏面の公園行事カレンダーと合わせ、高い評価をいただいています。

めざせ！昆虫リーダー ～丹波の昆虫リーダーはキミたちだ！～

◇実施内容

昆虫を中心とした調査スタッフの育成
○里山の植物・昆虫・野生動物を調査することで、生物多様性の方向性を探ることや、その調査スタッフを養成することを目的に、兵庫県立人と自然の博物館の協力のもとにプログラムを開始しました。

開催日：7月15日（土）、8月26日（土）

開催場所：丹波の森公苑

参加者数：計52人（丹波篠山市及び丹波市の小学校4年生～6年生の児童25人とその保護者27人）

内容：昆虫採集、虫ずかんを作る、昆虫を分類する



昆虫採集

◇成果（自己評価等）

昨年度に引き続き2回目の開催で、前回受講者13人中、今回引き続き受講されたのは5人でした。子どもたちが自然や生きものと触れ合うことにより、生命の大切さを知り、探求心が生まれ、自然に対して健全な感覚を養い育てるきっかけを担えました。

いどうこんちゅうかん

◇実施内容

「いどうこんちゅうかん」は、一日だけの昆虫館を実現するプログラムです。

開催日時：9月16日（土）～18日（月・祝）

10時～15時（1時間ごとの入替制）

開催場所：丹波の森公苑 展示ギャラリー

対象者：幼児、小学生低学年

参加者数：計361人（3才以上）

内容：おっきな虫かご、むしむしテーブル、ぬりえコーナー

講師：兵庫県立人と自然の博物館 八木 剛氏

スタッフ：NPO 法人こどもとむしの会



いどうこんちゅうかん

◇成果（自己評価等）

昆虫リーダー受講者も親子でスタッフに加わり、生き物の扱い方等をこどもとむしの会のスタッフに教えてもらいながら「教える」立場で小さな子どもたちに接し、成長した姿が見受けられました。参加者は、短い時間での体験でしたが「虫が触れて楽しかった」と感想をいただき、親子で貴重な体験を過ごしてもらった機会を提供できました。

里山ボランティア（森づくりスタッフ）養成事業

◇実施内容

里山の魅力や大切さをともに考え、身近な里山づくりを促進していくため、里山整備・管理活動などの森を守り育てる人材養成に取り組みました。

○森づくり活動アドバイザー２人設置

○里山倶楽部等の協力による里山林の保全整備

○森づくり講座（間伐編・間伐材活用編）の開催

（詳細はP51講座一覧表に掲載）

◇成果（自己評価等）

これまで里山の整備・管理に関するノウハウを伝授した森づくり講座受講者等が、丹波の森公苑の里山を拠点としたボランティア活動へ参加するなど、森づくりに参画する人材の育成につながっています。

今年度、新たに間伐材を活用した講座（間伐材活用編）を開催したことにより、丹波の森公苑の里山におけるボランティア活動の登録者がさらに増えました。



森づくり講座（間伐編）



森づくり講座（間伐材活用編）

国蝶オオムラサキの舞う里山づくり

◇実施内容

生物多様性保全に向けた豊かな里山づくりを進めるため、里山のシンボルである国蝶オオムラサキを飼育展示するとともに、小学校等を中心とした地域での飼育指導等、関係機関と連携し実施しました。

啓発事業である「放蝶会」は、7月2日（日）に開催し、多くの参加者（251名）がありました。

また、小学生を対象に「国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテスト」を開催しました。

○小学校等への体験飼育指導

18小学校、2高校、8事業所等

○国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテスト

対 象：小学生

応募点数：240点

◇成果（自己評価等）

小学校等での飼育指導や出前講座等を通じ、良好な里山環境を次世代が学ぶ機会を提供することができました。

特に、国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテストでは、昨年度に引き続き過去最多の応募があり多くの子どもたちのオオムラサキの舞う里山環境への関心や、丹波地域以外（埼玉県、岐阜県、県内（神戸市、姫路市等））からの応募もあり、これまでの取り組みが全国的に広がっていると感じられます。

また、兵庫丹波オオムラサキの会の協力を得ながら、事業所等との協働により効果的な事業の推進もできました。



国蝶オオムラサキ放蝶会



国蝶オオムラサキの舞う
里山イメージ画コンテスト作品展
(丹波の森公苑)

丹波の森公苑環境学習推進事業

◇実施内容

丹波の森公苑の豊かな自然環境を生かして、子どもや地域住民の環境学習・自然体験活動を促進するとともに、次代の活動支援ボランティアを育成しました。

○丹波縄文の森塾の開設

年間 12回

塾生 30人（小学3～6年生）

（詳細はP51講座一覧表に掲載）



丹波縄文の森塾（縄文土器づくり）

○家族向け環境学習プログラム

オオムラサキ観察

○環境体験学習支援プログラム

里山の秋の実り体験



里山の秋の実り体験

○自然体験活動リーダーの育成

○丹波いきもの大集合

オオムラサキやカブトムシ、ホトケドジョウなど
丹波地域に生息する生き物を展示

○オオムラサキ越冬幼虫探し

○里山ハイキング（春・秋）



秋の里山ハイキング

◇成果（自己評価等）

丹波縄文の森塾は、四季を通じた自然とのふれあいの中で、学校とは違ったプログラムを体験することで、たくましく成長し、学校を越えた友達との交流の場ともなりました。

また、丹波の森公苑里山でのハイキング、里山の秋の実り体験やオオムラサキ観察の実施などにより、丹波地域の子供たちに自然を肌で感じる機会を提供することができました。

ささやまの森公園事業【ささやまの森公園】

1 体験プログラムの展開

(1) 基本プログラム

① 里山体験班のプログラム

◇実施内容

草木で染めよう、布ぞうりを作ろう、シカの角でアクセサリを作ろう、布スリッパを作ろう、マイ箸を作ろう、しめ縄を作ろうなど、里山文化に係る体験プログラムを実施しました。

実施回数：25回

参加者：延べ171人



草木で染めよう～クララ～

◇成果（自己評価等）

伝統技術を体験することによって、伝統を守る苦労や里山のすばらしさを広めることができました。

② 里山伝承班のプログラム

◇実施内容

おからでコロッケを作ろう、ちまきを作ろう、里山伝承～黒枝豆を栽培しよう～、梅味みそと梅ジュースを作ろう、そば道場シリーズ、ところてん料理を作ろう、かしわ餅と栗あん大福を作ろう、こんにゃくを作ろう、黒豆のお味噌を作ろう、キムチを作ろう、丹波篠山ご飯を作ろうなど、里山の恵みを活かし伝承する料理や特産物の栽培・活用に係るプログラムを実施しました。

実施回数：20回

参加者：延べ196人



丹波篠山ご飯を作ろう

◇成果（自己評価等）

丹波篠山に伝わる食文化や伝統作物の栽培を実際に体験することで、里山に育まれ守られてきた生活様式のすばらしさを味わってもらうことができました。

③自然学習班のプログラム

◇実施内容

バードウォッチング、モリアオガエルとホタルを観よう、森にすむカエルを見つけよう、3種類のホタルを観よう、セミのぬけがらを探そう、水辺の生きものを探そう、秋の花と実を楽しもう、冬の生きもの探し、早春の生きもの探しなど、園内の動植物を中心に生態・植生等の観察に係るプログラムを実施しました。

実施回数：9回

参加者：延べ100人

◇成果（自己評価等）

豊かな公園の植物・昆虫・水生生物などの観察をとおして、森の生態系を学ぶことにより里山の自然環境への関心を高めることができました。



早春の生きもの探し

④レクリエーション班のプログラム

◇実施内容

ウッドバーニング、木登り体験～ツリーイング～、陶芸を楽しもう、コケ玉作り、チーズとピザづくり、ささやまの森探検隊、アマゴのつかみ取りをしよう、ロケットストーブを作ろう、秋の登山～黄葉の深山に登ろう、とんど祭&もちつき大会など、里山での楽しい遊びや活動に係るプログラムを実施しました。

実施回数：16回

参加者：延べ159人

◇成果（自己評価等）

自然を生かした森遊びなどをとおして、里山の自然や豊かさを学ぶことができました。



ささやまの森探検隊

⑤里山復元班のプログラム

◇実施内容

稲作体験（全5回）、森の時計作り、親子で薪割り体験、鳥の巣箱を作ろう、シイタケづくり、ミニ門松作り、チェーンソー安全教室、ログチェアを作ろうなどを実施しました。

実施回数：14回

参加者：延べ166人

◇成果（自己評価等）

里山の整備で発生する間伐材などの資源利活用や道具の使い方などを、プログラムをとおして理解を深めました。



稲作体験（全5回）第4回 稲刈り

(2) 特別プログラム

◇実施内容

里山の日特別企画「バードウォッチング」「春の野草観察」春の特別企画「窯でピザ焼き」「コケテラリウム作り」「ウォークラリー」、樋口清一氏講演会、秋の里山まつりを実施しました。

実施回数：6回

参加者：延べ679人

◇成果（自己評価等）

身近で手ごろな材料を使って、作ることの楽しさや加工・表現方法を体感していただくことで、自然の豊かさや大切さを実感していただきました。



初代公園長樋口清一氏講演会

(3) 森の学校（第16期生）の開校

◇実施内容

豊かな自然の中でさまざまな体験活動を通して、たくましく生きる力を育むことを目的に、小学3年生～6年生の14人が1年間、普段の生活とは違う里山での自然体験活動を経験しました。

開催回数：11回

参加者：14人

◇成果（自己評価等）

ボランティアスタッフの指導のもと、体験学習を通してたくましく生きる力を育むことができました。



第16期生

(4) 団体プログラム

① 体験プログラムの提供

◇実施内容

幼稚園から高等学校までの学校組織や団体の活動の場として公園を提供しました。

実施回数：22回

参加者：588人

（森の学校、里山文化授業、トライやる・ウィーク、インターンシップの受け入れを除く）

◇成果（自己評価等）

自然観察や各行事の趣旨を生かしたプログラムを支援することで、里山公園のすばらしさ、大切さを広めました。



丹波篠山市立多紀小学校4年生
水辺のいきもの観察

②兵庫県立篠山東雲高等学校「里山文化」の支援

◇実施内容

「里山と人々の生活から生まれた多くの文化を学び、自然や資源、生きていく環境、農業との関わりについて考える」選択授業の「里山文化」に連携協力できました。

実施回数：19回

受講生：4人

◇成果（自己評価等）

学校では体験できないプログラムを、ボランティアスタッフの指導を受けて体験しました。



しめ縄作り

（５）その他の活動

①トライやる・ウィークの受け入れ

◇実施内容

ささやまの森公園では、「職場体験を通して地域について学び、生きる力を育む」ことを目的に丹波篠山地域の中学2年生による「トライやる・ウィーク」の受け入れをしています。

今年度は6月8日から17日の8日間、篠山東中学校から2年生5名が来園し、木名札作り、看板作りや補修、プログラムのサポートなどの体験をしました。

◇成果（自己評価等）

職場体験を通して地域のことを学び、生きる力を育むきっかけづくりを支援しました。



名札作り

②インターンシップの受け入れ

◇実施内容

高校生の皆さんに就業体験を通じて、公園の仕事に共感していただけるよう、インターンシップ実習生の受け入れをしています。令和6年1月23日～27日の5日間、篠山東雲高校の2年生1名が散策路の整備やチェーンソー安全教室で使用する木材の運搬などの体験をしました。

◇成果（自己評価等）

勤労を通して自己の将来を見つめ、より良い社会人としての自覚を高める機会を支援しました。



木材の運搬作業体験

2 園外活動等への参画

①外部のイベント等に参画

◇実施内容

活動スタッフの協力により外部のイベント等に参画し、ささやまの森公園の活動をPRしました。

○ポスターセッション

開催日：9月2日（土）

場 所：丹波の森公苑

開催日：令和6年1月19日（金）

場 所：四季の森生涯学習センター

内 容：丹波地域環境パートナーシップ会議総会等に於けるポスターセッション（パネル展示等）

○ひょうご里山フェスタ2023

開催日：10月22日（日）

場 所：姫路大手前公園

内 容：ウッドバーニング

○2023丹波の森フェスティバル

開催日：10月29日（日）

場 所：丹波の森公苑

内 容：草木染め体験

○福住祭

開催日：11月19日（日）

場 所：篠山東雲高校

内 容：シカの角でアクセサリー作り

◇成果（自己評価等）

外部のイベントに参加することにより、地域との連携や交流を図ることができました。



ポスターセッション



ひょうご里山フェスタ2023



2023丹波の森フェスティバル



福住祭

3 里山保全創造事業の推進

①水源の森たんばささやま

◇実施内容

兵庫県、コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社、兵庫丹波の森協会の三者で結ばれた森林管理協定に基づき、本公園の森林を「水源の森たんばささやま」として、整備計画に基づいた人工林の間伐などが行われています。

今年度もコカ・コーラボトラーズジャパン明石工場の従業員ボランティアやその家族がエリア内の除伐作業を行いました。

午後は活動スタッフの指導でウッドクラフトに挑戦しました。

開催日：11月18日（土）



エリア内の除伐作業



ウッドクラフトに挑戦

4 その他の事業

(1) 利用促進事業

◇実施内容

プログラムの内容を記載した「プログラムのご案内」を、3カ月毎に年4回丹波篠山市内の各戸や県内外の関係機関へ配布し、プログラムへの参加者を募集しました。活動スタッフ向けに「八幡谷通信」を年4回発行、また公園の1年間の活動のまとめとして「ささやまの森公園だより」を年度末に丹波篠山市内の各戸や関係機関へ配布しました。

プログラムのご案内：23,000枚×4回

八幡谷通信：120部

公園だより：18,000部

ホームページ：随時更新

◇成果（自己評価等）

公園だよりなどを発行することにより、地域の方々へ当公園の事業について理解と関心を深めていただくことができました。また、ホームページで公園の情報をタイムリーに発信することができました。



情報発信のツール



ささやまの森公園ホームページ

生活創造活動支援事業（消費生活含む）

◇実施内容

丹波地域の団体・グループ等の生活創造活動の情報を収集発信し、団体・グループ活動を支援しました。

また、消費者被害防止のための普及啓発を実施しました。

○生活創造グループ登録と活動支援

- ・登録グループ数：255団体
- ・グループ活動コーナーの利用：67件 366人
- ・生活創造活動グループサポート事業：21件

○消費生活の普及啓発

- ・消費生活出前講座の実施：13回
- ・消費生活にゅーすの発行：4回

○情報発信のための印刷機械の利用件数：321件

◇成果（自己評価等）

生活創造活動グループサポート事業は、丹波の森公苑で採取した草木で染める草木染め体験や、地域で代々育てられている天内芋を使った料理教室など多彩なイベントが開催されました。丹波地域だけでなく阪神間や県外からの参加もあり、多くの方にグループの活動を知っていただく機会となりました。

消費生活に関しては普及啓発を通じ、時代に即した消費生活のあり方を幅広い年代層へ周知しました。



生活創造活動グループサポート事業「草木染め体験」
（令和5年9月30日）



自治会への消費生活出前講座（消費者すごろく）
（令和5年12月2日ひかみ成松交流館）

丹波の森公苑リニューアルオープン記念式典

◇実施内容

令和3～4年度のホール耐震化、各施設の修繕、旧アトリエ棟・テニスコートの改修など、大規模な改修工事完了の機を捉え、今後さらなる利用促進に向けたリニューアルオープン記念事業を実施しました。

※里山スクエア：旧アトリエ（2棟）を改修し、新たに里山スクエアを開設しました。コワーキングスタジオやキッチンスタジオを整備しました。

開催日：5月21日（日）

内 容：①オープニングセレモニー

中庭芝生広場で柏原高校吹奏楽部によるウェルカム演奏、テープカット

②トークセッション

テーマ「丹波の魅力と強み・その先へ」
コワーキングスタジオにおいて、丹波地域で活躍中の起業家等によるトークセッション

③里山スクエア内覧会

キッチンスタジオで調理実習

利用例：キッチンスタジオで食ビジネス起業のための試作品を調理し、その後、コワーキングスペースの広いテーブルで試食会や検討会を開催できます。

◇成果（自己評価等）

セレモニーは、ご来賓出席のもと、当日来られていた施設利用者にも参加いただいて、リニューアルオープンを発信できました。また丹波地域の料理研究家に新たに整備したキッチンスタジオで調理したハンバーガーをガーデンパーティーのような形態で提供し、里山スクエアの活用形態の一つとして紹介できました。今回、トークセッション出席者や傍聴者が活発に意見交換する場となり、さらにガーデンパーティーでは、交流を通じてゆっくりと森の中で時間を過ごしてもらえるなど、里山スクエアを体感してもらえる良い機会となりました。



柏原高校吹奏楽部によるウェルカム演奏



テープカット



コワーキングスタジオでの
トークセッション



キッチンスタジオでの調理実習

丹波の森公苑リニューアルコンサート 「みやけん ONE MAN CONCERT in 丹波の森公苑」

◇実施内容

リニューアルオープン記念事業の一つとして、ストリートピアノのYouTuberとして活躍する「みやけん」氏を招き、ピアノライブを開催しました。また、みやけん氏の伴奏で地元の少年少女合唱団にステージで合唱していただきました。

開催日：7月9日（日）

場 所：丹波の森公苑ホール

入場者数：380人

出演者：みやけん氏（YouTuber）

丹波篠山少年少女合唱団

丹波市少年少女合唱団

◇成果（自己評価等）

地域の方々に本物の質の高い音楽を鑑賞いただく機会が提供できました。また、みやけん氏が「丹波公演」と題してYouTubeに配信された動画は、11万回視聴されています。このことは、当公苑及びホールの魅力を地域内外にアピールできたと考えます。



丹波篠山少年少女合唱団・丹波市少年少女合唱団とのコラボ

ピアノライブ
2023.7.9 (11)
開場13:30 / 開演14:00

チケット価格：前座 ¥3,000 / 本座 ¥5,000
前座 ¥2,000 / 本座 ¥4,000

チケット販売：2023年5月14日（日）
会場：丹波の森公苑ホール

みやけん
ONE MAN CONCERT in 丹波
兵庫県立丹波の森公苑ホール

YouTube動画総再生回数8000万回突破!! 今話題のピアノYouTuber!!

みやけんからのメッセージ
本日のコンサートは、私がYouTubeで公開した動画の再生回数8000万回突破を記念して開催しています。また、地元の少年少女合唱団とコラボレーションし、一緒に演奏させていただきます。ご来場お待ちしております。

少年少女合唱団との
コラボステージも
お見逃しください!

丹波市少年少女合唱団
丹波市少年少女合唱団

TEL: 0795-73-0933
〒669-3309 兵庫県丹波市船場町5000
【主催】公益財団法人 丹波の森公苑協会



丹波年輪の里事業【丹波年輪の里】

特別工作教室

◇実施内容

糸鋸教室やスプーンなどを始めとする木工の基本工作を体験できる手軽な内容を多く企画しました。専門性の高い内容では、前年に引き続き、仕込み塾を6か月にわたり長期開催し、また、体験することのできない手道具に関する多くの内容を盛り込んだ教室を開催しました。

【開催した各種教室】

○Work Shop	月4回	465人
○木工基礎 講座 第25期		52人
○木工中級 講座 第12期		40人
○刃研ぎ學	6回	58人
○ウッドライフ教室（焼きペン教室）	月2回	136人
○くりもの教室（お皿をつくる）	6回	59人
○ウッドライフ教室（セロテープカッター）	1回	8人
○ウッドライフ教室（オーバルボックス）	3回	29人
○ウッドライフ教室 （オーバルスイングハンドル）	3回	30人
○私が作る（マイスプーン）	6回	44人
○私が作る（菓子盆と菓子切り）	2回	14人
○私が作る（積み木）	3回	15人
○夏休み親子工作教室（マイ箸作り）	2回	13人
○夏休み親子工作教室（ハンペルマン人形）	1回	10人
○漆塗り体験教室	3回	19人
○ボックス額	3回	18人
○糸鋸教室（クリスマスオーナメント）	2回	8人
○糸鋸教室（辰の意干支飾り）	2回	9人
○ロクロ体験教室	2回	18人
○座編みで小椅子	3回	29人
○GW親子教室	2回	39人
○クリスマスリースづくり	1回	18人



ロクロ体験教室

◇成果（自己評価等）

募集講座は435人の募集に対し、419人の応募（受講率96.3%）があり、利用者の満足度も高い。リピーターも多くあるが、新規受講者を増やしていく工夫も必要と考える。

ティラノサウルスレース in 丹波竜の里【丹波年輪の里】

◇実施内容

恐竜化石が発見されたまちとして、年輪の里の芝生広場を活用してティラノサウルスレースを開催しました。また、丹波三宝はじめとする飲食ブースを出店し、“秋の丹波”を満喫していただきました。

○開催日時：10月15日（日）

○参加者数：144人（東は千葉県、
西は広島県、13都府県から参加）

○来場者数：約3,000人

○主 催：ティラノサウルスレース in
丹波竜の里実行委員会



◇成果（自己評価等）

開催に当たっては、兵庫県、丹波市、丹波市教育委員会、丹波青年会議所、丹波地域恐竜化石ワールドミュージアム推進協議会、丹波 2050 地域ビジョンたんばユースチーム、スポーツ推進プロジェクトチーム『道』等、官民一体となって取組み、オール丹波での連携の重要性を再認識するイベントとなりました。

関連施設とのコラボ商品の開発

◇実施内容

新たな取り組みとして、道の駅丹波おばあちゃんの里で8月19日～11月5日まで、年輪の里の職員が考案した年輪をイメージしたバームクーヘンのラスク付きコラボジェラートを販売し（販売実績約700個）観光地の回遊による誘客増加の試みを行った。同時に、年輪の里のイベントチラシも同時に配布しました。

◇成果（自己評価等）

実証実験的に行った。両施設ともにメリットがあるよう、ティラノサウルスレースの参加賞として、ジェラートの半額購入券も配布した。

次年度以降も丹波市内で最も観光入込数がある当施設と連携していきます。



兵庫県地域高齢者大学 4 年制大学講座

「丹波 OB 大学」の開設

◇実施内容

生涯学習の一環として、高齢者が生きがいのある充実した生活基盤を確立するため、学習と交流の機会を提供するとともに、社会の担い手として長年培ってきた知識や経験をより磨き、魅力ある地域社会を創り出す実践者を養成するため実施しました。

講 座：特別講座、教養講座、専門講座

①健康福祉コース

②地域文化コース

③生活創造コース

学外研修、運動会、オープン学習、看護学生との交流、地域実践の日、学年別研修、地域別研修、クラブ活動（グラウンドゴルフ、音楽、写真、パソコン、オカリナ、書道、水彩画、花、詩吟）

受講者：119人（令和5年4月時点）

開講日：4月19日（水）～令和6年3月6日（水）

（全18回詳細はP52講座一覧表に掲載）



特別講座

◇成果（自己評価等）

講座では、芸術文化観光専門職大学学長平田オリザ氏をはじめ、医療、地域活動など各分野から多彩な講師陣を招いて内容の充実を図り、受講生から概ね高い評価を得ることができました。また、学外研修、運動会、クラブ活動等の様々な活動を通して受講生間の交流を図るとともに、地域実践のネットワークづくりに寄与することができました。

兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座

「丹波 OB 大学大学院」の開設

◇実施内容

兵庫県地域高齢者大学4年制大学講座「丹波OB大学」等での学習をもとに、実践的な社会参加活動について総合的・体系的、かつ実践的に学習することにより、地域づくり活動などの実践能力を習得するとともに、地域づくり活動などへの主体的な取り組み意欲を醸成し、その実践者を育成するため実施しました。

講 座：2年生 地域活動実践講座他

受講者：2年生22人

（令和5年4月時点）

開講日：4月19日（水）～令和6年3月6日（水）

（詳細はP53講座一覧表に掲載）



実践発表会

◇成果（自己評価等）

1年生は、入学者がなく開講できませんでした。2年生は、1年生でのテーマを引き継ぎ、「丹波の山城をゆく班」、「食文化班」、「街道をゆく班」の3班で2年間継続して調査研究を行いました。

調査研究の途中で学年全員で調理実習を行ったり、実践活動の途中経過を発表するなど各班がそれぞれ主体的な取組を実践し、その成果を地域へ情報発信することができました。

講座「丹波学」の開設

◇実施内容

多彩な地域資源を有する丹波地域の魅力の再発見を通じて、地域の特色を活かした地域づくりに結びつく学習の機会を提供しました。

テーマ：『丹波武将と徳川家康～その時、家康は丹波に何をみたのか～』

開催日：8月26日(土)～12月2日(土) 全5回

受講者：147人（募集定員：150人）

（詳細はP55講座一覧表に掲載）



第2回講義

◇成果（自己評価等）

家康が天下を治めていく過程の中で起こった合戦で、丹波の武将たちが、どの様に関わっていったのか。また篠山城の天下普請の背景には徳川家のどのような意図があったのか。家康にスポットを当てながら当時の丹波・丹波武将の関わりを読み解く、5回の講座を設定しました。

天下人となった家康の視点を通して丹波を見たときに、また新たな発見が生まれ、丹波の魅力を再認識していただけたと思います。

丹波地域学ぶ高齢者のつどいの開催

◇実施内容

丹波篠山市高齢者大学、丹波市高齢者学級、丹波〇Ｂ大学及び丹波〇Ｂ大学大学院で学ぶ高齢者が創作作品の展示や芸能発表を通して、日ごろの学習活動の成果を発表しました。

開催日：９月２１日（木）～２２日（金）

場 所：丹波の森公苑

内 容：書、絵画、工芸、写真等の展示１３６点
箏、合唱等の芸能発表１２団体

参加者：延べ６８３人（丹波篠山市・丹波市の高齢者学級等、丹波〇Ｂ大学・大学院）



芸能発表

◇成果（自己評価等）

丹波地域学ぶ高齢者のつどい実行委員会が主体となって、つどいの運営を行いました。今年は芸能発表をコロナ禍前の１２団体で実施しました。丹波地域で学ばれている高齢者の方々が日頃の学習活動の成果を発表し、互いに学びあい、交流を深めることができました。

丹波の森子どもミュージカル体験塾

◇実施内容

将来の芸術文化を担う子どもたちの豊かな感性や表現力、コミュニケーション能力を育むとともに、舞台芸術による表現や創造する楽しさを体験する機会を提供することにより、舞台芸術創造活動のすそ野の拡大を図るため、「子どもミュージカル体験塾」を実施しました。

○丹波の森子どもミュージカル体験塾レッスン

開催期間：７月２３日（日）～１０月１４日（土）
全１６回

参加者：５０人



丹波の森子どもミュージカル体験塾発表公演

○丹波の森子どもミュージカル体験塾発表公演

公演日：１０月１５日（日） ２回公演

場 所：丹波の森公苑ホール

演 目：「輝けドリーム～もうひとつのピーターパン～」(「劇団ウエスト」の劇団員との共演)

入 場 者：延べ６５６人

◇成果（自己評価等）

丹波地域の小学生・中学生・高校生と様々な年代の５０人の子どもたちが、入塾から誰ひとり欠けることなく最後まで全員で取り組むことができました。子どもたちは劇団ウエストの劇団員による指導を受け、個々の歌・ダンス・演技に磨きをかけ、表現力を高めることができました。発表公演では保護者の方を含め多くの方々にご協力いただき、観客の心に感動を与える舞台を創り上げるとともに、大きな達成感を味わうことができました。

丹波（丹波篠山市・丹波市）のむかしばなし語りベクラブの活動支援

◇実施内容

当協会が発行している「丹波のむかしばなし（全10集）」には、昔から語り継がれてきた郷土の民話や伝説を119話（丹波篠山市52話・丹波市67話）収録しています。

一人でも多くの方に「丹波のむかしばなし」を知ってもらいきっかけとなり、またできるだけ多くの子どもたちが読んでくれることを願い、小学校のクラブ活動の支援を行いました。

実施場所：丹波市立大路小学校

内 容：語りベクラブのメンバーが「むかし話クラブ」の活動支援を行う。



丹波の森フェスティバルでの発表

◇成果（自己評価等）

大路小学校のむかし話クラブは、当協会の発行している「むかしばなし」を題材に取り上げ、紙芝居を作成し、地域のイベントなどで発表しています。その過程を語りベクラブのメンバーがゲストティーチャーとして支援しています。また NPO 法人（生涯学習応援隊 SOS039）の方が86本の動画を製作し、動画配信ツールで公開されています。今後もこのように子どもから大人までの多くの方に協力をいただきながら、「丹波のむかしばなし」を周知できる機会を探っていきます。

丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば2023の開催

◇実施内容

29回目を迎えた本音楽祭は、「シューベルトがつなぐウィーンと丹波」をテーマに、オープニング・サロンコンサート、街角コンサート（10会場）、ガラ・コンサートを開催しました。このほか、子ども達を対象とするふるさと音楽ひろばや、キン・コン・カン・コンサート、吹奏楽部のための出前講座などを開催しました。



開催期間：9月9日(土)～11月12日(日)

フランツ：細谷 公三香氏（チェロ）

ガラ・コンサート

○オープニング・サロンコンサート

開催日：9月9日(土)2回公演

場 所：お菓子の里丹波ミオール館

入場者：167人

○ガラ・コンサート

開催日：11月12日(日)

場 所：丹波の森公苑ホール

入場者：249人

○街角コンサート（丹波地域10会場）

入場者：755人

○ふるさと音楽ひろば（小学校10校）

参加者：1,629人

○キン・コン・カン・コンサート（2会場）

参加者：271人

○吹奏楽部のための出前講座（2会場）

参加者：県立篠山産業高等学校生 8人

丹波市立青垣中学校生 5人

○サポートプロジェクト事業（1会場）

支援校：県立篠山鳳鳴高等学校

ミニコンサート

参加者：230人

◇成果（自己評価等）

本年度はフランツにはチェロ奏者の細谷公三香氏を招き、チェロの重厚で美しい音色を来場者に楽しんでもいただきました。海外からはバーバラ・モーザー氏を招待し、多くの来場者にお越しいただきました。また、ふるさと音楽ひろば、キン・コン・カン・コンサートを実施し、丹波地域の子どもたちに本物の音楽を鑑賞する機会を提供することができました。

丹波の森公苑ホール等自主事業

◇実施内容

本物の音楽、芸術の素晴らしさを体験してもらうため、丹波地域の子どもたちへのクリスマスプレゼントとして、スーパーキッズ・オーケストラによるクリスマスコンサートを開催しました。

開催日：令和5年12月23日(土)

場 所：丹波の森公苑ホール

入場者：357人



スーパーキッズ・オーケストラ

◇成果（自己評価等）

入場者から「演奏を聴いて涙が出た」「小中高生が演奏しているとは思えないほど素晴らしい」「指揮者体験コーナーが盛り上がった」「未就学児も入場できたのが良かった」等の感想が寄せられ、盛況かつ好評のうちに公演を終えることができました。

アートクラフトフェスティバル in たんば 2023 の開催【丹波年輪の里】

◇実施内容

北は北海道、西は広島県等、全国の木工や陶磁器、布など様々なジャンルのクラフトマンの作品が、野外で自由に展示出来る場を提供し、展示者と来園者との交流を図り・手づくり文化や地域文化の向上など、創作活動の普及を図りました。

開催日：11月3日(祝・金)・4日(土)

出展者：167人

入場者：25,000人



◇成果（自己評価等）

丹波地域におけるクラフト文化の向上、創作活動の普及を図りました。また、全国各地で活動するクラフトマンが一堂に集い、芝生広場など園内での自由な作品展示や来苑者との交流を深めることができました。

第35回丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ大賞展）【丹波年輪の里】

◇実施内容

「第35回丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ大賞展）」の開催「遊び・戯れ・木のぬくもり」をキャッチフレーズに、昭和63年の第1回から施設開所以来継続中の事業です。

今回新たに一般の部において「親子で遊べる木のおもちゃ作品部門」を設け、乳幼児が安心して遊べるようなシンプルで丈夫な木のおもちゃを募集し、「ジュニアの部」では、子どもたちに広く木に親しんでもらうことを目的に自由な木工作品を公募し、全作品を年輪の里で展示・公開しました。

○一般の部

募集作品：「テーマ作品 “とぶ”」 「自由作品」

展示期間：9月9日（土）～24日（日）（丹波年輪の里 木の館ホール）

○ジュニアの部

募集作品：「自由作品」

展示期間：10月14日（土）～29日（日）（丹波年輪の里 木の館ホール）

一般の部グランプリ（文部科学大臣賞）



「koku-Model LET SJUNP!」神谷 孝弘（埼玉県）

ジュニアの部グランプリ（文部科学大臣賞）



「恐怖?のさまようゆうれい船」
大森 春奈（丹波市立永上中学校1年生）

○出展者（出展数）一般の部	60人	73点	（自由作品34点 テーマ作品23点 親子で遊べる木のおもちゃ16点）
	ジュニアの部	123人	111点 出展校 20校
○入賞作品	一般の部	グランプリ（文部科学大臣賞）・準グランプリ（知事賞）・優秀賞（丹波市長賞） 他12作品	
	ジュニアの部	グランプリ（文部科学大臣賞）・準グランプリ（知事賞）・優秀賞（丹波市長賞） 他12作品	
○その他	一般の部	新人賞、特別賞、佳作、学生賞	
	ジュニアの部	特別賞、佳作、学校賞、館長賞	
○入場者数	一般の部	877人	
	ジュニアの部	1,017人	
	合計	1,894人	

◇成果（自己評価等）

一般の部、ジュニアの部とも個性と創造溢れる作品が全国各地から多く寄せられ、好評のうちに終了することができました。35年の伝統を持ち、木のおもちゃを題材とした公募展は全国的にも珍しく、玩具作家を目指す若い世代の登竜門的な役割も担っています。

今回は原点である「親子で遊べる木のおもちゃ部門」を創設し、結果、若干の応募数の増加が見られました。

丹波の森アートフェスティバルの開催

(兵庫県文化賞受賞者小品展、丹波の森新春書き初め展、展示ギャラリーの開設)

◇実施内容

日頃から美術を愛好し、創作活動に励まれている多くの人々の作品を展示することにより、世代や分野を越えた心の交流を深め、豊かな芸術文化の高揚を図りました。

○2023兵庫県文化賞受賞者小品展

開催日：11月2日(木)～5日(日)

出展数：31点

入場者：90人

○第46回丹波の森新春書き初め展

開催日：令和6年1月24日(水)～28日(日)

場 所：丹波の森公苑多目的ルーム等

出展数：675点

入場者：1,612人

開催日：令和6年2月9日(金)～13日(火)

場 所：丹波篠山市立四季の森生涯学習センター東館

出展数：261点

入場者：339人

○展示ギャラリーの開設

利用件数：31件(年間)

利用日数：266日(利用率86.3%) (詳細はP64に利用状況一覧表を掲載)

◇成果(自己評価等)

丹波の森新春書き初め展は、丹波地域の児童、生徒と一般出品者から多くの作品が出展され、会期中は多くの来場者で賑わいました。

また、展示ギャラリーは、日頃から創作活動に励まれている方の発表の場として幅広い分野で利用いただきました。毎回さまざまな展示で多くの方に鑑賞いただきました。



第46回丹波の森新春書き初め展

伝統文化活性化支援事業

◇実施内容

丹波地域の民俗芸能を次代に伝えていくため、民俗芸能の発表・鑑賞の機会を提供するとともに、子どもたちに伝統文化である和楽器の素晴らしさを伝えるため、和楽器鑑賞会を開催しました。

○子どもたちのための和楽器鑑賞会

（丹波文化団体協議会による出前授業）

開催日：9月～令和6年1月の間

場 所：丹波管内の小学校10校

内 容：和楽器（尺八、箏、三味線）演奏の鑑賞
及び演奏体験

参加者：289人

○第12回丹波の森童謡唱歌の祭典・民俗芸能特別鑑賞

開催日：5月20日（土）

場 所：丹波の森公苑ホール

出演団体：14団体

特別鑑賞：京都雅楽塾 丹波校

参加者：約300人



子どもたちのための和楽器鑑賞会



民俗芸能特別鑑賞

◇成果（自己評価等）

和楽器鑑賞会は、丹波地域の小学校10校で実施しました。丹波文化団体協議会の構成団体の中から都山流尺八岩友会（青山文化協会）と邦友会（春日文化協会）に講師として小学校に出向いてもらい、演奏の鑑賞や尺八、箏、三味線などの体験を通して、子どもたちと交流しながら和楽器に親しみをもってもらえる機会を提供することができました。

すわ てん 座っ展 2023 ー丹波で坐る・木の椅子ー【丹波年輪の里】

◇実施内容

記念すべき10周年を迎え、丹波近郊で活躍する木工作家による木の椅子展14名の作家の31脚椅子が並び、来場者に実際に座って木のぬくもりと木の椅子の良さを味わっていただきました。

開催日：4月29日（土・祝）～5月5日（金・祝）

場 所：丹波年輪の里 木の館ホール

出 展：木工作家14人 椅子31脚

来場者：1,375人



◇成果（自己評価等）

木の椅子の安らぎや手づくり作品のすばらしさを直接触れていただくことで体感していただきました。また、木工作家と来場者との交流も行われ、一般の方々に木工を身近に感じていただく機会となりました。

年報の発行、SNS等での情報発信

◇実施内容

丹波の森づくりをはじめ、地域の各種実践活動等の情報を「年報」で情報提供した他、ホームページをはじめフェイスブックやInstagram、Xで、各施設の四季折々の様子やイベント案内など随時発信をしました。

○ホームページによる情報発信

アクセス件数	4, 462件（兵庫丹波の森協会）
	26, 286件（丹波の森公苑）
	52, 584件（丹波年輪の里）
	29, 109件（ささやまの森公園）
	131, 245件（丹波並木道中央公園）



兵庫丹波の森協会ホームページ

◇成果（自己評価等）

年報については、2022年の主な事業や取組について記録書としてまとめるとともに、事業効果の検証を進めました。またホームページに掲載し、地域の方々へ当協会事業についての理解と関心を深めていただくことができました。

また、令和3年2月にホームページをリニューアルし、モバイル対応ができるように改善されたことで閲覧数も増えています。四季折々の様子やイベント案内など、タイムリーな情報を発信することができました。

芸術文化団体等活動支援

芸術文化団体への活動支援

◇実施内容

丹波文化団体協議会の事務局を担い、丹波の森公苑を拠点として芸術文化団体等が活発な活動を展開できるよう支援を行いました。丹波文化活動交流会、ふるさとの心をうたう丹波音楽祭、夏休み子ども文化教室、丹波地域文化フェスティバル等の事業を実施しました。

○丹波文化活動交流会

開催日：12月8日（金）～10日（日）

場 所：丹波の森公苑ホール、多目的ルーム他

入場者：創作展示の部：171人

ステージ発表の部：480人

○ふるさとの心をうたう丹波音楽祭

開催日：11月26日（日）

場 所：丹波の森公苑ホール

入場者：580人

○夏休み子ども文化教室

開催日：7月27日（木）～8月25日（金）

（各教室5回）

内 容：彫刻教室、民謡教室

受講者：彫刻教室10人、民謡教室8人

○丹波地域文化フェスティバル

開催日：8月6日（日）

場 所：丹波の森公苑多目的ルーム他

入場者：336人

◇成果（自己評価等）

丹波文化団体協議会の事務局を担い、丹波地域の文化芸術団体相互の連携を図るとともに、発表、交流等の事業について円滑に実施できるよう支援しました。丹波文化活動交流会、ふるさとの心をうたう丹波音楽祭等のイベントには多くの方に来場いただき、丹波地域の文化力を発信することができました。



夏休み子ども文化教室

兵庫丹波の森協会事務局・丹波の森公苑

- ・ 講座一覧
- ・ 出前講座の状況
- ・ 活動一覧
- ・ 施設利用一覧
- ・ 評議員会の開催状況
- ・ 理事会の開催状況
- ・ 評議員名簿
- ・ 協会役員名簿
- ・ 運営委員会の開催状況
- ・ 運営委員会委員名簿
- ・ 機能
- ・ 沿革
- ・ 施設の概要
- ・ 組織と職員

講座一覧

丹波の森大学(第33期)

回	開催日	テーマ・内容 (基本テーマ: 森のデザイン)	講師 (敬称略)
1	5月27日	森の中のまちのデザイン	関西学院大学建築学部教授 丹波の森大学学長 角野 幸博
2	6月3日	【公開講座】わかりあえないことから -コミュニケーションデザインについて考える-	芸術文化観光専門職大学学長・劇作家 平田 オリザ
3	7月29日	神宿る森と暮らし方のデザイン	(公財) 兵庫丹波の森協会丹波の森研究所特任研究 員 大阪府立大学名誉教授 上 甫 木 昭 春
4	8月19日	【公開講座】森に寿命はあるか? ---生命をデザインする	兵庫県立兵庫人と自然の博物館名誉館長 東京大学名誉教授 岩 槻 邦 男
5	9月30日	・SDGsって何? 「はりまホッププロジェクト」を通じて~ ・「つながり」(=ソーシャル・キャピタル)から“地域力”を読み解く	キタイ設計株式会社事業開発本部長 平 櫛 武 ULAN環境工房代表取締役 上 岡 典 子
6	10月24日	現地学習(神戸市)	神戸市立森林植物園他
7	11月25日	風景が美しいと人は幸せになれる-地方が元気になるまちづくり-	1級建築士博士 京都造形芸術大学教授 INOPLAS都市建築デザイン研究所主宰 井 口 勝 文
8	11月1日	【ワークショップ・ゼミ形式】Aコース やりたいことをなりわいにするには~SDGsミッションを語り合おう~	平 櫛 武
8	12月5日	【ワークショップ・ゼミ形式】Bコース 地域の暮らしに大切な「つながり」(=ソーシャル・キャピタル)の現 状を考える	上 岡 典 子
9	11月10日	【ワークショップ・ゼミ形式】Aコース なりわいを持続可能なシステムにするには~SDGsの仕組みを利用する~	平 櫛 武
9	12月20日	【ワークショップ・ゼミ形式】Bコース グループ討議を通して地域力を読み解く	上 岡 典 子
10	令和6年 1月20日	ワークショップ報告	

花と緑の教室

回	開催日	テーマ・内容	講師 (敬称略)
1	5月18日	講義: 植物に関する基礎知識① 実習: 初夏の草花の寄せ植えと管理方法	県立フラワーセンター派遣講師 門上 幸子
2	7月20日	講義: 植物に関する基礎知識② 実習: 観葉植物を使った寄せ植えと管理方法	
3	9月14日	講義: 植物に関する基礎知識③ 実習: 秋のこけ玉づくりと管理方法	
4	11月16日	講義: 植物に関する基礎知識④ 実習: クリスマスを飾る寄せ植えと管理方法	
5	12月21日	講義: 植物に関する基礎知識⑤ 実習: 正月を飾る寄せ植えと管理方法	
6	令和6年 3月21日	講義: 植物に関する基礎知識⑥ 実習: 春の草花の寄せ植えと管理方法	

園芸教室

回	開催日	テーマ・内容	講師 (敬称略)
1	5月11日	実習: 小作品づくり 講義: プロが教えるガーデニングと小作品づくり	ひょうごガーデンマイスター認定 田丸 和美 (村岡ガーデンクラブ代表、 兵庫県立フラワーセンター講師、 園田学園女子大学短期大学部講師)
2	7月13日	実習: ひょうごまちなみガーデンショ ー出展作品づくり	
3	9月7日	実習: ひょうごまちなみガーデンショ ー出展作品の補植と出展作品づくり等	
4	9月24日	視察研修(ひょうごまちなみガーデンショ ー/明石公園)	
5	10月26日	実習: 丹波の森フェスティバル出展作品づくり	
6	11月30日	実習: クリスマス&お正月の寄せ植え	
7	令和6年 3月7日	実習: 春の花いっぱい寄せ植え	

森づくり講座（間伐編）

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	10月15日	里山整備講座①（チェーンソーの構造と目立て）	森づくり活動アドバイザー
2	11月5日	里山整備講座②（伐倒技術の基本）	
3	11月19日	里山整備講座③（間伐する木の選定）	
4	12月17日	里山整備講座④（間伐木の伐倒：実践①）	
5	令和6年 1月14日	里山整備講座⑤（間伐木の伐倒：実践②）	
6	2月18日	里山整備講座⑥（間伐材の搬出方法）	

森づくり講座（間伐活用編）

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	4月23日	里山整備講座①（ウィンチなどを使って山から木を運び出そう）	森づくり活動アドバイザー
2	5月14日	里山整備講座②（玉切りをし、皮をむいて乾燥させよう）	
3	7月9日	里山整備講座③（チェーンソーで製材に挑戦しよう）	
4	8月6日	里山整備講座④（工具を使ってベンチ本体・脚などをキットをつくろう）	
5	9月3日	里山整備講座⑤（脚などのキットを組み付け、仕上げ塗装でベンチを完成させよう）	

丹波縄文の森塾

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	5月20日	【開塾式・オリエンテーション】 「田植え、里山遊び」	まなあそ代表 濱畑直也、丹波縄文の森塾サポーター、森づくり活動アドバイザー
2	6月17日	「サツマイモ植え、里山自然観察（オオムラサキ観察など）」	丹波縄文の森塾サポーター、森づくり活動アドバイザー
3	7月1日	「縄文時代と土器の話、縄文土器づくり」	滋賀県文化財保護協会 鈴木康二、陶芸家 宮本ルリ子
4	7月28日	「縄文土器づくり（野焼き）、ツリーイング、草木染め」	陶芸家 宮本ルリ子、滋賀県文化財保護協会 鈴木康二、Tree Master Climbing Academy、草木染作家 竹内
5	7月29日	「縄文土器づくり（土器上げ）、水生生物観察」	陶芸家 宮本ルリ子、滋賀県文化財保護協会 鈴木康二、丹波地域のホトケドジョウを守る会 山科ゆみ子
6	9月23日	「ドングリ・栗拾い、稲刈り・稲木かけ」	丹波縄文の森塾サポーター、森づくり活動アドバイザー
7	10月14日	「昔ながらの脱穀体験、芋掘り、自然物を使ったクラフトづくり」	丹波縄文の森塾サポーター、森づくり活動アドバイザー
8	11月25日	「里山尾根歩き、竹弓矢体験、自然物を使ったクラフトづくり」	丹波縄文の森塾サポーター、森づくり活動アドバイザー
9	12月16日	「シイタケ原木の枝打ち、餅つき、しめ縄づくり」	丹波縄文の森塾サポーター、森づくり活動アドバイザー
10	令和6年 1月13日	「凧づくり・凧あげ、シイタケ原木の玉切り、自然物を使ったクラフトづくり」	森林インストラクター 山崎春人、丹波縄文の森塾サポーター、森づくり活動アドバイザー
11	2月17日	「記念植樹、シイタケ菌の駒打ち、冬の里山自然観察（オオムラサキ越冬幼虫など）」	丹波縄文の森塾サポーター、森づくり活動アドバイザー
12	3月16日	【閉塾式】 「シュールベルト花壇植栽、シイタケ狩り、みんなで一年を振り返ろう」	丹波縄文の森塾サポーター、森づくり活動アドバイザー

※ 縄文キャンプ（7月28日～30日）は中止し、2日間（7月28日、29日）の日帰りで実施。

兵庫県地域高齢者大学 4 年制大学講座「丹波OB大学」

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	4月19日	【開講式】	
		学年別研修	
		歓迎行事	アンサンブルいかるが（オカリナアンサンブル）
2	5月10日	学年別研修	
		教養講座①：「冒険の世界で学んだこと」	日本パラグライダー協会初代会長 只野 直孝
		自治会総会	
3	5月24日	朝のつどい	
		専門講座①健康福祉：「健康づくりはコミュニケーションから～アサーショントレーニングの実際～」	奈良学園大学 教授 住本 克彦
		専門講座①地域文化：「丹波の自然～季節の中で～」	丹波自然友の会 代表 梅垣 守明
		専門講座①生活創造：「これからの私たちの食生活」	兵庫大学栄養マネジメント科 非常勤講師 宮田 さと子
		学年別研修	
		クラブ活動	
4	6月7日	学外研修：大阪市（大阪歴史博物館・大阪企業家ミュージアム）	
5	6月21日	地域別研修・学年別研修	
		教養講座②：「杜氏の独り言」	山名酒造株式会社 杜氏 青木 卓夫
		交通安全講座	兵庫県県民生活部生活安全課交通安全対策班 兵庫県警部 山本 貴義（トヨタ・JAF）
		クラブ活動	
6	7月5日	地域実践の日	
7	7月19日	学年別研修	
		専門講座②健康福祉：「肉体疲労と栄養補給～ファイトー発～」	大正製薬 薬剤師 池内 敏男・事務部 豊嶋 敏明
		専門講座②地域文化：「生類憐みの令に向き合った村人たち」	丹波市文化財保護審議会 委員 山内 順子
		専門講座②生活創造：「丹波篠山の自然のひとしづく」	ささやまビーファーム 代表取締役 松村 まな
		特別講座①：「高齢者の心の病」	医療法人社団 清風会 香良病院理事長 院長 石井 敏樹
		クラブ活動	
8	8月23日	朝のつどい	
		専門講座③健康福祉：「健康寿命を延ばす為の食生活」	丹波市健康課 管理栄養士 藤原 里佳
		専門講座③地域文化：「丹波地域の里山の現状」	丹波の森公苑森づくり課 森づくり活動アドバイザー 角谷 慶治
		専門講座③生活創造：「みなさんご存じですか The Piano！」	西本ピアノ調律 西本 義孝
		学年別研修	
		クラブ活動	
9	9月6日	朝のつどい	
		特別講座②：「笑うみんなが観音様～みんなが笑顔でいるために～」	曹洞宗如意山 長楽寺 住職 安達 瑞樹
		学年別研修	
		クラブ活動	
10	9月21日 9月22日	丹波地域学が高齢者のつどい	

11	10月4日	朝のつどい・看護学生との交流（全体会）	丹波市立看護専門学校 2年生
		看護学生との交流（学年別）	丹波市立看護専門学校 2年生
		学年別研修	
		文化祭・クラブ活動、OB大学の歌録音会	
12	10月18日	運動会準備	
		学年別研修	
		運動会	
13	11月8日	オープン学習	「秋散策教室」丹波の森公苑 中原康弘、角谷 慶治
			「ノルディックウォーキング教室」 余田 幸美、小島 めぐみ
			「写真教室」岡林 利幸
			「季節のリース作り教室」足立 恵宣
			「クラフトテープで小物作り」辻 治子
			「茶道教室」細見 淳子
			「ミニ屏風教室」衣川 充洋
14	11月22日	朝のつどい	
		専門講座④健康福祉：「目の健康づくり～ブルーベリーを中心にして～」	株式会社わかさ生活 研究員 浅野 智哉
		専門講座④地域文化：「催事食として考える丹波地域における鯖寿司の価値と現在の鯖街道」	丹波篠山市社会教育指導員 松本 剛
		専門講座④生活創造：「和の五感を楽しむ雅楽」	古民家文化サロン 仲摩屋 仲摩 喜豫子
		クラブ活動発表会	
		クラブ活動	
15	12月13日	朝のつどい	
		専門講座⑤健康福祉：「介護機器を使ってみよう！」～介護機器体験講座～	株式会社石坪 二見 直希
		専門講座⑤地域文化：「芦田均と文学」	(株)丹波新聞社 代表取締役会長 荻野 祐一
		専門講座⑤生活創造：「甲子園球場を造った男 三崎省三」	丹波新聞社 取締役会長 荻野 祐一
		教養講座③「自然の目気味の豊かさ」	丹波市地域おこし協力隊員 尾形 真依子
		クラブ活動	
16	令和6年 1月17日	朝のつどい・学年別研修	
		教養講座③「人を活かす」	丹波市茶華道連盟 会長 吉見 さつき
		地域活動研修	
		クラブ活動	
17	2月7日	自治会総会	
		大学院実践発表会	
		特別講座③「わかりあえないことから～コミュニケーション能力とは～」	芸術文化観光専門職大学 学長 平田 オリザ
		クラブ活動	
18	3月6日	【修了式】	
		記念行事	金 真須美
		思い出の記録映写	

兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座「丹波OB大学大学院」

回	開講日	学習テーマ・内容等	講師（敬称略）
1	4月19日	開講式	
		オリエンテーション	
		歓迎行事	アンサンブルいかるが（オカリナアンサンブル）
2	5月10日	教養講座①：「冒険の世界で学んだこと」	日本パラグライダー協会初代会長 只野 直孝
		地域活動実践講座①：「調査研究方針及び年間計画の決定」	多可町共生社会づくりアドバイザー NPO法人「じーば」理事長 小嶋 明

3	5月24日	地域活動実践講座②：「調査研究・年間計画の決定」	多可町共生社会づくりアドバイザー NPO法人「じーば」理事長 小嶋 明
		レクリエーション（囲碁ボール大会）	
		クラブ活動	
4	6月7日	学外研修：大阪市（大阪歴史博物館・大阪企業家ミュージアム）	
5	6月21日	教養講座②：「杜氏の独り言」	山名酒造株式会社 杜氏 青木 卓夫
		地域活動実践講座③：「各班調査研究」	多可町共生社会づくりアドバイザー NPO法人「じーば」理事長 小嶋 明
		クラブ活動	
6	7月19日	地域活動実践講座④：「調査研究」	多可町共生社会づくりアドバイザー NPO法人「じーば」理事長 小嶋 明
		特別講座①：「高齢者の心の病」	医療法人社団 清風会 香良病院理事長 院長 石井 敏樹
		クラブ活動	
7	8月23日	地域活動実践講座⑤：「調査研究・フィールドワーク」	多可町共生社会づくりアドバイザー NPO法人「じーば」理事長 小嶋 明
		地域活動実践講座⑥：「調査研究」	自主研修
		クラブ活動	
8	9月6日	特別講座②：「笑うみんなが観音様～みんなが笑顔でいるために～」	曹洞宗如意山 長楽寺 住職 安達 瑞樹
		地域活動実践講座⑦：「調査研究」	多可町共生社会づくりアドバイザー NPO法人「じーば」理事長 小嶋 明
		クラブ活動	
9	9月21日 9月22日	丹波地域学が高齢者のつどい	
10	10月4日	地域活動実践講座⑧：「各班調査研究」	多可町共生社会づくりアドバイザー NPO法人「じーば」理事長 小嶋 明
		地域活動実践講座⑨：「調査研究」	自主研修
		クラブ活動	
11	11月8日	オープン学習	「秋散策教室」丹波の森公苑 中原康弘、角谷 慶治
			「ノルディックウォーキング教室」 余田 幸美、小島 めぐみ
			「写真教室」岡林 利幸
			「季節のリース作り教室」足立 恵宣
			「クラフトテーブルで小物作り」辻 治子
			「茶道教室」細見 淳子
			「ミニ屏風教室」衣川 充洋
12	11月22日	地域活動実践講座⑩：「調査研究・調理実習（食文化班）」	多可町共生社会づくりアドバイザー NPO法人「じーば」理事長 小嶋 明
		地域活動実践講座⑪：「調査研究」	自主研修
		クラブ活動	
13	12月6日	地域活動実践講座⑫：「実践発表に向けた準備」	多可町共生社会づくりアドバイザー NPO法人「じーば」理事長 小嶋 明
		地域活動実践講座⑬：「実践発表に向けた準備」	自主研修
14	12月13日	地域活動実践講座⑭：「実践発表に向けた準備」	多可町共生社会づくりアドバイザー NPO法人「じーば」理事長 小嶋 明
		教養講座③「日本の食の現状と課題、今後の展開方向」	近畿農政局兵庫県拠点 地方参事官 阿部 建治
		クラブ活動	
15	令和6年 1月17日	教養講座③「人を活かす」	丹波市茶華道連盟 会長 吉見 さつき
		地域活動実践講座⑮：「実践発表に向けた準備」	多可町共生社会づくりアドバイザー NPO法人「じーば」理事長 小嶋 明
		クラブ活動	
16	1月31日	地域活動実践講座⑯：「実践発表リハーサル」	多可町共生社会づくりアドバイザー NPO法人「じーば」理事長 小嶋 明
17	2月7日	大学院実践発表会	多可町共生社会づくりアドバイザー NPO法人「じーば」理事長 小嶋 明
		特別講座③「わかりあえないことから～コミュニケーション能力とは～」	芸術文化観光専門職大学 学長 平田 オリザ
		クラブ活動	
18	3月1日	【修了式】	
		記念行事	金 真須美
		思い出の記録映写	

令和5年度講座「丹波学」

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
テーマ		丹波武将と徳川家康 ～その時、家康は丹波に何をみたのか～	
1	8月26日	小牧・長久手合戦と丹波・荻野氏	城郭談話会 会員 福島 克彦
2	9月16日	篠山城の天下普請と城下町の形成	県立考古博物館 名誉学芸員 山上 雅弘
3	10月7日	大坂の陣と丹波武将	名城大学 非常勤講師 長屋 隆幸
4	11月11日	関ヶ原の合戦と丹波武将	株式会社歴史と文化の研究所 客員研究員 水野 伍貴
5	12月2日	本能寺の変から読み解く徳川家康と明智光秀	株式会社歴史と文化の研究所 代表取締役 渡邊 大門

令和5年度「丹波の森子どもミュージカル体験塾」

開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
7月23日	開講式	有限会社ウエスト・プロ 代表取締役 巽 詩郎、劇団員
7月23日～ 10月14日	レッスン（16回）	
10月15日	発表公演「輝けドリーム～もうひとつのピーターパン～」	

出前講座の状況

森づくり課

回	開催日	場 所	対象団体	テ ー マ 等	人数
1	5月9日	丹波市新井小学校	丹波市立新井小学校	オオムラサキの学習	15
2	5月11日	丹波市南小学校	丹波市立南小学校	オオムラサキの学習	17
3	5月12日	丹波市春日部小学校	丹波市立春日部小学校	オオムラサキの学習	19
4	5月17日	丹波市小川小学校	丹波市立小川小学校	オオムラサキの学習	15
5	5月18日	丹波篠山市立城北畑小学校	丹波篠山市立城北畑小学校	オオムラサキの学習	27
6	5月19日	丹波市東小学校	丹波市立東小学校	オオムラサキの学習	52
7	5月23日	丹波市竹田小学校	丹波市立竹田小学校	オオムラサキの学習	12
8	5月25日	丹波市上久下小学校	丹波市立上久下小学校	オオムラサキの学習	10
9	5月25日	丹波市三輪小学校	丹波市立三輪小学校	オオムラサキの学習	13
10	5月26日	丹波篠山市立篠山小学校	丹波篠山市立篠山小学校	オオムラサキの学習	33
11	5月30日	丹波市崇広小学校	丹波市立崇広小学校	オオムラサキの学習	77
12	5月31日	丹波篠山市立八上小学校	丹波篠山市立八上小学校	オオムラサキの学習	13
13	6月1日	丹波市和田小学校	丹波市立和田小学校	オオムラサキの学習	36
14	6月6日	丹波市久下小学校	丹波市立久下小学校	オオムラサキの学習	15
15	6月7日	丹波篠山市立岡野小学校	丹波篠山市立岡野小学校	オオムラサキの学習	17
16	6月8日	丹波市大路小学校	丹波市立大路小学校	オオムラサキの学習	9
17	6月9日	丹波市中央小学校	丹波市立中央小学校	オオムラサキの学習	39
18	6月9日	丹波市進修小学校	丹波市立進修小学校	オオムラサキの学習	16
19	6月13日	丹波篠山市立多紀小学校	丹波篠山市立多紀小学校	オオムラサキの学習	19
20	6月14日	丹波篠山市立今田小学校	丹波篠山市立今田小学校	オオムラサキの学習	43
21	6月15日	丹波篠山市立西紀北小学校	丹波篠山市立西紀北小学校	オオムラサキの学習	10
22	6月16日	丹波市黒井小学校	丹波市立黒井小学校	オオムラサキの学習	36
23	6月23日	氷上西高等学校	氷上西高等学校・丹波市立青垣小学校	オオムラサキの学習（放蝶会）	50
24	6月28日	丹波市立青垣小学校付近河川	丹波市立青垣小学校	水生生物の学習（現地学習）	40
25	7月4日	丹波の森公苑	丹波市立崇広小学校	オオムラサキの学習	77
26	7月4日	丹波市立久下小学校付近河川	丹波市立立久下小学校	水生生物の学習（現地学習）	14
27	7月5日	丹波篠山市立篠山小学校	丹波篠山市立篠山小学校	オオムラサキの学習（放蝶会）	33
28	7月11日	丹波市立多紀小学校付近河川	丹波市立多紀小学校	水生生物の学習（現地学習）	25
29	8月19日	丹波市春日町柚津地区	丹波市春日町柚津子供会・柚津自治会	水生生物の学習	13
30	10月5日	丹波市立大路小学校	丹波市立大路小学校	水生生物の学習	9
31	10月12日	丹波市立大路小学校付近河川	丹波市立大路小学校	水生生物の学習（現地学習）	9
32	2月13日	丹波篠山市立多紀小学校	丹波篠山市立多紀小学校	オオムラサキの学習	20

出前講座の状況

森づくり課

回	開催日	場 所	対象団体	テ ー マ 等	人数
3 3	2 月 2 0 日	丹波篠山市立篠山小学校	丹波篠山市立篠山小学校	オオムラサキの学習	3 3
3 4	2 月 2 7 日	丹波篠山市立八上小学校	丹波篠山市立八上小学校	オオムラサキの学習	3 3
3 5	3 月 6 日	丹波篠山市立篠山小学校	丹波篠山市立篠山小学校	オオムラサキの学習	4 8

活動一覧

兵庫丹波の森協会・丹波の森公苑

令和5年4月1日～令和6年3月31日

月 日	主 な 事 項	会 場
令和5年4月		
15日	ホトケドジョウ4月定例調査	管内生息地
16日	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
19日	丹波OB大学・丹波OB大学大学院開講式	丹波の森公苑
23日	森づくり講座（間伐材活用編①）	丹波の森公苑
29日	春の里山ハイキング（丹波の森公苑リニューアル記念事業）	丹波の森公苑
	生活創造活動グループサポート事業「新緑の季節緑！あふれる丹波の地で思いっきりリフレッシュ」	丹波の森公苑
5月		
7日	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
9日	森づくり出前講座	丹波市新井小学校
10日	丹波OB大学・丹波OB大学大学院開講日	丹波の森公苑
11日	園芸教室①	丹波の森公苑
	森づくり出前講座	丹波市南小学校
12日	森づくり出前講座	丹波市春日部小学校
13日	ホトケドジョウ5月定例調査	管内生息地
	生活創造活動グループサポート事業「初心者向けカメラ講座」	丹波の森公苑
14日	森づくり講座（間伐材活用編②）	丹波の森公苑
17日	森づくり出前講座	丹波市小川小学校
18日	花と緑の教室①	丹波の森公苑
	森づくり出前講座	丹波篠山市立城北畑小学校
	丹波文化団体協議会総会	丹波の森公苑
19日	森づくり出前講座	丹波市東小学校
20日	丹波縄文の森塾①・開塾式	丹波の森公苑
	童謡唱歌の祭典（伝統文化支援事業）	丹波の森公苑
23日	森づくり出前講座	丹波市竹田小学校
24日	丹波OB大学・丹波OB大学大学院開講日	丹波の森公苑
25日	森づくり出前講座	丹波市上久下小学校
	森づくり出前講座	丹波市三輪小学校
26日	森づくり出前講座	丹波篠山市立篠山小学校
27日	生活創造活動グループサポート事業「クラフトテープで小物づくり」	丹波の森公苑
28日	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
30日	森づくり出前講座	丹波市崇広小学校
31日	森づくり出前講座	丹波篠山市立八上小学校
6月		
1日	森づくり出前講座	丹波市和田小学校
6日	森づくり出前講座	丹波市久下小学校
	丹波の里山づくり促進事業実行委員会幹事会	柏原総合庁舎
7日	丹波OB大学・丹波OB大学大学院開講日（学外研修）	西播磨方面
	森づくり出前講座	丹波篠山市立岡野小学校
8日	森づくり出前講座	丹波市大路小学校
9日	森づくり出前講座	丹波市中央小学校
	森づくり出前講座	丹波市進修小学校
	シューベルティアードたんば「ふるさと音楽ひろば」	丹波市立船城小学校
10日	ホトケドジョウ6月定例調査	管内生息地
	生活創造活動グループサポート事業「let's Cooking辛くないスパイスキーマカレーの作り方」	丹波の森公苑
11日	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
13日	森づくり出前講座	丹波篠山市立多紀小学校
	丹波の里山づくり促進事業実行委員会総会	丹波の森公苑
14日	森づくり出前講座	丹波篠山市立今田小学校
	シューベルティアードたんば「ふるさと音楽ひろば」	丹波市立小川小学校
	シューベルティアードたんば「ふるさと音楽ひろば」	丹波市立久下小学校

月 日	主 な 事 項	会 場
15 日	森づくり出前講座	丹波篠山市立西紀北小学校
16 日	森づくり出前講座	丹波市黒井小学校
17 日	丹波縄文の森塾②	丹波の森公苑
21 日	丹波OB大学・丹波OB大学大学院開講日	丹波の森公苑
23 日	森づくり出前講座	氷上西高等学校
26 日	シューベルティアードたんば実行委員会総会	丹波の森公苑
28 日	森づくり出前講座（水性生物）	丹波市青垣小学校
30 日	丹波地域環境パートナーシップ会議企画運営委員会	柏原総合庁舎
7 月		
1 日	丹波縄文の森塾③	丹波の森公苑
2 日	第14回オオムラサキ放蝶会	丹波の森公苑
4 日	森づくり出前講座	丹波市崇広小学校
	森づくり出前講座（水性生物）	丹波市久下小学校
5 日	丹波OB大学 地域実践の日	丹波篠山市・丹波市の各所
	森づくり出前講座	丹波篠山市立篠山小学校
8 日	丹波いきもの大集合	丹波ゆめタウン
9 日	森づくり講座（間伐材活用編③）	丹波の森公苑
	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
11 日	森づくり出前講座（水性生物）	丹波市多紀小学校
13 日	園芸教室②	丹波の森公苑
14 日	シューベルティアードたんば「ふるさと音楽ひろば」	丹波市立西小学校
15 日	ホトケドジョウ7月定例調査	管内生息地
	生活創造活動グループサポート事業「多肉植物の寄せ植え体験」	丹波の森公苑
19 日	丹波OB大学・丹波OB大学大学院開講日	丹波の森公苑
20 日	花と緑の教室②	丹波の森公苑
23 日	丹波の森子どもミュージカル体験塾①	丹波の森公苑
27 日	夏休み子ども彫刻教室①夏休み子ども民謡教室①	丹波の森公苑
28 日	丹波縄文の森塾④	丹波の森公苑
	丹波の森子どもミュージカル体験塾②	丹波の森公苑
29 日	丹波縄文の森塾⑤	丹波の森公苑
30 日	生活創造活動グループサポート事業「大人も子供も楽しもう！ホッとHitoiki♡～夏の手作り体験会～2023」	丹波の森公苑
8 月		
2 日	夏休み子ども彫刻教室②	丹波の森公苑
3 日	丹波の森子どもミュージカル体験塾③	丹波の森公苑
	生活創造活動グループサポート事業「そば粉を使ったクッキー作り体験」	丹波の森公苑
	夏休み子ども民謡教室②	丹波の森公苑
6 日	森づくり講座（間伐材活用編④）	丹波の森公苑
	丹波地域文化フェスティバル	丹波の森公苑
9 日	夏休み子ども彫刻教室③	丹波の森公苑
10 日	夏休み子ども民謡教室③	丹波の森公苑
	丹波の森子どもミュージカル体験塾④	丹波の森公苑
17 日	夏休み子ども民謡教室④	丹波の森公苑
	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑤	丹波の森公苑
18 日	夏休み子ども彫刻教室④	丹波の森公苑
19 日	森づくり出前講座（水性生物）	丹波市春日町柚津地区
	ホトケドジョウ8月定例調査	管内生息地
20 日	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
	生活創造活動グループサポート事業「3人の作家が贈る ハンドメイド教室」	丹波の森公苑
22 日	生活創造活動グループサポート事業「フリースクール体験学習会 楽しい理科教室～スライムを作って遊ぼう～」	丹波の森公苑
23 日	丹波OB大学・丹波OB大学大学院開講日	丹波の森公苑
24 日	夏休み子ども民謡教室⑤	丹波の森公苑
	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑥	丹波の森公苑
25 日	夏休み子ども彫刻教室⑤	丹波の森公苑
26 日	講座「丹波学」①	丹波の森公苑
9 月		
1 日	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑦	丹波の森公苑

月 日	主 な 事 項	会 場
2 日	丹波地域環境パートナーシップ会議総会&ポスターセッション	山南住民センター
3 日	森づくり講座（間伐材活用編⑤）	丹波の森公苑
6 日	丹波OB大学・丹波OB大学大学院開講日	丹波の森公苑
7 日	園芸教室③	丹波の森公苑
8 日	子どもたちのための和楽器鑑賞会 シューベルティアードたんば「ふるさと音楽ひろば」	丹波篠山市立城南小学校 丹波篠山市立大山小学校
9 日	生活創造活動グループサポート事業「クラフトバンドでかごバッグを作ろう！」	丹波の森公苑
10 日	里山倶楽部活動 丹波の森子どもミュージカル体験塾⑧	丹波の森公苑 丹波の森公苑
11 日	シューベルティアードたんば「オープニング・サロンコンサート」	お菓子の里丹波ミオール館
14 日	花と緑の教室③	丹波の森公苑
16 日	ホトケドジョウ9月定例調査 講座「丹波学」②	管内生息地 丹波の森公苑
17 日	里山倶楽部活動 丹波の森子どもミュージカル体験塾⑨	丹波の森公苑 丹波の森公苑
20 日	里山の秋の実り体験（認定こども園ミライズそら）	丹波の森公苑
21 日	里山の秋の実り体験（丹波市立上久下小学校） 丹波地域学ぶ高齢者のつどい（～22日）	丹波の森公苑 丹波の森公苑
23 日	丹波縄文の森塾⑥	丹波の森公苑
24 日	園芸教室④視察研修（ひょうごまちなみガーデンショー） 丹波の森子どもミュージカル体験塾⑩	明石公園 丹波の森公苑
26 日	里山の秋の実り体験（丹波市立小川小学校） 里山の秋の実り体験（丹波市立和田小学校） シューベルティアードたんば「ふるさと音楽ひろば」	丹波の森公苑 丹波の森公苑 丹波市立黒井小学校
27 日	里山の秋の実り体験（丹波市立前山小学校） 子どもたちのための和楽器鑑賞会	丹波の森公苑 丹波市立竹田小学校
28 日	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑪	丹波の森公苑
29 日	シューベルティアードたんば「ふるさと音楽ひろば」	丹波市立進修小学校
30 日	生活創造活動グループサポート事業「丹波の森公苑で採取した草木で染める 草木染め体験」	丹波の森公苑
10月		
3 日	里山の秋の実り体験（認定こども園ふたば） 里山の秋の実り体験（認定こども園さちよ）	丹波の森公苑 丹波の森公苑
4 日	丹波OB大学開講日（看護学生との交流）・丹波OB大学大学院開講日 里山の秋の実り体験（認定こども園ぬめぎ） 里山の秋の実り体験（認定こども園富山こども園）	丹波の森公苑 丹波の森公苑 丹波の森公苑
5 日	森づくり出前講座（水性生物） 里山の秋の実り体験（丹波市立小川小学校） 里山の秋の実り体験（認定こども園わだ）	丹波市大路小学校 丹波の森公苑 丹波の森公苑
6 日	里山の秋の実り体験（認定こども園みつみ） 兵庫県文化賞受賞者小品展（～9日） 丹波の森子どもミュージカル体験塾⑫	丹波の森公苑 丹波の森公苑 丹波の森公苑
7 日	講座「丹波学」③	丹波の森公苑
8 日	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑬ 生活創造活動グループサポート事業「地域材を使用した木工体験 ひのきのカッティングボードを作る」	丹波の森公苑 丹波の森公苑
10 日	丹波市環境審議会 シューベルティアードたんば「キン・コン・カン・コンサート」	氷上住民センター 丹波篠山市立篠山東中学校
11 日	里山の秋の実り体験（認定こども園かすが森の子園）	丹波の森公苑
12 日	森づくり出前講座（水性生物） 子どもたちのための和楽器鑑賞会 丹波の森子どもミュージカル体験塾⑭	丹波市大路小学校 丹波市立上久下小学校 丹波の森公苑
13 日	国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテスト選考委員会 里山の秋の実り体験（認定こども園かすが花の子園） 丹波の森子どもミュージカル体験塾⑮	丹波の森公苑 丹波の森公苑 丹波の森公苑
14 日	シューベルティアードたんば「キン・コン・カン・コンサート」 丹波縄文の森塾⑦ 丹波の森子どもミュージカル体験塾⑯	兵庫県立氷上西高等学校 丹波の森公苑 丹波の森公苑

月 日	主 な 事 項	会 場
1 5 日	森づくり講座（間伐編①）	丹波の森公苑
	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
	丹波の森子どもミュージカル体験塾 発表公演	丹波の森公苑
1 6 日	シューベルティアードたんば 西紀街角コンサート	丹波篠山市立西紀南小学校
	丹波の森子どもミュージカル体験塾 発表公演	ライフピアいちじま大ホール
1 8 日	丹波OB大学開講日（運動会）	柏原住民センター・丹波の森公苑
	里山の秋の実り体験（認定こども園ミライズにじ）	丹波の森公苑
	丹波の里山づくり促進事業実行委員会幹事会	柏原総合庁舎
	里山の秋の実り体験（丹波市立崇広小学校）	丹波の森公苑
2 0 日	里山の秋の実り体験（認定こども園ミライズにじ）	丹波の森公苑
2 1 日	ホトケドジョウ10月定例調査	管内生息地
2 2 日	シューベルティアードたんば「吹奏楽部のための出前講座」	柏原高等学校柏陵会館
2 4 日	里山の秋の実り体験（認定こども園キッズランドかみ）	丹波の森公苑
	シューベルティアードたんば「ふるさと音楽ひろば」	丹波市立大路小学校
2 6 日	園芸教室⑤	丹波の森公苑
	シューベルティアードたんば「ふるさと音楽ひろば」	丹波市立青垣小学校
2 9 日	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
	秋の里山ハイキング（丹波の森フェスティバル）	丹波の森公苑
	シューベルティアードたんば 氷上街角コンサート	丹波市立南小学校
3 0 日	シューベルティアードたんば 山南街角コンサート	上久下地域づくりセンター
1 1 月		
1 日	国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテスト作品展（～11月12日）	丹波ゆめタウン
3 日	シューベルティアードたんば 市島街角コンサート	ライフピアいちじま
5 日	森づくり講座（間伐編②）	丹波の森公苑
	シューベルティアードたんば 丹南街角コンサート	ふれあい館（大山小学校内）
8 日	丹波OB大学・丹波OB大学大学院開講日（オープン学習）	丹波の森公苑
1 1 日	講座「丹波学」④	丹波の森公苑
	生活創造活動グループサポート事業「ひのきの間伐材で Let's make a log bench!!」	丹波の森公苑
1 2 日	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
	シューベルティアードたんば 柏原街角コンサート	たんば黎明館
1 5 日	里山の秋の実り体験（丹波市立黒井小学校）	丹波の森公苑
1 6 日	花と緑の教室④	丹波の森公苑
	兵庫県地域文化を考えるシンポジウム	赤穂市文化会館
1 8 日	ホトケドジョウ11月定例調査	管内生息地
	シューベルティアードたんば「ふるさと音楽ひろば」	丹波篠山市立城北畑小学校
1 9 日	森づくり講座（間伐編③）	丹波の森公苑
	シューベルティアードたんば「ガラ・コンサート」	田園交響ホール
	生活創造活動グループサポート事業「マンドウバッグを作ろう」	丹波の森公苑
2 2 日	丹波OB大学・丹波OB大学大学院開講日	丹波の森公苑
2 5 日	丹波縄文の森塾⑧	丹波の森公苑
2 6 日	ふるさと心の心をうたう丹波音楽祭	丹波の森公苑
2 9 日	丹波市環境審議会	氷上住民センター
	子どもたちのための和楽器鑑賞会	丹波市立久下小学校
3 0 日	園芸教室⑥	丹波の森公苑
1 2 月		
2 日	講座「丹波学」⑤	丹波の森公苑
	子どもたちのための和楽器鑑賞会	丹波市立前山小学校
3 日	生活創造活動グループサポート事業「お花絞りのカップケーキデコレーション体験」	丹波の森公苑
6 日	丹波OB大学・丹波OB大学大学院開講日	丹波の森公苑
8 日	丹波文化活動交流会（～10日）	丹波の森公苑
9 日	子どもたちのための和楽器鑑賞会	丹波市立船城小学校
1 3 日	丹波OB大学・丹波OB大学大学院開講日	丹波の森公苑
1 6 日	丹波縄文の森塾⑨	丹波の森公苑
	ホトケドジョウ12月定例調査	管内生息地
1 7 日	森づくり講座（間伐編④）	丹波の森公苑
	丹波文化団体協議会先進地視察研修（～18日）	高知県

月 日	主 な 事 項	会 場
2 1 日	花と緑の教室⑤	丹波の森公苑
2 3 日	スーパーキッズ・オーケストラ クリスマスコンサート	丹波の森公苑
	生活創造活動グループサポート事業「迎春飾りづくり」	丹波の森公苑
2 4 日	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
令和 6 年 1 月		
7 日	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
1 1 日	丹波OB大学・丹波OB大学大学院開講日	丹波の森公苑
1 3 日	丹波縄文の森塾⑩	丹波の森公苑
1 4 日	森づくり講座（間伐編⑤）	丹波の森公苑
1 7 日	丹波OB大学大学院開講日	丹波の森公苑
	子どもたちのための和楽器鑑賞会	丹波篠山市立多紀小学校
	子どもたちのための和楽器鑑賞会	丹波篠山市立八上小学校
1 9 日	丹波地域環境パートナーシップ会議ポスターセッション	四季の森生涯学習センター
2 0 日	国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテスト作品展（～1月30日）	兵庫陶芸美術館
	ホトケドジョウ1月定例調査	管内生息地
	子どもたちのための和楽器鑑賞会	丹波篠山市立城北畑小学校
	子どもたちのための和楽器鑑賞会	丹波市立吉見小学校
2 1 日	生活創造活動グループサポート事業「味噌づくり体験」	丹波の森公苑
2 4 日	第45回丹波の森新春書き初め展（～29日）	丹波の森公苑
2 7 日	生活創造活動グループサポート事業「つるし雛飾りづくり」	丹波の森公苑
3 1 日	丹波OB大学大学院開講日	丹波の森公苑
2 月		
4 日	生活創造活動グループサポート事業「天内芋を使った料理教室」	丹波の森公苑
5 日	第45回丹波の森新春書き初め展（～9日）	四季の森生涯学習センター
7 日	丹波OB大学・丹波OB大学大学院開講日（大学院実践発表会）	丹波の森公苑
1 0 日	国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテスト作品展（～2月22日）	丹波の森公苑
	ホトケドジョウ2月定例調査	管内生息地
1 1 日	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
1 3 日	森づくり出前講座	丹波篠山市立多紀小学校
1 7 日	丹波縄文の森塾⑪	丹波の森公苑
1 8 日	森づくり講座（間伐編⑥）	丹波の森公苑
2 0 日	森づくり出前講座	丹波篠山市立篠山小学校
2 4 日	生活創造活動グループサポート事業「竹かごづくりワークショップ」	丹波の森公苑
2 7 日	森づくり出前講座	丹波篠山市立八上小学校
3 月		
3 日	オオムラサキ越冬幼虫探し	丹波の森公苑
	生活創造活動グループサポート事業「柿ジャム作り講習会」	丹波の森公苑
6 日	丹波OB大学・丹波OB大学大学院修了式	丹波の森公苑
	森づくり出前講座	丹波篠山市立篠山小学校
7 日	園芸教室⑦	丹波の森公苑
1 0 日	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
1 3 日	丹波地域環境パートナーシップ会議企画運営委員会	柏原総合庁舎
1 6 日	丹波縄文の森塾⑫・閉塾式	丹波の森公苑
2 1 日	花と緑の教室⑥	丹波の森公苑
2 3 日	ホトケドジョウ3月定例調査	管内生息地
2 5 日	丹波の里山づくり促進事業実行委員会幹事会	柏原総合庁舎
3 1 日	丹波文化団体協議会会報発行	丹波の森公苑
	里山倶楽部活動	丹波の森公苑

施設利用一覧

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

施設	申込 件数	稼動 日数	利用 日数	利用率				利用 回数	利用人数
				1日単位	午前	午後	夜間		
ホー ル	91	265	84	31.7	56	67	39	162	18,497
					21.1	25.3	14.7		
練習室兼楽屋	181	309	153	49.5	80	104	86	270	4,660
					25.9	33.7	27.8		
楽 屋 A	54	309	54	17.5	45	51	18	114	543
					14.6	16.5	5.8		
楽 屋 B	60	309	59	19.1	46	57	19	122	307
					14.9	18.4	6.1		
創 作 工 房	176	309	167	54.0	126	141	47	314	4,358
					40.8	45.6	15.2		
多目的ルーム	212	309	193	62.5	142	160	81	383	10,757
					46.0	51.8	26.2		
和 室	101	309	94	30.4	71	76	20	167	841
					23.0	24.6	6.5		
会 議 室 1	179	309	165	53.4	316	100	29	445	1,868
					102.3	32.4	9.4		
会 議 室 2	75	309	74	23.9	51	56	8	115	651
					16.5	18.1	2.6		
会 議 室 3	148	309	138	44.7	83	107	20	210	2,093
					26.9	34.6	6.5		
セ ミ ナ ー 室	176	309	163	52.8	101	133	36	270	5,018
					32.7	43.0	11.7		
コワーキングスタジオ	33	246	32	13.0	9	26	1	36	304
					3.7	10.6	0.4		
キッチンスタジオ	22	246	22	8.9	16	18	0	34	185
					6.5	7.3	0.0		
テニスコート	985	290	265	91.4	368	680		1,048	10,210
					126.9	234.5			
グ ラ ン ド	156	290	142	49.0	67	123		190	10,128
					23.1	42.4			
計	2,649	4,427	1,805	40.8	1,577	1,899	404	3,880	70,420
					35.6	42.9	9.1		

展示ギャラリー利用状況

月	展 示 会 名（開催期間）
4	井上 信行 写真展「信州秋景」（１～１４） 丹波年輪の里絵画サークル作品展（１９～２３） 兵庫県障害者芸術作品巡回展（２８～５／９）
5	丹波ＯＢ大学ＯＢ写真倶楽部同窓会作品展（１１～１９） 丹波ＯＢ大学修了記念 写真水彩画合同作品展（２０～２８）
6	木彫り・クラフト・灯り工房 拓 足立 迪雄と仲間たちの作品展（１～１１） 絵の会「ワレモコウ」作品展（１３～２５） つぶやき座川柳展（２８～７／８）
7	第４回 二郎ふたり写真展（１４～２３） オーストリア・ウィーン写真展（２５～８／４）
8	丹波地域文化フェスティバル（５～６） 柏原高校美術部（８～１８）
9	丹波並木道水彩画教室５周年記念作品展（１９～３１） 和紙ちぎり絵展（１～１０） いどうこんちゅうかん（１６～１８） 学ぶ高齢者のつどい（２０～２２） パープル絵画教室作品展（２３～３０）
10	パステル画愛好会「NUKU森」（１～１０） 丹波写友会 ２０２３ 作品展（１７～２７）
11	井上 信行 写真展「信州秋景」（１～１０） 丹波年輪の里絵画サークル作品展（１４～２６） 兵庫県障害者芸術作品巡回展（２８～１２／１）
12	丹波文化活動交流会（８～１０） 第６回心を届ける たんば絵てがみコンクール 巡回展（１２～２２） 森のメモリー二人展 井上 勉 多波見和子（２４～１／１０）
1	風信書道会 丹波教室 新春作品展（１１～１９） 丹波の森新春書き初め展（２４～２８）
2	オオムラサキ絵画コンクール巡回展（１０～２３） ＯＢ大学写真クラブ迷作品展（２５～３／６）
3	兵庫丹波の森協会（８～２３） 高校教員３人展（２６～３１）

(公財)兵庫丹波の森協会評議員会の開催状況

区 分	開 催 日	開 催 地	出 席 者 数	議 決 ・ 承 認 事 項
① 第 2 5 回	4 月 1 日	(書面同意)	評議員 1 1 名	・ 理事の選任について
② 第 2 6 回	6 月 3 0 日	丹波市柏原町 丹波の森公苑	評議員 1 1 名 理事 3 名 監事 2 名	・ 令和 4 年度公益財団法人兵庫丹波の森協会事業報告及び収支決算の承認について ・ 理事の選任について

(公財)兵庫丹波の森協会理事会の開催状況

区 分	開 催 日	開 催 地	出 席 者 数	議 決 ・ 承 認 事 項
① 第 4 6 回	6 月 1 3 日	丹波市柏原町 丹波の森公苑	理事 1 1 名 監事 2 名	・ 令和 4 年度公益財団法人兵庫丹波の森協会事業報告及び収支決算の承認について ・ 令和 5 年度公益財団法人兵庫丹波の森協会収支補正予算(第 1 次)について ・ 第 2 6 回公益財団法人兵庫丹波の森協会評議員会の招集について
② 第 4 7 回	令和 6 年 1 月 2 5 日	丹波市柏原町 丹波の森公苑	理事 1 1 名 監事 1 名	・ 令和 5 年度公益財団法人兵庫丹波の森協会収支補正予算(第 2 次)について
③ 第 4 8 回	3 月 2 2 日	丹波市柏原町 丹波の森公苑	理事 1 0 名 監事 2 名	・ 丹波の森創造計画及び兵庫丹波の森協会アクションプランについて ・ 令和 5 年度公益財団法人兵庫丹波の森協会収支補正予算(第 3 次)について ・ 令和 6 年度公益財団法人兵庫丹波の森協会事業計画及び収支予算について ・ 第 2 7 回公益財団法人兵庫丹波の森協会評議員会の招集について ・ 事務局長の選任について ・ 役員等賠償責任保険契約について

(公財)兵庫丹波の森協会評議員名簿

令和6年3月31日現在

役員等の種類	氏 名	所 属 団 体 等
評議員	浅 葉 勇 貴	丹波青年会議所副理事長
〃	臼 井 雅 子	丹波市愛育会会長
〃	大 木 康 次	丹波青少年本部長
〃	太 田 鈴 子	丹波篠山市愛育会会長
〃	大 野 亮 祐	丹波市自治会長会会長
〃	荻 野 祐 一	(株)丹波新聞社代表取締役会長
〃	新 才 博 章	丹波篠山市自治会長会会長
〃	杉 尾 吉 弘	(株)夢こんだ代表取締役社長
〃	中 瀬 勲	県立人と自然の博物館館長
〃	中 道 知代子	丹波消費者団体連絡協議会会長
〃	本 多 紀 元	丹波篠山青年会議所理事

(注) 評議員について、氏名の記載は50音順

(公財)兵庫丹波の森協会役員名簿

令和6年3月31日現在

役員等の種類	氏 名	所 属 団 体 等
理 事 長	酒 井 隆 明	丹波篠山市長
副理事長	林 時 彦	丹波市長
常務理事	芦 田 義 則	丹波の森公苑次長
〃	大 垣 至 康	(公財) 兵庫丹波の森協会
理 事	足 立 環	丹波市観光協会会長
〃	上 田 浩 嗣	兵庫県丹波県民局長
〃	角 野 幸 博	丹波の森公苑長
〃	金 子 ちあき	丹波市推薦
〃	清 野 未恵子	神戸大学大学院准教授
〃	吉 良 佳 晃	丹波篠山市推薦
〃	近 藤 紀 子	丹波市推薦
〃	酒 井 達 哉	武庫川女子大学教授
〃	鈴 木 克 哉	里地里山問題研究所代表
〃	角 悟	丹波文化団体協議会会長
〃	長 尾 勝 美	丹波篠山市推薦
監 事	細 見 正 敏	丹波市副市長
〃	渡 邊 康 夫	公認会計士

(注) 理事、監事について、氏名の記載は50音順

丹波の森公苑運営委員会の開催状況

運営委員会の開催状況

区 分	開 催 日	開 催 地	出席者数	協 議 事 項
第 4 6 回	令和6年 3月7日	丹波市柏原町 丹波の森公苑 セミナー室	13名	[議事] ・令和5年度事業の実施状況・評価について ・令和6年度事業計画について

丹波の森公苑運営委員会委員名簿

令和6年3月31日現在

区 分	氏 名	職 名・所 属 団 体 等	備 考
地 域 代 表	赤井 俊子	英会話E I A I I E主宰	
	大木 玲子	丹波市商工会 参事	
	角 悟	丹波文化団体協議会 会長	
	戸田 幸典	丹波市市民活動支援センター スタッフ 特定非営利活動法人丹波ひとまち支援機構 代表理事	
	中道 知代子	丹波消費者団体連絡協議会 会長	
	藤田 光人	神戸新聞社 丹波総局長	
	松尾 俊和	篠山音楽協会 会長	
学 識 経 験	相川 康子	特定非営利活動法人NPO政策研究所 専務理事	
	赤澤 宏樹	兵庫県立大学自然・環境科学研究所 教授	
	岡 絵理子	関西大学環境都市工学部 教授	
	河内 厚郎	文化プロデューサー、兵庫県立芸術文化センター参与	
	客野 尚志	関西学院大学総合政策学部 教授	
	清水 奈緒美	兵庫県広報専門員	
	端 信行	国立民族学博物館 名誉教授	委員長
行 政	柳瀬 長明	丹波県民局 副局長兼県民交流室長	
	竹見 聖司	丹波篠山市 企画総務部長	
	清水 徳幸	丹波市 ふるさと創造部長	

(氏名の記載は、50音順または行政順)

機能

丹波の森公苑は、「丹波の森構想」を推進するため、森（地域）づくりをはじめ、豊かな自然の中で、文化、スポーツ、レクリエーション活動が楽しめ、真の豊かさの実現に向けた「新しいライフスタイルの創造」と「参画と協働によるこころ豊かな美しい丹波づくり」をみんな（住民、事業者、行政）で推進する拠点として、住民の方々の多様なニーズに対応できる多彩な事業・取り組みを展開するとともに、誰もが使いやすく、親しみやすい施設として機能の充実を図っています。

■ 丹波の森公苑がめざすもの（役割・機能）

生活創造・地域づくりの広域拠点、相談・助言、情報収集・発信、学習機会提供・ネットワーク化支援
協働事業企画実施、活動支援機関の連携促進

1 研究員・アドバイザーなどが暮らしや活動を応援

■丹波の森研究所主任研究員、特任研究員	■森づくり活動アドバイザー
環境保全や人づくり、実践活動グループ等の取り組みに対し助言する等地域住民の調査研究活動を応援します。	親しめる森づくりや花いっぱい運動を支援し、緑豊かな丹波の森づくりを応援します。
■生活情報活動アドバイザー	■生活創造活動支援スタッフ
消費生活相談も含めた生活創造活動の相談、アドバイスなどを行い、地域住民の安全な暮らしを支援します。	地域の生活創造活動グループの情報発信や活動を支援します。
■展示・企画スタッフ	■芸術スタッフ
展覧会の企画やギャラリー等での展示の機会を提供するなど、住民の芸術文化活動を応援します。	芸術を愛する人たちの創作活動を支援し、芸術家と住民との交流を進めます。

2 その他

- 会議室、ホール、多目的ルーム、アトリエ
- 展示ギャラリー、グループ活動コーナー、子ども室
- スポーツ施設（グラウンド、テニスコート）、里山、親水河川、芝生広場、駐車場

展示ギャラリーのご案内（１階）

あなたの作品 展示してみませんか？

丹波の森公苑正面の玄関を入ると、左手に展示ギャラリーがあります。

このコーナーは絵画や写真などの発表スペースとして、無料で開放しています（営利目的のものを除く）。

広報などのサポートもいたしますので、ぜひご利用ください。

■利用期間 搬入出を含む１２日間以内（休園日を除く）

■お申込み・お問合せ 丹波の森公苑１階 事業推進部 文化振興課（０７９５－７２－５１７０）まで

生活創造活動グループサポート制度のご案内

■ご利用特典

【無料で利用できる施設と備品】

グループ活動コーナー（２階）、展示ギャラリー、子供室、パンフレット台（活動情報紙配布用）、ココロン情報版（ポスター等掲示ボード）、情報ボックス（グループ間の連絡用）、展示ケース

【有料で利用できる備品】

コピー機（有料１枚１０円 紙代込み）、印刷機（有料製版３０円/枚、印刷１円/枚、紙は持参）

■対象グループ

丹波地域に活動拠点を置き「消費生活」「芸術文化」「環境・資源」「健康・福祉」「家庭」「地域づくり」などの丹波地域ビジョン実現に向けて取り組んでいるグループです。

* 政治・宗教活動・営利目的など、サポート制度の目的になじまないグループは除きます。

■利用できる曜日及び時間

休園日を除く日の午前９時～午後１０時（受付時間 午前９時～午後５時）

展示ギャラリーの利用は、午前９時～午後５時

受付期間：利用の１年前の初日から５日前まで

受付時間：午前９時～午後５時

印刷機・コピー機の利用は、午前９時～午後５時

受付時間：午前９時～午後４時３０分

■お申込み・お問合せ 丹波の森公苑（０７９５－７２－２１２７）まで

■里山散策 四季折々の自然にふれながら、自然観察、バードウォッチング、ハイキングが楽しめます。

■お問合せ 丹波の森公苑1階 活動支援部 森づくり課（0795-72-5165）まで



里山のおすすめ散策コース

「里山遊びマップ」を見ながら、里山散策に出かけましょう。
丹波の森公苑の里山には、レベルに合わせて歩けるよう
次の4種類のコースを用意しています。

さんさくの道（だれでも向きコース）

A：三原池を回るコース（約10分）

三原池には、一年を通してマガモな

鳥が見られます。岸边には抽水植物のガマが育ち、特定外来生物のウシガエルがすみ、大きなオタマジャクシも見られます。夏から秋にかけては水面にヒツジグサ（スイレン科）が白い花を咲かせ、秋には池の周りがススキで覆われます。

**B：ドングリの森から柏原住民センター
方面を周遊するコース（約20分）**

ドングリの森には10種類のドングリがあり、秋には多くの子どもたちが拾いにやってきます。このエリアにはミニ水田や小川があり、水辺の小動物がすんでいます。そして、かつて茅葺き屋根の材料となった、「オギ」【ヨシ（アシ）】【ススキ】などイネ科のよく似た3種類がそって見られます。

C: ツツジ・ササユリコース (約30分)

2つの倉庫の裏を

クラ、ウミズサクラ、ガマズミ、コバノミ
ツバツツジ、モチツツジ、ヤマツツジ、ササ
ユリ、アベマキ（ドンブリ）、サルトリイバラ、
ヤブコウジ（十画）、フユイチゴなど、四季を
通していろいろな草木を見ることができます。

さんぽの道 (約1時間)

① → ② → ③ → ④ → ⑤

の池（三原池）には、スイレンの一種、ヒツジブサが浮かんでいます。花期は初夏から晩秋まで。花弁が10ほどの美しい白い花が水面に映る姿を楽しめます。水鳥の姿が見られるときも！

ゆっくりと下る道す

の木漏れ日の中、桃色のタニウツギを見ることができます。また秋にはモミジやクヌギの紅葉がきれいです。⑥～⑦周辺の谷川をわたる時はキイチゴにも注目。自然の甘酸っぱさを楽しめます。

なだらかな山道を

が里山を彩り、初夏にはササユリの群生を見ることが出来ます。

かんさつの道（約2時間）

①⑨→②⑩→③⑪→④⑫→⑤⑬→⑥⑭

ます。この梓人は人が植林したものです。④の手前からは木の葉を踏み足音が変わったのに気づきましたか。コナラ、アベマキといった落葉樹の林に切り替わり、林中の明るさも変わってきます。鳥の声はどちらの方が多いでしょうか。⑤周辺にはホオノキがあり、大きい葉がたくさん落ちているのを見つけましょう。

⑥のゲートを開け、階段の続く山道を

ま。⑭では表土が削げ水が盛り上がる。⑮⑯はヒノキ林の中をアップダウンする道が続きます。下草があまり生えていないのはなぜでしょうか。考えてみましょう。

展望台からの下り道はコバノミツバツツシ

ら今は明るい落葉樹の林に、⑩で下山口に出
ます。

ながめの道 (約4時間)

①⑨→②⑩→③⑪ 西頂上

り、それを抜けて起伏が多い道を進みます。道は自然地形のままで、一人しか通れないほど狭く、岩場もあるので注意してください。②からは眼下に氷上盆地が広がる眺望が楽しめます。

道は山の尾根部にあり、な

を楽しみながら歩きましょう。㊸の手前にはヤマザクラ、ヤシヤブシの大木を見つけられます。尾根の反対側の斜面は林相が異なり、背の低いアカマツが多く生えています。

車頂上からはとても急な下り道です

を伝えて降りましょう。⑭には再びゲートがあり、ここを抜けると展望台です。その後は⑭～⑪→⑨となだらかな道を、脚をクールダウンさせながら下りましょう。

丹波の森公苑 里山の動植物

森公苑には、たくさんの木々や草花が生育し、動物が生息しています。四季折々に美しい花を咲かせたり、おいしい実をつけます。はなやかなチョウなども見られます。里山は私たちの心を癒してくれます。里山で自然とふれあいましょう。

春



シダレザクラ



カンサイタンポポ セイヨウタンポポ
花を包む萼(ほう)がセイヨウタンポポは反り返る

夏



ササユリ



秋



イチョウ



冬



フユイチゴ



野鳥



水辺の生き物



丹波の森公苑のドングリ

森公苑には、植えたものを含めて12種類のドングリがあります。いろいろな形や大きさのドングリを探しましょう。



(公財) 兵庫丹波の森協会の設立

1 設立趣旨

丹波地域の自然環境を守り育て、緑を基軸とした「人と自然と文化」の調和した丹波の森づくりを推進するため、以下の事業を実施する組織として設立されました。

- 1 自然環境の保全及び緑化の推進に関する事業
- 2 自然とのふれあいに関する事業
- 3 地域文化の保存・継承及び創造・育成に関する事業
- 4 丹波の森づくりの調査研究及び普及啓発に関する事業
- 5 丹波の森づくりを支援するための公の施設の管理運営及びこれに関する事業の受託
- 6 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 沿革

- ・昭和63年11月16日 丹波の森構想を地域住民の総意で推進するための組織として「丹波の森協会（任意団体）」が発足
- ・平成 2年 2月 1日 兵庫県知事から「財団法人 丹波の森協会（公益法人）」の設立を認可
- ・平成 8年 4月 1日 県立丹波の森公苑の管理運営を受託
- ・平成13年10月 1日 兵庫県からささやまの森公園の事業を受託
- ・平成18年 4月 1日 財団法人 兵庫丹波の森協会に名称を変更
- 同 兵庫県から丹波の森公苑の指定管理者に指定
- 同 篠山市から、ささやまの森公園（園地管理を除く）の管理運営を受託
- ・平成21年 4月 1日 兵庫県から丹波の森公苑及び丹波年輪の里の指定管理者に指定
- ・平成23年 4月 1日 兵庫県から丹波並木道中央公園の指定管理者に（財）兵庫県園芸・公園協会とともに指定
- ・平成24年 3月26日 兵庫県指令文第3114号-1により公益財団法人として認定
- ・平成24年 4月 1日 公益財団法人兵庫丹波の森協会に名称変更
- 同 兵庫県から丹波の森公苑、丹波年輪の里及びささやまの森公園の指定管理者に指定
- ・平成27年 4月 1日 兵庫県から丹波の森公苑、丹波年輪の里及びささやまの森公園の指定管理者に指定
- ・平成28年 4月 1日 兵庫県から丹波並木道中央公園の指定管理者に（公財）兵庫県園芸・公園協会とともに指定
- ・平成30年 4月 1日 兵庫県から丹波の森公苑、丹波年輪の里及びささやまの森公園の指定管理者に指定
- ・令和 3年 4月 1日 兵庫県から丹波の森公苑、丹波年輪の里及びささやまの森公園の指定管理者に指定
- 兵庫県から丹波並木道中央公園の指定管理者に（公財）兵庫県園芸・公園協会とともに指定

丹波の森公苑の設置

1 設置の趣旨

文化会館や生活科学センター、県民局で、それぞれ展開してきた文化や消費生活、地域づくりなどの活動を一体化し、機能を一層充実・発展させた生活創造センターの第1号として、また、県民が地域や世代を越えて、主体的に学習し、交流し、活動する全県的・基幹的野外CSR施設の第1号として設置された施設であり、各圏域の地域づくり活動の広域拠点として、身近な活動を支え、活動の進展を支援していくとともに、圏域全体で取り組むべき県民と行政の協働事業を企画・提案し、地域力や文化力豊かな地域づくりを推進していきます。

2 沿革

- ・平成 8年 4月 1日 兵庫県立丹波の森公苑の設置及び管理に関する条例（平成8年兵庫県条例第6号）により、氷上郡柏原町柏原5600番地に設置
兵庫県立丹波の森公苑の管理運営を財団法人丹波の森協会に委託
- ・平成 8年 4月29日 県立丹波の森公苑開園
- ・平成 9年 7月 6日 多目的グラウンド、テニスコート及びクラブハウスの供用開始
- ・平成18年 4月 1日 財団法人兵庫丹波の森協会が丹波の森公苑の指定管理者となる
（平成18年度～平成20年度）
- ・平成20年 4月 1日 兵庫県立丹波の森公苑の設置及び管理に関する条例（平成8年兵庫県条例第6号）を廃止し、各生活創造センター及び拠点施設を兵庫県立生活創造センターの設置及び管理に関する条例（平成20年兵庫県条例第8号）により一本化
- ・平成21年 4月 1日 財団法人兵庫丹波の森協会が丹波の森公苑の指定管理者となる
（平成21年度～平成23年度）
- ・平成24年 4月 1日 公益財団法人兵庫丹波の森協会が丹波の森公苑の指定管理者となる
（平成24年度～平成26年度）
- ・平成27年 4月 1日 公益財団法人兵庫丹波の森協会が丹波の森公苑の指定管理者となる
（平成27年度～平成29年度）
- ・平成30年 4月 1日 公益財団法人兵庫丹波の森協会が丹波の森公苑の指定管理者となる
（平成30年度～令和2年度）
- ・令和 3年 4月 1日 公益財団法人兵庫丹波の森協会が丹波の森公苑の指定管理者となる
（令和3年度～令和5年度）

施設の概要

丹波の森公園の概要

- (1) 敷地面積 359,395.99㎡
 (2) 建物面積 延5,953.74㎡

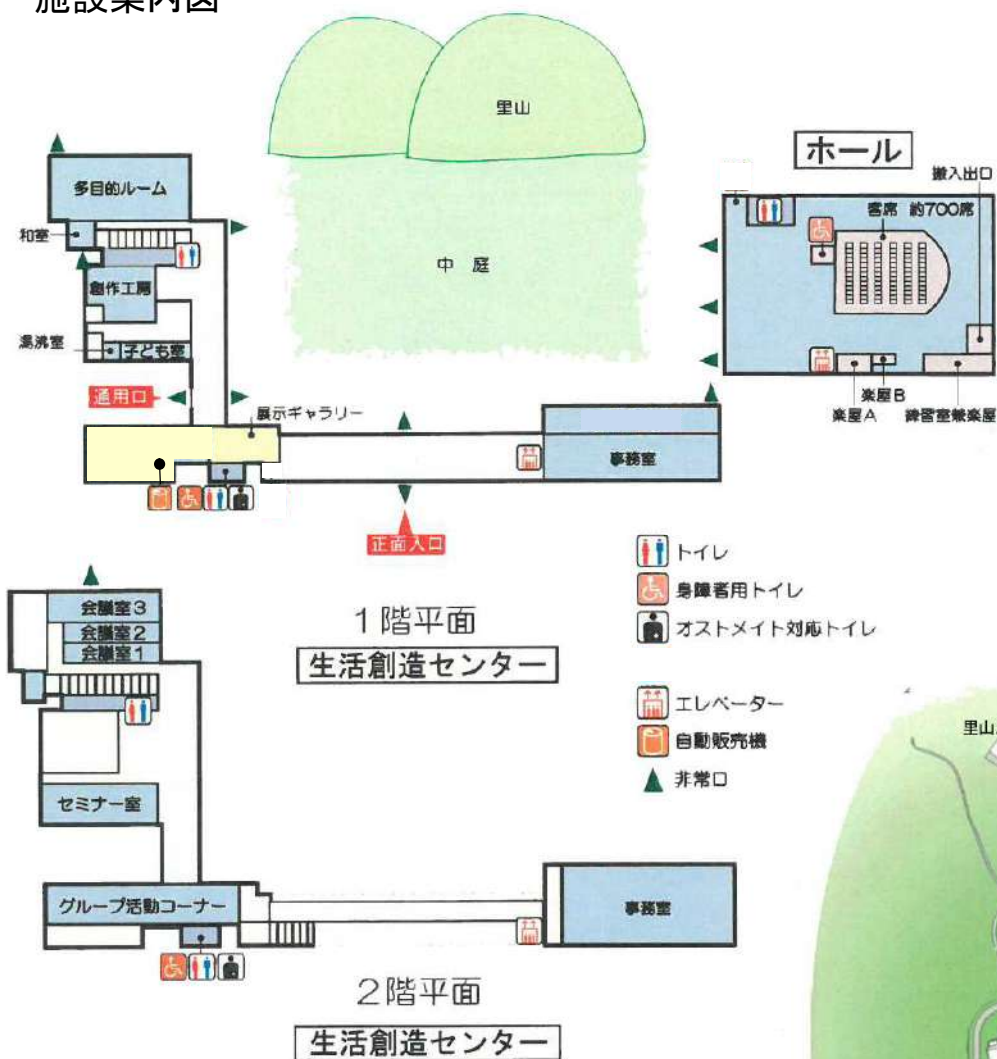
建物の内訳

名 称	建物面積 (㎡)	内 容
管 理 情 報 棟	1,069.33	事務室、展示ギャラリー、グループ活動コーナー
研 修 創 作 棟	1,142.36	多目的ルーム、創作工房、和室、セミナー室、会議室1、会議室2、会議室3
渡 り 廊 下	53.28	
プ ロ パ ン 庫	5.16	
ホ ー ル	2,996.26	ホール（固定席685席、車椅子席10席、親子席10席（定員705名））、練習室兼楽屋、楽屋A、楽屋B等
小 計	5,266.39	
里 山 ス ク エ ア	210.28	コワーキングスタジオ、キッチンスタジオ
ク ラ ブ ハ ウ ス	252.00	更衣室、シャワー室、トイレ、会議室、事務室
倉 庫 棟	225.07	倉庫（6）
小 計	687.35	
合 計	5,953.74	

屋外施設

多 目 的 グ ラ ウ ン ド	21,000㎡
テ ニ ス コ ー ト	人工芝コート8面
そ の 他	里山、散策路、主幹園路、親水河川、イベント広場、駐車場

施設案内図



利用者の推移

令和5年度の利用者数

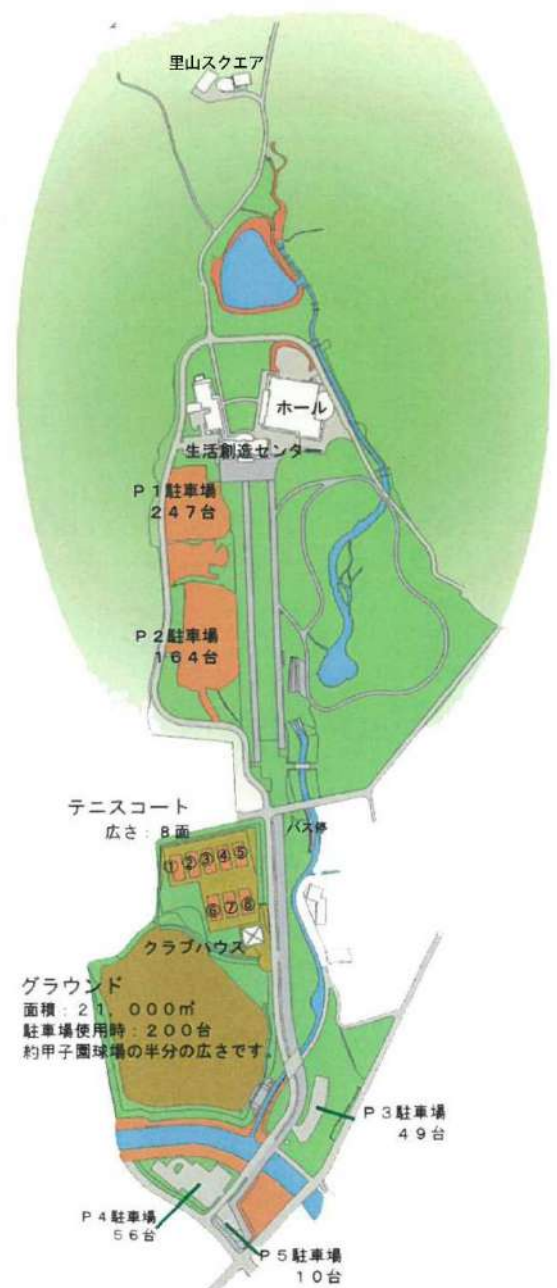
施設使用料対応入苑者数 70,420人

推計入苑者数(参考) 96,505人

計 166,925人

平成8年度から令和5年度までの累計

6,487,269人

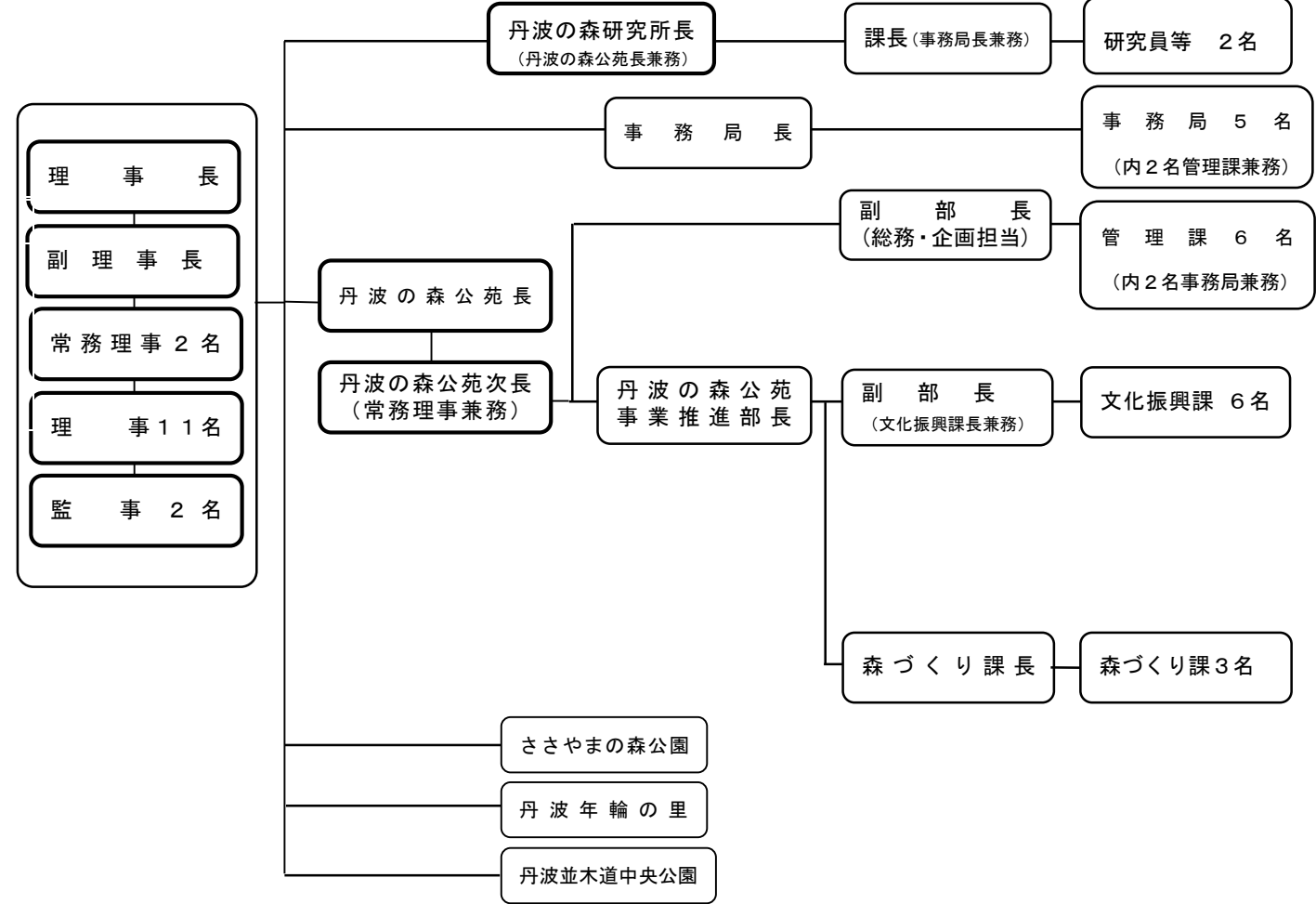


組織と職員

令和6年3月31日現在

(1) 組織図

(公財) 兵庫丹波の森協会組織図 (太枠は役員)



(2) 職員数

(単位:人)

区分	事務職	小計	非常勤嘱託員等	小計	合計
丹波の森研究所			研究員 2	2	2
協会事務局	2	2	企画調査事務嘱託員 1	1	3
丹波の森公苑	10	10	生活情報活動アドバイザー 1 生活創造活動支援スタッフ 1 森づくり活動専門員 1 森づくり活動アドバイザー 2 芸術スタッフ 1 展示・企画スタッフ 1 管理事務嘱託員 2	9	19

■ 丹波の森公苑、丹波の森公苑長及び同次長は役員等が兼務

■ 丹波の森研究所長は丹波の森公苑長が、丹波の森研究所課長は協会事務局長が兼務

(3) 職員配置

〔事務局〕

事務局長	倉 剛史
事務局総務課長	(土肥副部長兼務)
事務嘱託員	荻野 朋子
事務嘱託員	谷口 加寿子
主 査	(岡田主査兼務)
職 員	(渡邊職員兼務)

丹波の森研究所

丹波の森研究所長	(角野公苑長兼務)
丹波の森研究所次長	(倉事務局長兼務)
主任研究員	藤本 真里
特任研究員	上甫木 昭春

〔丹波の森公苑〕

公 苑 長	(角野理事兼務)
次 長	(芦田常務理事兼務)
事業推進部長	武部 治仁
副部長(総務企画担当)	土肥 健司
事業推進部副部長(文化振興課長)	細見 秀和

事業推進部文化振興課

課 長	(細見副部長兼務)
森づくり活動専門員	田畑 吉三
森づくり活動専門員	中村 基生
森づくり活動専門員	石田 篤志
森づくり活動専門員	荻野 圭裕
展示・企画スタッフ	河津 知佳
芸術スタッフ	酒井 寿男

総務企画担当管理課

課 長	(土肥副部長兼務)
主 査	岡田 智恵
職 員	渡邊 茉央
職 員	(荻野事務嘱託員兼務)
職 員	(谷口事務嘱託員兼務)
生活情報活動アドバイザー	西山 和
生活創造活動支援スタッフ	岸本 美鈴
管理事務嘱託員	吉田 正二
管理事務嘱託員	石井 和義

事業推進部森づくり

課 長	中原 康弘
森づくり活動専門員	岸 和民
森づくり活動アドバイザー	藤本 利一
森づくり活動アドバイザー	角谷 慶治

丹波年輪の里

- ・ 活動一覧
- ・ 施設利用一覧
- ・ 運営協議会運営委員及び関係者名簿
- ・ 沿革
- ・ 施設の概要
- ・ 組織と職員

令和5年4月1日～令和6年3月31日

工作事業活動

特 別 工 作 教 室	実施日	内 容	参加者（人）
Work Shop	月2回（火曜日）	木工教室以外の自主制作の教室。道具の使い方やメンテナンスからサポート	243
	月2回（水曜日）		222
焼きペン教室	月2回（金曜日）	焼きペンを使って、絵や模様を描くウッドバーニングを体験する	136
刃研ぎ學	4月2日、6月13日、 8月20日 10月1日、12月3日、 2月4日	すべての刃物研ぎをわかりやすく実践を踏まえて体験する教室（偶数月開催）	実践54 聴講4
木工基礎講座25期	5月18日～6月22日	課題：スツール ほぞ組など木工の基礎加工を学ぶ	52
セロテープカッター・ミニ	5月30日	曲線を活かしたかわいい手のひらサイズのセロテープカッターを作る	8
カンナフラワー教室	6月27日	カンナくずを利用して、枯れないバラを作る教室	10
くりもの教室 「お皿をつくる」	7月2日、9日、16日	うつわをつくるをテーマに、手鉋・ノミで加工していく割り物教室	30
夏休み親子工作教室	7月30日（午前）	「マイ箸作り」	8
	7月30日（午後）		5
	8月11日	「ハンペルマンをつくろう」	10
オーバルBOX#4	9月14日、21日、28日	曲げ木の技法で作る小物入れの制作に挑戦	29
染塗り体験教室	10月5日、2日、19日	木地に漆をすり込んで美しい木目と艶を出す拭き漆の技法を学ぶ教室	19
	5日、12日、19日		19
ボックス額を作りましょ		立体を飾ることが出来るボックス型の額を作る教室	18
糸鋸教室 「クリスマスオーナメント」		糸鋸でクリスマスオーナメントを作る教室	8
糸鋸教室「辰の干支飾り」		来年の干支である辰年をモチーフにした絵と人形を作る教室	5
			4
クリスマスリース教室		リース作り	18
くりもの教室2nd		深さのある角盆をつくる教室	29
オーバルスイングハンドルBOX		曲げ木の技法で作るハンドルと蓋付きの小物入れの制作に挑戦	30
ロクロ体験教室		足踏みロクロを実際に体験しながら、挽物加工について学ぶ教室	10
			8
木工中級講座12期		課題：三段小引き出し 組み接ぎの基礎「あられ組み」で小引き出しを作る	40
座編みで小椅子		子どもが座るスツール作りの教室	29

展示・イベント事業

事業名	実施日	内 容	参加者（人）
第35回丹波の森 ウッドクラフト展（木のおもちゃ大賞展） （一般の部）	9月9日～24日	「遊び、戯れ、木のぬくもり」をテーマに、全国公募し、審査、優秀作を表彰、入賞作品・出展作品すべて展示 63人 73点	来場者 877
同 上 （ジュニア部門）	10月14日～ 10月29日	全国の高校生以下の生徒作品を公募、審査、優秀作を表彰し、応募全作品を展示 20校 126人 111点 （共同作品含む）	来場者 1,017
丹波の森ウッドクラフト展 歴代グランプリ作品展示	通 年	丹波の森ウッドクラフト展の歴代の グランプリ作品を展示紹介	—
【木に関する展示】			
木材利用啓発展示	通 年	県民に木材利用を啓発するため、分かりやすい工夫をしたパネルを展示	—
身近な木製品展示	通 年	・木のある暮らしに欠かせない木工品の展示 ・県産木材玩具（ヒノキの積み木）の展示と遊びコーナーの設置	—
木のなんでも市・木珠あそび	通 年	木の普及振興事業として、丹波の木材製材関係の業者の協力のもと、県民を対象に木材、端材などの展示販売	—
【文化関連・その他の展示】			
第7回こころを届けるたんば絵てがみコンクール	令和6年 2月3日～18日	絵手紙作品の公募と作品展示 テーマ「宝物」	出展者 633 736点 来場者 1,530
ゴールデンウィークフェスタ フリーマーケット	5月5日	フリマ出店者を募集、日用雑貨、衣類等のリサイクル市	出店 39
丹波ウッドワーカーズクラフト	4月29日～30日	木工作家の作品展示と販売	出展 40 来場者 2,900
アート・クラフトフェスティバル in たんば2023	11月3日～4日	全国のアートやクラフトに取り組む人たちの自由な作品を苑内芝生広場で展示をおこない、地域をはじめ来苑者との交流を図った。	出展 167 来場者 25,000

その他

丹波年輪の里友の会 * 入会金1000円 * 年会費2000円	通 年	会員には20%の利用特典と、毎月「友の会おしらせ」等情報の提供。刃研ぎ學などの参加を通して施設利用の促進と技術の向上と相互の交流を図る。	延べ会員数 813
---------------------------------------	-----	--	--------------

令和5年4月1日～令和6年3月31日

競技大会等

事業名	実施日	内 容	参加者（人）
丹波年輪の里杯グラウンドゴルフ大会	6月 6日	グラウンドゴルフ愛好者による大会	148
	9月 5日		128
	12月 5日		155
	令和5年3月5日		雨天中止
平日グラウンドゴルフ	通年 平日	グラウンドゴルフ愛好者による利用	2,417

サークル教室活動

事業名	実施日	内 容
バードカービング教室	毎月第1・3土曜 10:00～16:00	木彫りの野鳥を作ります。
絵画教室 学美隊	毎月第2・4土曜 小学生 9:30～11:30 中・高校生・一般 13:00～16:30	子供は主に鉛筆、色鉛筆、クレヨン、水彩、墨汁、ポスターカラーでの絵画指導です。大人は水彩画が中心です。
絵画サークル	毎月第1・3木曜 10:00～16:00	絵を描くことが大好きな仲間のサークル
日本画教室	毎月第1・2・4火曜 13:30～16:30	水彩画・はがき絵から日本画まで初心者から。
パープル【絵画】	毎月第2土曜 10:00～16:00	絵画が好きな仲間のサークル
絵手紙教室	毎月1回 10:00～16:00	和紙に書く絵手紙教室

丹波年輪の里運営協議会運営委員及び関係者名簿

令和6年3月31日現在

	氏 名	職 名
運営委員 （敬称略）		
会 長	角 野 幸 博	丹波の森公苑 公苑長
会長代理	林 時 彦	丹波市長
委 員	上 田 浩 嗣	丹波県民局長
委 員	片 山 則 昭	丹波市教育長
委 員	高 見 豊	（有）ウッドワーク丹波顧問
委 員	四 方 啓 介	丹波市商工会事務局長
委 員	谷 川 昌 幸	丹波市観光協会副会長
委 員	藤 田 光 人	神戸新聞社 丹波総局長
委 員	能 口 秀 一	丹波市木材林産協同組合理事長
委 員	戸 田 政 宏	兵庫県木材業協同組合連合会専務理事
委 員	井 上 秀 子	利用者代表（工作室利用者）
委 員	進 藤 妙 子	利用者代表（アトリエ利用者）
委 員	入 江 浩 子	兵庫県産業労働部労政福祉課長
（公財）兵庫丹波の森協会 丹波年輪の里		
	大 垣 至 康	（公財）兵庫丹波の森協会常務理事
	川 中 啓 敬	丹波年輪の里館長
	村 上 佳 邦	部長兼管理課長
	田 野 和 昭	林産指導専門員
	吉 見 典 彦	林産指導専門員

沿革

丹波年輪の里の設置

1 設置目的

木とのふれあいの中で、勤労青少年の文化活動、スポーツ活動およびレクリエーション活動を促進し、あわせて勤労者をはじめ広く県民に憩いの広場を提供するとともに、林産振興に寄与することを目的とする。

2 沿革

昭和63年	4月	丹波年輪の里竣工式典を挙
	4月	常陸宮ご夫妻ご来苑
	4月17日～11月6日	「21世紀をになう青少年祭」開催 ※ホロンピア'88「北摂丹波の祭典」のイベントとして開催
	4月	ウイーン市公園局長パウエル・シーラー氏来苑
	8月	入苑者10万人達成
	10月	「第1回全国ウッドクラフト公募展」開催 ※第3回国民文化祭ひょうご'88の事業として開催 ※現在も継続して開催
平成	元年10月	旧ソ連ハバロフスク地方友好代表団来苑 「子供楽園」を寄贈
	12月	「子供楽園」完成
平成	2年 8月	子どもクラフトデーの開催
平成	3年10月	旧ソ連ハバロフスク地方友好代表団来苑
平成	4年 3月	ソーラー時計完成
	5月	開苑5周年記念 ツインツリーの植樹（クロガネモチ）
	9月	「第1回クラフトフェスティバル IN たんば'92」開催 ※平成7年「アート・クラフトフェスティバル IN たんば」に改称 ※現在も継続して開催
	10月	入苑者100万人を突破
平成	5年 4月	アトリエ102-3展
	11月	森林文化祭国民会議等参加者来苑（ウイーン13区 ハイイツ・ゲルトバッハ区長ほか20人）
平成	6年 3月	全国竹とんぼ競技大会 in たんば開催
平成	8年 8月	全国産直住宅展開催
平成	9年 5月	入苑者200万人を突破
	10月	開苑10周年記念 第10回全国ウッドクラフト公募展開催 同 記念巡回展開催 11月東京会場 12月神戸会場 1月愛知春日井会場 1月丹波の森公苑
平成10年	5月	第1回 木木市（もくもくいち）開催 ※現在も継続して開催
平成11年	7月	第1回 コパ・カイバラ少年サッカー大会開催 ※現在も継続して開催
平成11年	11月	ひょうご勤労者Vネット丹波コーディネートセンター設置（事務所） ※平成14年3月閉鎖
平成12年	6月	CSR 丹波支部事務所再設置

平成13年	3月	ざいもくやさんのフェスティバル開催
	8月	入苑者300万人を突破
平成14年	4月	開苑15周年・春のフェスティバル開催
平成15年	8月	第10回記念 竹とんぼ競技大会開催
平成16年	7月	イベント広場照明設備の改修
平成17年	3月	「子ども娯楽園」の解体撤去
	4月	「ハバロフスクの館」開館（アトリエB棟改修）
	11月	入苑者400万人を突破
平成18年	4月	芝生広場 グラウンドゴルフ開業（水、木、金曜の平日のみ）
	11月	第1回丹波年輪の里杯グラウンドゴルフ大会開催 ※現在も継続して開催
平成19年	12月	丹波の森ウッドクラフト展 第20回記念 特別展「恐竜の世界（集まれ丹波恐竜）」開催
平成21年	4月	指定管理者（財）兵庫丹波の森協会に移管
平成22年	6月	入苑者500万人を突破
平成23年	5月3日～5日	ゴールデンウィークフェスタ開催 ※現在も継続して開催 丹波木づくり手づくり市開催 ※平成27年ウッドワーカーズクラフトに改称 ※現在も継続して開催
平成24年	4月	公益財団法人兵庫丹波の森協会が丹波年輪の里指定管理者となる。 （～平成26年度）
	4月	第1回 座っ展—丹波でうまれた木の椅子—開催 ※現在も継続して開催
	5月	第1回 大丹波木づくり市手づくり市開催
平成27年	3月	大改修整備工事実施完了 クラフト館外壁大壁を改修、照明LED化、空調設備更新、工作機械自動鉋盤、 手押し鉋盤更新、木の館消防非常用ポンプ更新、レストラン棟前池整備
平成27年	4月	公益財団法人兵庫丹波の森協会が、丹波年輪の里の指定管理者となる。 （～平成29年度）
平成28年	7月	入苑者600万人を突破
平成30年	2月3日～18日	第1回こころを届けるたんば絵てがみコンクール開催
平成30年	4月	公益財団法人兵庫丹波の森協会が、丹波年輪の里の指定管理者となる。 （～令和2年度）
令和 2年	4月	新型コロナウイルス感染症がまん延し、緊急事態宣言発出による休館措置を行う。 感染症拡大防止のため、アートクラフトフェスティバルやウッドクラフト展等様々なイベントが中止となる。
令和 3年	4月	公益財団法人兵庫丹波の森協会が、丹波年輪の里の指定管理者となる。 （～令和5年度）
令和 4年	4月	旧ハバロフスク館を丹波の森ウッドクラフト展歴代グランプリ作品を展示した「木のおもちゃ展示館」がオープン
	10月	入苑者700万人を突破
令和 5年	10月	第1回ティラノサウルスレース in 丹波竜の里を開催

施設の概要

丹波年輪の里の概要

(1) 建物の内訳

名 称	建築面積 (㎡)	内 容
ク ラ フ ト 館	524.88	工作室A・工作室B・木工機械室・研修室B・図書室・休養室・業務課・受付
木 の 館	654.48	研修室A・会議室・多目的ホール・図書資料室・管理課・林産指導課事務室・倉庫
ア ト リ エ A	1棟 64.80	2棟 2階建 1階 洋室32㎡・16㎡ 2階 和室20㎡
ア ト リ エ B		
C S R 事 務 所	38.88	CSR 丹波支部 事務室
木のおもちゃ展示館	38.88	丹波の森ウッドクラフト展歴代グランプリ作品を展示
レ ス ト ラ ン	219.51	約60席 ・営業は業者：喫茶軽食 9時～21時

(2) 屋外施設

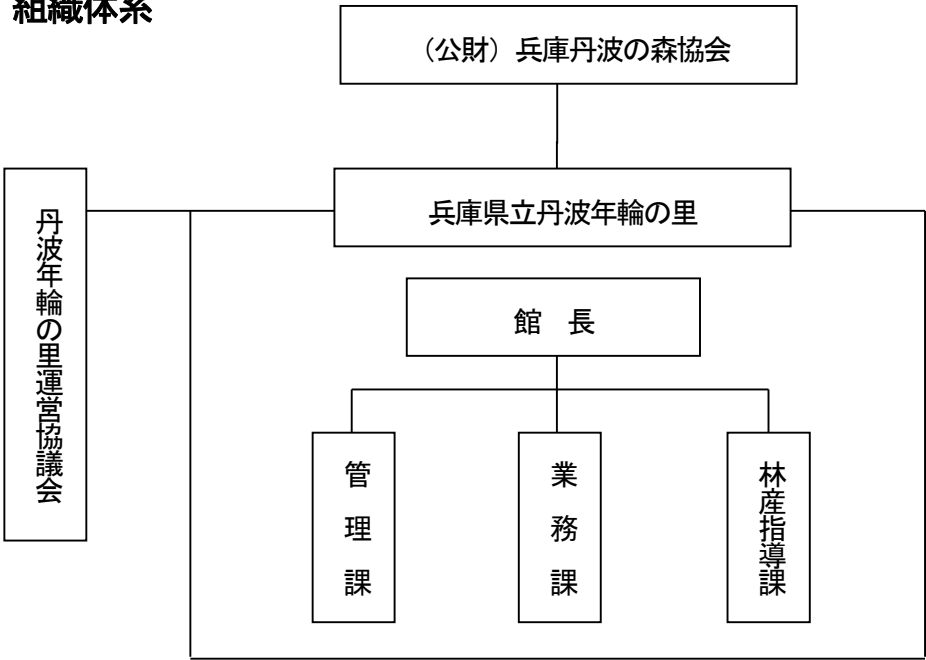
イ ベ ン ト 広 場	夜間照明設備（照明度平均200ルクス）約80m×約80m
ク ラ フ ト 広 場	屋外作業用工作台4台
わ ん ぱ く 広 場	砂場約20㎡、芝生広場、空中回廊・すべり台等
芝 生 広 場	約10,000㎡の芝生広場とその中央に小川と修景池がある。
丹 波 県 民 の 森	丹波地域旧10町の町木（松、ケヤキ、栗、クヌギ、コナラ）などを植栽した森
駐 車 場	大型バス7台・普通車135台・身障用5台

「丹波年輪の里」クラフト創造遊苑



組織と職員

(1) 組織体系



(令和6年3月31日現在)

(2) 職員

役 職	氏 名
館 長	川 中 啓 敬
部長兼管理課長	村 上 佳 邦
管理課	蘆 田 玉 代
同上	伊 福 嘉 彦
同上	足 立 文 代
同上	高 見 貴 子
業務課長	館 長 兼 務
業務課工作指導員	浦 上 俊太郎
同上	水 瀬 健 斗
同上	小 泉 匡
同上	山 本 禎 恒
同上	大 森 恵
業務課	土 田 陽 子
同上	新 地 佳代子
林産指導課課長	館 長 兼 務
林産指導専門員	田 野 和 昭
林産指導事務員	吉 見 典 彦

ささやまの森公園

- ・ 活動・施設利用一覧
- ・ 運営協議会の開催状況
- ・ 運営協議会運営委員名簿
- ・ 機能
- ・ 沿革
- ・ 施設の概要
- ・ 組織と職員

活動・施設利用一覧

ささやまの森公園

令和5年4月1日～令和6年3月31日

月 日	主 な 事 項	利用人数
令和5年		
4月		
5日	草木染め同好会活動	7
8日	プログラム「稲作体験」	15
12日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	7
14日	プログラム「草木で染めよう～」～桃の木～	7
15日	プログラム「草木で染めよう～」～桃の木～ お楽しみ会	7 2
16日	プログラム「布ぞうりを作ろう」 自然学習班、里山体験班、里山伝承班会議	7 4
19日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	6
20日	マツタケ施業活動	3
23日	プログラム「ウッドバーニング」パート① プログラム「ウッドバーニング」パート② 里山復元班、レクリエーション班会議	8 7 2
26日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	7
29日	プログラム「バードウォッチング」 プログラム「稲作体験」	9 15
30日	活動スタッフリーダー会	7
5月		
3日	プログラム「春の特別企画」窯でピザ焼き プログラム「春の特別企画」ウォークラリー	15 41
4日	プログラム「春の特別企画」コケテラリウム作り プログラム「春の特別企画」ウォークラリー	27 19
10日	丹波篠山市立古市幼稚園 春の遠足	20
12日	丹波篠山市保健福祉部社会福祉課（たんばささやま森のようちえん）	25
13日	森の学校 プログラム「稲作体験」	14 14
17日	草木染め同好会活動 兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	4 7
18日	マツタケ施業活動	2
19日	プログラム「草木で染めよう ～藍～」パート① プログラム「草木で染めよう ～藍～」パート②	8 8
20日	プログラム「里山の日特別企画」春の野草観察	7
21日	活動スタッフ総会	24
27日	プログラム「ツリーイング～木登り体験～」パート① プログラム「ツリーイング～木登り体験～」パート②	3 5
28日	プログラム「おからでコロッケを作ろう」 あらし班活動	9 6

	月 日	主 な 事 項	利用人数
6月	30日	丹波篠山市立たまみず幼稚園 藍染め体験	15
	31日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	6
	3日	森の学校	12
	4日	プログラム「シカの角でアクセサリを作ろう」	9
	7日	草木染め同好会活動	6
		兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	7
	8日	トライやる・ウィーク受け入れ	4
	9日	トライやる・ウィーク受け入れ	3
	10日	トライやる・ウィーク受け入れ	1
		プログラム「陶芸を楽しもう」	4
		プログラム「モリアオガエルとホタルを観よう」	20
	11日	プログラム「モリアオガエルとホタルを観よう」	13
		プログラム「ちまきを作ろう」	9
	13日	トライやる・ウィーク受け入れ	1
		あらし班活動	5
	14日	トライやる・ウィーク受け入れ	1
		兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	6
	15日	トライやる・ウィーク受け入れ	1
		マツタケ施業活動	1
	16日	プログラム「草木で染めよう ～クララ～」	8
		トライやる・ウィーク受け入れ	1
	17日	プログラム「草木で染めよう ～クララ～」	7
		トライやる・ウィーク受け入れ	1
		あらし班活動	5
	18日	プログラム「コケ玉づくり」パート①	12
		プログラム「コケ玉づくり」パート②	10
	21日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業と多紀小学校4年生合同自然観察	27
	24日	プログラム「黒豆を栽培しよう」	12
		プログラム「森にすむカエルを見つけよう」	15
		あらし班活動	4
	25日	プログラム「梅みそと梅ジュースを作ろう」パート①	9
		プログラム「梅みそと梅ジュースを作ろう」パート②	10
	28日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	6
7月	1日	森の学校	9
		自然学習班会議	3
	2日	プログラム「3種類のホタルを観よう」	10
	5日	丹波篠山市立多紀小学校4年生	18
		草木染め同好会活動	5
	6日	丹波篠山市保健福祉部社会福祉課（たんばささやま森のようちえん）	24
	9日	プログラム「チーズとピザづくり」	11
	11日	富山こども園	27

月 日	主 な 事 項	利用人数
12日	富山こども園	20
13日	富山こども園	19
14日	プログラム「草木で染めよう～柿渋で型染め～」パート①	6
	プログラム「草木で染めよう～柿渋で型染め～」パート②	5
	富山こども園	26
15日	プログラム「黒豆を栽培しよう」	7
	プログラム「森の時計づくり」	15
16日	プログラム「布スリッパを作ろう」	4
	里山体験班、里山伝承班会議	3
19日	草木染め同好会活動	2
22日	プログラム「セミのぬけがらを探そう」	7
29日	プログラム「ささやまの森探検隊」	19
	プログラム「マイ箸を作ろう」 パート①	5
	プログラム「マイ箸を作ろう」 パート②	3
	里山復元班、レクリエーション班会議	4
30日	活動スタッフリーダー会	5
8月		
5日	森の学校	12
6日	森の学校	12
8日	兵庫県学校厚生会丹波支部	53
11日	プログラム「アマゴのつかみ取りをしよう」	26
12日	プログラム「水辺のいきものを探そう」	11
19日	プログラム「黒豆を栽培しよう」	9
20日	プログラム「草木で染めよう～藍の生葉～」パート①	8
	プログラム「草木で染めよう～藍の生葉～」パート②	8
26日	プログラム「親子で薪割り体験」	20
	プログラム「そば道場シリーズ」	11
9月		
2日	丹波篠山市立西紀小学校2年生親子活動	21
6日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	7
	草木染め同好会活動	6
10日	プログラム「鳥の巣箱を作ろう」	8
12日	丹波篠山市立八上小学校4年生	15
15日	プログラム「草木で染めよう～ヤマモモ～」	10
16日	プログラム「草木で染めよう～ヤマモモ～」	9
17日	プログラム「ところてん料理を作ろう」	10
	里山体験・里山伝承班会議	5
18日	プログラム「ロケットストーブを作ろう」	8
19日	活動スタッフ研修	17
20日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	7
	草木染め同好会活動	1
21日	マツタケ施業活動	2

月 日	主 な 事 項	利用人数
10月	24日 プログラム「稲作体験」	15
	福住地区まちづくり協議会 ツリーイング	20
	27日 兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	7
10月	1日 樋口清一氏講演会	102
	4日 兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	7
	草木染め同好会活動	5
	7日 森の学校	10
	8日 プログラム「秋の花と実を楽しもう」	3
	9日 丹波篠山市立西紀小学校5年生親子活動	23
	11日 兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	7
	12日 マツタケ施業活動	2
	14日 プログラム「陶芸を楽しもう」	6
	復元班・レクリエーション班会議	2
	15日 プログラム「稲作体験」	13
	19日 丹波篠山市保健福祉部社会福祉課（たんばささやま森のようちえん）	20
	マツタケ施業活動	2
	20日 プログラム「草木で染めよう～アメリカセンダングサ～」パート①	8
	プログラム「草木で染めよう～アメリカセンダングサ～」パート②	7
	21日 プログラム「黒豆を栽培しよう」	10
	22日 ひょうご里山フェスタ	3
	25日 兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	7
	28日 プログラム「そば道場シリーズ」	9
	29日 プログラム「コケ玉づくり」パート①	6
	プログラム「コケ玉づくり」パート②	5
	丹波の森フェスティバル出店	6
11月	1日 草木染め同好会活動	6
	2日 丹波篠山市立多紀小学校2年生保護者参加型授業	43
	3日 プログラム「かしわ餅と栗あん大福を作ろう」	11
	4日 森の学校	9
	5日 活動スタッフリーダー会	7
	9日 社会福祉法人くわの実つむぎ会はこべ保育園	20
	マツタケ施業活動	3
	12日 秋の里山まつり	475
	15日 草木染め同好会活動	3
	17日 プログラム「草木で染めよう」パート①	9
	プログラム「草木で染めよう」パート②	8
	18日 水源の森たんばささやま	48
	19日 プログラム「秋の登山」	17
	福住祭	3
	22日 兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	6
	25日 プログラム「そば道場シリーズ」	10

	月 日	主 な 事 項	利用人数
12月	26日	プログラム「シイタケ作り」	10
	29日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	7
	2日	森の学校	12
	3日	プログラム「バードウォッチング」	14
		学習班会議	1
	6日	スタッフ勉強会	7
	8日	丹波篠山市保健福祉部社会福祉課（たんばささやま森のようちえん）	33
	9日	プログラム「黒豆を栽培しよう」	7
	16日	プログラム「そば道場シリーズ」	11
	17日	プログラム「しめ縄を作ろう」	5
	21日	あらし班活動	5
	23日	プログラム「ミニ門松作り」	8
	24日	正月飾り作り	9
令和6年 1月	6日	森の学校	11
	10日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	7
	13日	プログラム「とんど祭&餅つき大会」	12
		里山復元班、レクリエーション班会議	5
	14日	プログラム「こんにゃくを作ろう」	10
		里山体験班、里山伝承班会議	4
	17日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	6
	23日	兵庫県立篠山東雲高校インターンシップ	1
	24日	兵庫県立篠山東雲高校インターンシップ	1
	25日	兵庫県立篠山東雲高校インターンシップ	1
	26日	兵庫県立篠山東雲高校インターンシップ	1
	27日	兵庫県立篠山東雲高校インターンシップ	1
2月	3日	森の学校	7
	4日	活動スタッフリーダー会	5
	10日	プログラム「チェンソー安全教室」	10
	14日	炭焼き	3
	15日	炭焼き	1
	17日	プログラム「黒豆のお味噌を作ろう」	10
	18日	プログラム「黒豆のお味噌を作ろう」	10
	21日	あらし班活動	5
	23日	プログラム「冬の生きもの探し（雨天のため中止）」	
	24日	プログラム「親子で薪割り体験」	8
	29日	ささやまの森公園運営協議会総会	16

月 日	主 な 事 項	利用人数
3 月		
1 日	丹波篠山市立城東小学校 1 ～ 2 年生	4 2
2 日	森の学校	1 2
	プログラム「シイタケ作り」	8
3 日	プログラム「布スリッパを作ろう」	4
6 日	草木染め同好会活動	9
8 日	丹波篠山市保健福祉部社会福祉課（たんばささやま森のようちえん）	3 1
9 日	プログラム「早春の生きもの探し」	7
	学習班会議	2
1 0 日	プログラム「キムチを作ろう」	8
1 5 日	プログラム「草木で染めよう～ネコヤナギ～」	7
1 6 日	プログラム「草木で染めよう～ネコヤナギ～」	6
2 3 日	プログラム「ログチェアを作ろう」	7
3 0 日	プログラム「丹波篠山ご飯を作ろう」	1 4
	里山体験班、里山伝承班会議	3

ささやまの森公園運営協議会の開催状況

運営協議会の開催状況

区 分	開 催 日	開 催 地	出席者数	協 議 事 項
第 1 回	令和 6 年 2 月 2 9 日	ささやまの森公園	1 6	令和 5 年度事業報告及び令和 6 年度事業計画について

ささやまの森公園運営協議会委員名簿

令和6年3月31日現在

	氏 名	職 名 ・ 所 属 等
顧 問	樋口 清一	元ささやまの森公園長（初代）
会 長	井口 剛	元ささやまの森公園長（第2代）
副会長	田井 彰人	活動スタッフリーダー
	鈴木 武	兵庫県立大学助教、兵庫県立人と自然の博物館研究員
	丹後 政俊	丹波篠山市教育長
	清水 康之	兵庫県立丹波並木道中央公園管理事務所長
	臼井 和彦	兵庫県立篠山東雲高等学校長
	松笠 勝也	丹波篠山市立多紀小学校校長
	笠井 建夫	地元福住地区自治会長会会長
	森田 恭弘	地元川原地区自治会長
	新藤 力	地元大字福住地区総代
	谷口 次男	篠山自然の会
	金川 文雄	丹波自然友の会
	脇塚 陸	ひょうご森のインストラクター、活動スタッフ
	杉田 弘治	地元活動協力者
	杉田 和博	地元活動協力者
	岡田 照代	活動スタッフリーダー

機能

体験プログラム・イベントのご案内

丹波篠山は、自然豊かな森に囲まれています。里人たちは「里山」と呼ばれる森を利用して生活してきました。農家の裏山にあたる里山は、村人たちが長い間暮らしと共に育んできたすばらしいフィールドです。美しい水と森に育まれ、草花や動物たちが生息し、四季それぞれの表情を見せています。身近な動物やホタル、カブトムシなど子供達の大好きな昆虫、春・秋の七草をはじめ、街で見かけなくなった生き物とも出会うことができます。ささやまの森公園は暮らしと共に育んできた里山環境をみんなで理解し、山の幸を味わい、里山文化を伝承し、森の環境そのものを皆で楽しみながら、人と共生できる自然の営みや私達の暮らしのあり方を考える場として整備しています。ボランティアの活動スタッフとともに多彩なプログラムやイベントを展開し、世代や地域を越えた交流を通して、豊かな丹波の里山づくりを目指しています。

■基本プログラム（令和5年度）

里 山 体 験	草木染め、布ぞうりを作ろう、布スリッパを作ろう、シカの角でアクセサリーを作ろう、マイ箸を作ろう、しめ縄を作ろう
里 山 伝 承	ちまきを作ろう、里山伝承（黒豆を栽培しよう）、そば道場シリーズ、こんにゃくを作ろう、黒豆のお味噌を作ろう、おからでコロッケを作ろう、梅みそと梅ジュースを作ろう、ところてん料理を作ろう、かしわ餅と栗あん大福を作ろう、キムチを作ろう、丹波篠山ご飯を作ろう
自 然 学 習	バードウォッチング、春の野草観察、モリアオガエルとホタルを観よう、森にすむカエルを見つけよう、3種類のホタルを観よう、セミのぬけがらを探そう、水辺の生きものを探そう、秋の花と実を楽しもう、冬の生きもの探し、早春の生きもの探し
レクリエーション	ウッドバーニング、深山登山、コケ玉作り、陶芸を楽しもう、木登り体験～ツリーイング～、ささやまの森探検隊、アマゴのつかみ取りをしよう、チーズとピザづくり、ロケットストーブを作ろう、とんど祭&もちつき大会
里 山 復 元	稲作体験、森の時計作り、親子で薪割り体験、鳥の巣箱を作ろう、シイタケづくり、ミニ門松作り、チェンソー安全教室、ログチェアを作ろう

■団体プログラム

プログラムは原則として土曜・日曜・祝日に実施しますが、団体の申し込みには、平日でも希望のプログラムを実施しています。

■学校向けプログラム

「総合的な学習の時間」の展開に適したプログラムを用意し要望に応じています。

■森の学校

小学3年生から6年生の児童を対象にした里山体験プログラムを年間10回体験します。

ささやまの森公園の設置

1 設置の趣旨

兵庫県では法人県民税の超過課税の財源を基に、「自然活用型野外CSR事業」（文化 Culture/スポーツ Sports/レクリエーション Recreation）を展開しています。

「丹波の森構想」の理念のもとに、自然を生かした生活環境や地域の文化を形成してきた里山を保全育成することを目的とします。住民の参画と実践により都市住民との交流、異世代間の交流、里山の保全利用を目標にしたプログラムを展開し、グリーンツーリズムの場として県民に自然との触れ合いの場を提供し、生活をより豊かにする里山・森づくりを推進します。

2 沿革

- ・平成14年 4月 1日 兵庫県と丹波の森協会が実施委託契約
- ・平成14年 4月 4日 活動拠点施設開所式
- ・平成14年 7月 6日 ログ小屋完成
- ・平成14年 7月21日 開園式典
- ・平成15年 5月17日 杉小屋完成
- ・平成16年 3月31日 10号作業道・12号歩道（木の実の散策路）完成
- ・平成16年 6月 1日 竹の館完成
- ・平成17年 3月31日 13号歩道・14号歩道・15号歩道（湖上の散策路）完成
- ・平成18年 3月31日 16号作業道（エビズエの散策路）・東屋（雑木林の散策路頂上）・藤棚（水辺の広場）・臨時駐車場完成
- ・平成18年 4月 1日 篠山市から、財団法人兵庫丹波の森協会が管理運営を受託
- ・平成18年10月 8日 森守の小屋完成
- ・平成19年 4月15日 開園5周年記念式典
- ・平成19年 4月15日 万兎の森第1期工事完成
- ・平成19年11月10日 炭焼き小屋と杉小屋の屋根延長工事完成
- ・平成20年 3月15日 万兎の森第2期工事完成
- ・平成20年11月23日 レンガ窯「ささもり窯」の完成
- ・平成20年11月26日 野鳥観察小屋完成
- ・平成21年 3月10日 万兎の野草園造成
- ・平成22年 3月 6日 野鳥の森第1期植樹完成
- ・平成23年 3月24日 木材乾燥小屋「木の館」完成
- ・平成23年11月18日 ささもり窯作業場完成
- ・平成24年 4月 1日 公益財団法人兵庫丹波の森協会が、ささやまの森公園の指定管理者となる。
（平成24年度～平成26年度）
- ・平成24年 4月15日 開園10周年記念式典
- ・平成24年12月 1日 来園者20万人達成記念
- ・平成24年12月 1日 森の遊び場オープン
- ・平成26年 6月26日 ささもりのステージ完成
- ・平成26年10月31日 水車小屋完成

- ・平成27年 4月 1日 公益財団法人兵庫丹波の森協会が、ささやまの森公園の指定管理者となる。
(平成27年度～平成29年度)
- ・平成27年 5月31日 バーベキュー広場完成
- ・平成28年10月15日 森の迷路完成
- ・平成29年 4月 9日 開園15周年記念式典
- ・平成30年 4月 1日 公益財団法人兵庫丹波の森協会が、ささやまの森公園の指定管理者となる。
(平成30年度～令和2年度)
- ・平成30年11月11日 来園者30万人達成記念
- ・令和元年10月12日 コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社による「水源の森たんばささやま」の活動はじまる
- ・令和2年 3月21日 ささもりのステージ改築工事完成
- ・令和2年 6月 4日 たいこ橋改修工事完成
- ・令和2年 8月30日 散策路(こもれびの園地下)災害復旧工事完成
- ・令和3年 3月 8日 ホームページリニューアル及びスマホ対応化完成
- ・令和3年 3月11日 木柵(ハンノキ林周辺)修繕工事完成
- ・令和3年 3月19日 階段(東屋上)改修工事完成
- ・令和3年 3月22日 浄化槽設置工事完成
- ・令和3年 4月 1日 公益財団法人兵庫丹波の森協会が、ささやまの森公園の指定管理者となる。
(令和3年度～令和5年度)
- ・令和3年 7月21日 森の道場換気設備工事完成
- ・令和3年 9月20日 給水ポンプ整備工事完成
- ・令和3年12月 8日 管理棟外壁塗装工事完成
- ・令和4年 2月 3日 木橋補修工事完成(アカマツ林の散策路)
- ・令和4年 2月 3日 木柵補修工事完成(アカマツ林の散策路)
- ・令和4年 8月31日 エビズエの道崩落箇所復旧工事完成
- ・令和4年10月 3日 ハンノキ林木柵修繕工事完成
- ・令和4年11月 6日 開園20周年記念式典
- ・令和4年11月21日 「水源の森たんばささやま」森開き式
- ・令和5年 3月31日 八幡谷川木柵修繕工事完成
- ・令和5年 7月14日 灰小屋完成
- ・令和5年 8月10日 事務室・調理室エアコン新設工事
- ・令和6年 1月28日 野鳥看板(公園で見られる野鳥たち)をQRコード付看板に更新
- ・令和6年 3月14日 駐車場一部碎石敷均し工事完成
- ・令和6年 3月29日 たいこ橋木柵修繕工事完成

施設の概要

ささやまの森公園の概要

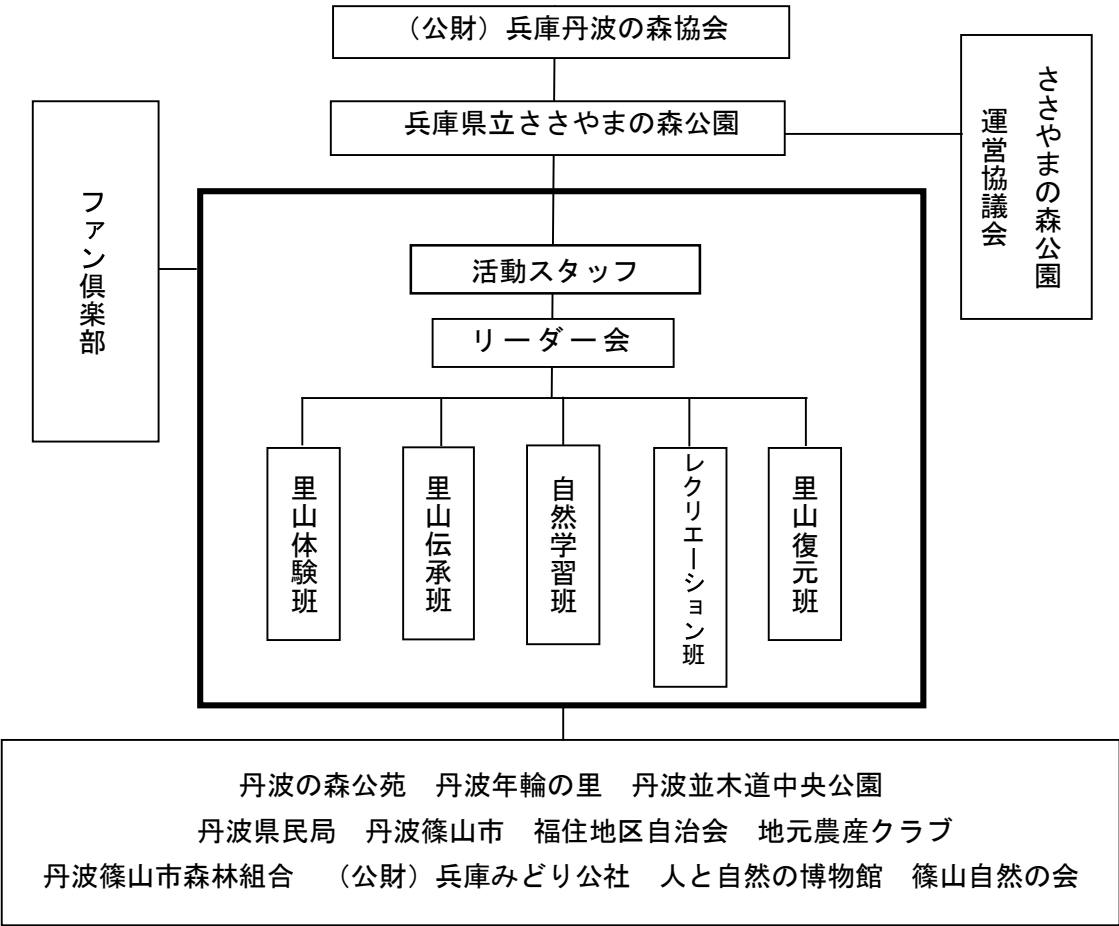
活動拠点施設がある谷を中心に両側の尾根までを「ささやまの森公園」の範囲としています。その中には、兵庫県所有地と借地を含んでおり、面積は255haにおよび、人工林30%自然林70%が広がります。なお、平成14年7月開園から令和5年度末までの利用者数累計は409,775人です。

名 称	内 容
活 動 拠 点 施 設	事務局・森の道場・和室・倉庫・台所・トイレ・手押しポンプ
森 守 の 小 屋	活動スタッフの研修・集会・休憩場所として活動スタッフの手で建築
ロ グ 小 屋	作業車の格納庫として、活動スタッフが間伐材を利用して建築
竹 の 館	木工材料の乾燥・保管場所(4×10m) 活動スタッフが間伐材を利用して建築
炭 焼 き 窯	直径1.8mの本格的な炭焼き窯
杣 小 屋	木工細工所として、活動スタッフの手で建築
さ さ も り 窯	丹波焼きの技術を取り入れた窯で、パン・ピザも焼くことができる設計にした
木 の 館	木材乾燥小屋として、活動スタッフが間伐材を利用して建築
野 鳥 観 察 小 屋	雑木林の中に野鳥が観察できる小屋(16㎡)が完成
ビ オ ト ー プ 池	トンボや水生生物などが集まり、自然観察ができる場
ク リ 林 の 園 地	クリ林の中での活動、交流など集いの拠点
万 兎 の 森	昆虫や鳥を呼ぶ森作りとして、活動スタッフの手で植樹・造成
万 兎 の 野 草 園	石庭形式の中に、公園内の野草を集め観察できる庭を完成
水 辺 の 広 場	溪流の傍に芝生の広場が広がり、木陰・石ベンチがあり子どもの遊び場
野 鳥 の 森	鳥を呼ぶ森作りとして、活動スタッフの手で植樹
こ も れ び の 園 地	コナラ林の明るい散開林に東屋があり、ネイチャーゲームや野鳥観察ができる
森 の 遊 び 場	ヒノキ林の中にある森の迷路の遊び場
モ リ ア オ ガ エ ル の 池	季節にはモリアオガエルが産卵する池で、説明板や観察台を設置
果 樹 園	農家の庭先に植えてあるような果樹を栽培
散 策 路	湖岸の散策路・アカマツ林の散策路・雑木林の散策路・黄葉樹の散策路・木の 実の散策路・さえずりの散策路、湖上の散策路等全長12.640km整備
ハ イ キ ン グ 道	尾根に全長10kmのハイキングコースを活動スタッフの手で開拓・整備
さ さ も り の ス テ ー ジ	森の中のステージで演奏会などの利用ができる
水 車 小 屋	「コットン、コットン」の音とともに昔の里山風景をつくっている
灰 小 屋	灰小屋で焼成した灰肥料を園内の畑で利活用
駐 車 場	施設前駐車場(50台)・ダム西駐車場(50台)・ダム東駐車場(30台)

組織と職員

令和6年3月31日 現在

(1) 組織体系



- ファン倶楽部：運営を支援するための年会費制応募者。
- 活動スタッフ：プログラムの企画・実施や、ささやまの森公園で里山活動を行う。

(2) 職員

担 当	氏 名
公園長兼管理課長	奥 田 格
経 理 担 当	木 戸 亜 由 美
プログラム担当	長 井 吉 広
森 づ く り 担 当	藤 井 満 成
総 務 担 当	藤 原 一 美
総 務 担 当	大 西 和 之

丹波並木道中央公園

- ・ 活動一覧
- ・ 施設利用一覧
- ・ 森の円卓会議の開催状況及び委員名簿
- ・ 施設の概要・沿革
- ・ 組織と職員

活動一覧

丹波並木道中央公園

令和5年4月1日～令和6年3月31日

月 日	主 な 事 項	参加者
令和5年4月		
	レンタサイクル	66
11日	心とからだの癒し講座 「木の実の宝箱づくり」	4
15日	お茶会	9
16日	ノルディックウォーキング	7
	ひとはくユース昆虫研究室	30
23日	たんばオープンガーデン2023	-
	なみきみちクラフト	20
24日	たんばオープンガーデン2023	-
5月		
	レンタサイクル	81
3日	石ころアート（わくわくフェス）	88
	並木道水彩画倶楽部展示会	124
4日	並木道水彩画倶楽部展示会	223
	バードネストアレンジ（わくわくフェス）（午前）	8
	バードネストアレンジ（わくわくフェス）（午後）	9
5日	並木道水彩画倶楽部展示会	241
	木エクラフト～ミニプランター～	6
	木エクラフト～イス～	10
6日	並木道水彩画倶楽部展示会	53
7日	並木道水彩画倶楽部展示会	16
	多肉植物の寄せ植え（午前）	1
	多肉植物の寄せ植え（午後）	7
8日	並木道水彩画倶楽部展示会	7
9日	心とからだの癒し講座（梅雨のガラス絵）	4
13日	化石発掘体験会（丹波篠山市教委）（午前）	7
	化石発掘体験会（丹波篠山市教委）（午後）	3
14日	新茶の体験	18
15日	ひとはくユース昆虫研究室	20
19日	花と緑の教室（午前）	13
	花と緑の教室（午後）	12
21日	ノルディックウォーキング	11
	Let's青空モルック	8
	たんばオープンガーデン2023	-
22日	たんばオープンガーデン2023	-
23日	赤米の田植え体験（つきかげ認定こども園）	21
	赤米の田植え体験（みのり認定こども園）	24
28日	赤米の田植体験（一般）	22
6月		
	レンタサイクル	73
3日	丹波茶新茶を淹れて飲んでみよう	21
4日	なみきみちクラフト	6
5日	木エサポーター	3
	トライやるウィーク（1日目）	4
6日	トライやるウィーク（2日目）	4

月 日	主 な 事 項	参加者
7 日	トライやるウィーク（3日目）	4
8 日	トライやるウィーク（4日目）	4
9 日	トライやるウィーク（5日目）	4
12 日	木工サポーター	3
13 日	心とからだの癒し講座	5
16 日	花と緑の教室（午前）	10
16 日	花と緑の教室（午後）	10
	花と緑の教室（材料のみ）	
	夏の花木を使った寄せ植えと管理法	2
17 日	大人の木工教室	5
18 日	ノルディックウォーキング	7
	ひとはくユース昆虫研究室	20
19 日	木工サポーター	3
26 日	木工サポーター	3
28 日	第1回なみきみちまつり実行委員会	15
7 月		
	レンタサイクル	47
1 日	大人の木工教室	2
3 日	木工サポーター	3
7 日	トヨタベンチづくり	5
9 日	ひとはくユース昆虫研究室	15
14 日	草木染め教室（古市幼稚園）	21
	トヨタベンチづくり	8
15 日	大人の木工教室	2
16 日	ノルディックウォーキング	7
17 日	木工サポーター	1
21 日	花と緑の教室（観葉植物）	18
22 日	なみきみちクラフト	7
29 日	化石発掘体験会（丹波篠山市教委）	7
30 日	和紅茶をつくろう	10
	なみきみちクラフト	5
31 日	刃物研ぎ教室	7
8 月		
	レンタサイクル	80
2 日	第2回なみきみちまつり実行委員会	9
5 日	化石発掘体験会（丹波篠山市教委）	10
	大人の木工教室	2
6 日	なみきみちクラフト	5
9 日	そうめん流し	6
19 日	大人の木工教室	1
20 日	ノルディックウォーキング	5
28 日	木工サポーター	4
9 月		
	レンタサイクル	64
3 日	第13回なみきみちマルシェ	5, 680
4 日	木工サポーター	2
5 日	かかし立て（つきかげ認定こども園）	27
	かかし立て（みのり認定こども園）	27
6 日	第3回なみきみちまつり実行委員会	11
8 日	ネットトヨタ神戸ベンチづくり	7
10 日	ひとはくユース昆虫研究室	18

月 日	主 な 事 項	参加者
1 2 日	心とからだの癒し講座 ～芝人形づくり～	6
1 5 日	花と緑の教室（午前）	1 2
1 6 日	大人の木工教室	3
1 7 日	ノルディックウォーキング	4
1 8 日	木工サポーター	3
2 2 日	なみきみちまつり出店者説明会	1 1
2 3 日	なみきみちデイキャンプ	9
2 4 日	ペーパークラフトワークショップと和紅茶を味わう	9
2 5 日	木工サポーター	4
2 6 日	第4回なみきみちまつり実行委員会	1 1
1 0 月		
	レンタサイクル	9 1
1 日	第10回丹波なみきみちまつり2023収穫祭	8, 8 9 2
2 日	木工サポーター	3
7 日	大人の木工教室	1
8 日	ひとはくユース昆虫研究室	1 8
1 3 日	木工クラフト（ワラワラ市留学生）	1 7
1 5 日	ノルディックウォーキング	1 1
	黒枝豆の収穫体験（午前）	7
	黒枝豆の収穫体験（午後）	1 2
1 6 日	木工サポーター	2
1 8 日	丹波篠山市・丹波市中学校駅伝大会	2 2 5
2 0 日	花と緑の教室（午前）	1 9
	秋の草花の寄せ植えと管理法	
2 3 日	木工サポーター	4
	赤米の稲かり体験（つきかげ認定こども園）	2 2
	赤米の稲かり体験（みのり認定こども園）	2 4
2 5 日	丹有地区中学校駅伝大会	2 2 8
2 8 日	なみきみちデイキャンプ	1 5
2 9 日	赤米の稲かり体験	2 3
3 0 日	木工サポーター	2
1 1 月		
	レンタサイクル	7 5
1 日	なみきみちクラフト（味間小学校）	3 7
2 日	なみきみちクラフト（味間小学校）	3 6
4 日	大人の木工教室	2
	丹波篠山市ミニ駅伝大会	1 1 0
5 日	なみきみちクラフト	5
6 日	木工サポーター	2
7 日	なみきみちクラフト（味間小学校）	3 4
8 日	ひとはく石割調査準備	5
9 日	ひとはく石割調査	7
1 1 日	ひとはく石割調査	8
1 2 日	ひとはく研究員と一緒に化石を探そう！	4 0
	ひとはくユース昆虫研究室	1 8
	歩こう会（山南谷川9区自治会）	4 5
1 4 日	ひとはく石割調査	3
1 7 日	第5回なみきみちまつり実行委員会	8
1 8 日	ひとはく石割調査	1 0
	大人の木工教室	1
1 9 日	ノルディックウォーキング	6
	ひとはく石割調査	1 4
	心とからだの癒し講座 ～幸福を呼ぶ福来郎～	4

月 日	主 な 事 項	参加者
20日	木工サポーター	2
21日	ひとはく石割調査	6
22日	ひとはく石割調査	8
24日	花と緑の教室（午前） ポインセチアを使った寄せ植えと管理法	17
26日	なみきみちデイキャンプ	10
27日	木工サポーター	2
12月		
	レンタサイクル	43
4日	木工サポーター	3
9日	大人の木工教室	1
10日	ひとはくユース昆虫研究室	18
	石油発動機運転会	13
	しめ縄づくり	14
11日	木工サポーター	2
15日	花と緑の教室（午前） 正月を飾る寄せ植えと管理法 花と緑の教室（午後） 正月を飾る寄せ植えと管理法	10 11
17日	ノルディックウォーキング 心とからだの癒し講座 「クリスマスのアロマワックスサシェ」	8 11
18日	木工サポーター懇親会	4
23日	丹波篠山市駅伝競走大会	236
令和6年1月		
	レンタサイクル	47
7日	つくって遊ぼう凧づくり（午前） つくって遊ぼう凧づくり（午後）	2 15
8日	木工サポーター	2
15日	木工サポーター	2
21日	ノルディックウォーキング	11
22日	木工サポーター	4
29日	木工サポーター	3
2月		
	レンタサイクル	57
4日	寒茶づくり	9
12日	木工サポーター	3
16日	花と緑の教室（午前） 早春の草花の寄せ植えと管理法 花と緑の教室（午後） 早春の草花の寄せ植えと管理法	7 9
18日	ノルディックウォーキング	11
19日	木工サポーター	3
20日	たまみず幼稚園クラフト	9
25日	第8回なみきみち冬の味覚市	1, 442
3月		
	レンタサイクル	44
3日	なみきみちクラフト	3
8日	森の円卓会議	16
10日	化石発掘体験会（フィールドミュージアム） 化石発掘体験会（フィールドミュージアム）	10 10

月 日	主 な 事 項	参加者
	化石発掘体験会（フィールドミュージアム）	1 0
1 1 日	木工サポーター	3
1 5 日	花と緑の教室（午前） 春の草花の寄せ植えと管理法	1 1
	花と緑の教室（午後） 春の草花の寄せ植えと管理法	1 2
1 6 日	大人の木工教室（特別ver.）（午前）	4
	大人の木工教室（特別ver.）（午後）	4
1 7 日	春のなみきみちマルシェ ノルディックウォーキング	3, 6 7 6 3
2 4 日	なみきみちデイキャンプ	5
2 5 日	木工サポーター	2

施設利用一覧

丹波並木道中央公園

令和5年4月1日～令和6年3月31日

実施等	団体名	活動内容	参加者数
4月	3日 新婦人の会（絵手紙教室）	絵手紙教室	5
	4日 第10福寿会	グラウンドゴルフ	9
	住友ゴム	植樹活動	5
	丹波彫刻会	彫刻教室	9
	5日 住友ゴム	植樹活動	6
	篠山桜協会	園内散策	37
	6日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
	丹波彫刻会	彫刻教室	6
	7日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
	8日 関西地理の会	園内散策	30
	10日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	9
	11日 楽らく美香草	心とからだの癒し講座	4
	第10福寿会	グラウンドゴルフ	8
	人と自然の博物館	教室下見	2
	丹波彫刻会	彫刻教室	9
	13日 にし木会	グラウンドゴルフ	11
	14日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
	森さんお茶会	お茶会の準備	2
	15日 森さんお茶会	お茶会	21
	18日 第10福寿会	グラウンドゴルフ	6
	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	7
	丹波彫刻会	彫刻教室	9
	20日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	9
	23日 エスパティオスポーツクラブ	木エクラフト	20
	24日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	6
	25日 丹波彫刻会	彫刻教室	8
	27日 にし木会	グラウンドゴルフ	10
	丹波彫刻会	彫刻教室	4
	28日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	6
5月	1日 新婦人の会（絵手紙教室）	絵手紙教室	5
	2日 第10福寿会	グラウンドゴルフ	9
	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
	9日 第10福寿会	グラウンドゴルフ	8
	丹波彫刻会	彫刻教室	9
	11日 にし木会	グラウンドゴルフ	10
	認定こども園ミライズそら	園内散策	40
	12日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
	15日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	6
	16日 第10福寿会	グラウンドゴルフ	6
	丹波彫刻会	彫刻教室	10
	住友ゴム	植樹活動	5
	17日 住友ゴム	植樹活動	6
	18日 丹波彫刻会	彫刻教室	4
	22日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室（屋外でスケッチ）	7
	23日 第10福寿会	グラウンドゴルフ	6
	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室（屋外でスケッチ）	6
	丹波彫刻会	彫刻教室	8
	25日 にし木会	グラウンドゴルフ	10

実施等	団体名	活動内容	参加者数
	25日 丹波篠山市教育委員会	子育て支援団体情報交換会	20
	26日 トライやるウィーク中学生	事前訪問	4
	27日 住友生命	園内ウォーキング	23
	29日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	6
	30日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	8
	第10福寿会	グラウンドゴルフ	9
	丹波彫刻会	彫刻教室	9
6月	6日 第10福寿会	グラウンドゴルフ	6
	ふじ幼稚園（三田市）	遠足	70
	7日 グループホームゆとりの家	園内散策	13
	8日 にし木会	グラウンドゴルフ	12
	9日 岡野幼稚園	遠足	19
	今田小学校	遠足	24
	13日 丹波彫刻会	彫刻教室	8
	14日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
	住友ゴム	植樹活動	6
	15日 丹波彫刻会	彫刻教室	3
	19日 多紀小学校	遠足	19
	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
	20日 第10福寿会	グラウンドゴルフ	7
	住友ゴム	植樹活動	5
	丹波彫刻会	彫刻教室	6
	21日 住友ゴム	植樹活動	5
	26日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	8
	27日 第10福寿会	グラウンドゴルフ	6
	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	7
	丹波彫刻会	彫刻教室	7
7月	3日 新婦人の会（絵手紙教室）	絵手紙教室	4
	4日 第10福寿会	グラウンドゴルフ	5
	丹波彫刻会	彫刻教室	8
	6日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	6
	7日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	7
	8日 太古の生きもの館	セミナー	12
	11日 丹波彫刻会	彫刻教室	7
	12日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	7
	13日 丹波彫刻会	彫刻教室	3
	18日 第10福寿会	グラウンドゴルフ	9
	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	6
	丹波彫刻会	彫刻教室	7
	24日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	6
	25日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	6
	第10福寿会	グラウンドゴルフ	9
	住友ゴム	植樹活動	4
	丹波彫刻会	彫刻教室	7
	26日 住友ゴム	植樹活動	6
	27日 丹波彫刻会	彫刻教室	3
	にし木会	グラウンドゴルフ	4
	31日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	6
8月	丹波彫刻会	彫刻教室	8
	第10福寿会	グラウンドゴルフ	6
	3日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
	4日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	6

実施等	団体名	活動内容	参加者数
	4日 丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム	園内散策	30
	7日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	7
	8日 兵庫県議会総務常任委員会	園内視察	18
	9日 住友ゴム	植樹活動	4
	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	4
	10日 丹波彫刻会	彫刻教室	4
	16日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	4
	17日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	4
	加東市商工観光課	視察	3
	19日 丹南中学校	駅伝練習	32
	20日 八景中学校	駅伝練習	20
	けやき台中学校	駅伝練習	19
	21日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	7
	社会福祉法人風 三田わくわく村	園内散策	10
	22日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
	丹波彫刻会	彫刻教室	9
	24日 丹波彫刻会	彫刻教室	4
	28日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	6
	29日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	4
	丹波彫刻会	彫刻教室	8
	30日 住友ゴム	植樹活動	6
9月	4日 丹波篠山市観光協会理事会	視察	10
	5日 丹波彫刻会	彫刻教室	5
	7日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	7
	8日 丹波の森花くらぶ	寄せ植え教室	28
	10日 丹南中学校	駅伝練習	40
	けやき台中学校	駅伝練習	20
	篠山東中学校	駅伝練習	15
	11日 柏原中学校	駅伝練習	14
	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	9
	12日 第10福寿会	グラウンドゴルフ	9
	丹波彫刻会	彫刻教室	6
	13日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	7
	14日 にし木会	グラウンドゴルフ	9
	丹波彫刻会	彫刻教室	5
	16日 山南中学校	駅伝練習	8
	篠山東中学校	駅伝練習	7
	三田学園中学校	駅伝練習	27
	18日 ゆりのき台中学校	駅伝練習	27
	19日 第10福寿会	グラウンドゴルフ	10
	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
	丹波彫刻会	彫刻教室	8
	21日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	4
	25日 山南中学校	駅伝練習	9
	26日 第10福寿会	グラウンドゴルフ	7
	丹波彫刻会	彫刻教室	4
	住友ゴム	植樹活動	6
	27日 住友ゴム	植樹活動	5
	28日 にし木会	グラウンドゴルフ	10
	丹波彫刻会	彫刻教室	3
	30日 味間スポーツクラブ21	スポーツ教室	15

実施等	団体名	活動内容	参加者数
10月 3日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	6
	丹波彫刻会	彫刻教室	10
4日	住友ゴム	植樹活動	3
	八上幼稚園	園内散策	32
5日	丹波の森花くらぶ	寄せ植え教室	10
	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	4
6日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
	みどりこども園	園内散策	19
7日	柏原高校ギター部	園内散策	21
	篠山中学校	駅伝練習	30
	丹南中学校	駅伝練習	40
	青垣中学校	駅伝練習	15
	柏原中学校	駅伝練習	12
	氷上中学校	駅伝練習	20
	八景中学校	駅伝練習	20
	けやき台中学校	駅伝練習	16
8日	富士中学校	駅伝練習	17
	長坂中学校	駅伝練習	8
	篠山東中学校	駅伝練習	11
10日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	6
	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	6
	丹波彫刻会	彫刻教室	8
	高齢者大学	ノルディックウォーキング教室	20
11日	西紀保育園	遠足	41
12日	西紀南幼稚園	遠足	42
	にし木会	グラウンドゴルフ	10
	丹波彫刻会	彫刻教室	2
	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
13日	青い鳥学級	園内散策	30
	今田幼稚園	遠足	33
14日	篠山東中学校	駅伝練習	11
	春日中学校	駅伝練習	17
	篠山中学校	駅伝練習	30
16日	大山幼稚園	遠足	15
17日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	4
	篠山幼稚園	遠足	20
	第10福寿会	グラウンドゴルフ	5
	丹波彫刻会	彫刻教室	9
18日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
20日	富山こども園	園内散策	21
21日	八景中学校	駅伝練習	19
	篠山東中学校	駅伝練習	11
	狹間中学校	駅伝練習	20
	富士中学校	駅伝練習	12
	篠山中学校	駅伝練習	30
	丹波障害者就業・生活支援センター ほっぷ	園内散策	19
22日	長坂中学校	駅伝練習	8
	ゆりのき台中学校	駅伝練習	10
23日	北摂第1幼稚園	遠足	75
24日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	6
	丹波彫刻会	彫刻教室	8

実施等	団体名	活動内容	参加者数
	24日 味間こども園	遠足	80
	26日 にし木会	グラウンドゴルフ	10
	27日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	7
	富山こども園	遠足	32
	松蔭中学校	園内散策	70
	28日 浜田保育園	遠足	90
	30日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	7
	富山こども園	遠足	15
	31日 第10福寿会	グラウンドゴルフ	6
11月	2日 城南幼稚園	遠足	43
	6日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	6
	7日 丹波彫刻会	彫刻教室	8
	9日 丹波彫刻会	彫刻教室	5
	富山こども園	遠足	17
	にし木会	グラウンドゴルフ	9
	10日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	7
	11日 アーティストモーション	遠足	15
	13日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
	14日 丹波彫刻会	彫刻教室	9
	19日 小野市国際交流協会	園内散策	10
	20日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	7
	立花南小学校（尼崎市）	遠足	107
	21日 第10福寿会	グラウンドゴルフ	7
	認定こども園ミライズそら	遠足	37
	海峡フレンズ	研修	30
	丹波彫刻会	彫刻教室	9
	25日 住友生命	ノルディックウォーキング教室	20
	27日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
	28日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	6
	第10福寿会	グラウンドゴルフ	8
	丹波彫刻会	彫刻教室	11
12月	1日 岩国小学校（芦屋市）	遠足	153
	NTT	wifi調査	5
	5日 第10福寿会	グラウンドゴルフ	8
	丹波彫刻会	彫刻教室	7
	6日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	4
	7日 にし木会	グラウンドゴルフ	12
	丹波彫刻会	彫刻教室	4
	8日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	4
	11日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	7
	12日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	4
	丹波彫刻会	彫刻教室	10
	住友ゴム	植樹活動	4
	13日 住友ゴム	植樹活動	4
	19日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	6
	21日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	6
	25日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	7
	26日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	4
令和6年			
1月	9日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
	丹波彫刻会	彫刻教室	13

実施等	団体名	活動内容	参加者数
	10日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	7
	11日 丹波彫刻会	彫刻教室	3
	15日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	4
	16日 丹波彫刻会	彫刻教室	7
	17日 昔ばなし大学	研修会	5
	18日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
	19日 丹波年輪の里	木工作業	2
	23日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	7
	24日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	3
	丹波彫刻会	彫刻教室	10
	25日 丹波彫刻会	彫刻教室	5
	30日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	13
	住友ゴム	植樹活動	5
	丹波彫刻会	彫刻教室	10
	31日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
	住友ゴム	植樹活動	5
2月	6日 丹波彫刻会	彫刻教室	9
	7日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	7
	8日 丹波彫刻会	彫刻教室	4
	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	7
	13日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	7
	多紀小学校3年生	課外学習（かまど炊飯）	28
	丹波彫刻会	彫刻教室	11
	20日 丹波彫刻会	彫刻教室	12
	21日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	7
	22日 丹波彫刻会	彫刻教室	5
	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
	27日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	7
	住友ゴム	植樹活動	5
	丹波彫刻会	彫刻教室	8
	28日 住友ゴム	植樹活動	5
	29日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	6
3月	4日 認定こども園みつみ	遠足	120
	5日 丹波彫刻会	彫刻教室	9
	6日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	6
	7日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
	丹波の森花くらぶ	研修会	9
	12日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	4
	丹波彫刻会	彫刻教室	9
	13日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	7
	丹波彫刻会	彫刻教室	8
	住友ゴム	植樹活動	5
	14日 にし木会	グラウンドゴルフ	9
	丹波彫刻会	彫刻教室	4
	丹波市立東小学校	遠足	44
	19日 第10福寿会	グラウンドゴルフ	7
	丹波彫刻会	彫刻教室	9
	21日 丹波の森花くらぶ	研修会	9
	22日 並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	7
	26日 丹波彫刻会	彫刻教室	7
	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	7

実施等	団体名	活動内容	参加者数
27日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	8
	住友ゴム	植樹活動	5
28日	にし木会	グラウンドゴルフ	10
	丹波彫刻会	彫刻教室	3

丹波並木道中央公園森の円卓会議開催状況

森の円卓会議開催状況

区 分	開 催 日	開 催 地	出席者数	協 議 事 項
第 1 回	8 月 3 0 日	丹波並木道中央公園 管理事務所会議室	1 7 名	(1) 令和 4 年度第 2 回議事録について(報告) (2) 令和 5 年度の運営管理事業について(報告・計画) (3) 第 1 0 回丹波なみきみちまつりについて(報告) (4) 県土木事務所関連事業について (5) その他
第 2 回	令和 6 年 3 月 8 日	丹波並木道中央公園 かやぶき民家	2 0 名	(1) 令和 5 年度第 1 回議事録について(報告) (2) 令和 5 年度の運営管理事業について(報告) (3) 令和 5 年度公園アンケート集計について(報告) (4) 令和 6 年度の運営管理事業について(計画) (5) 丹波並木道中央公園におけるあり方検討について (6) その他

丹波並木道中央公園 森の円卓会議名簿

令和6年3月31日現在

職名	氏 名	職 名 ・ 所 属 等
委員長	角野 幸博	関西学院大学教授、丹波の森公苑長、丹波の森研究所所長
副委員長	杉尾 吉弘	株式会社 夢こんだ社長
副委員長	土性 里花	一般社団法人ウイズささやま 総務課長
委員	谷垣 友里	一般社団法人 R00T 代表理事
委員	上野 浩司	大山郷づくり協議会 会長
委員	溝端 義男	味間地区まちづくり協議会 会長
委員	雪岡 昌	大山下自治会会長
委員	森井 和昌	西古佐自治会会長
委員	角谷 慶治	篠山自然の会 副代表
委員	池田 忠広	兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員
委員	中谷 光孝	(公財) 兵庫県園芸・公園協会 総務部長
委員	大垣 至康	(公財) 兵庫丹波の森協会 常務理事
オブザーバー	西脇 誠	協同組合 丹波林産振興センター理事
オブザーバー	團野 秋男	篠山市左官技術研究会 会長
オブザーバー (行政)	高本 良平	兵庫県県土整備部まちづくり局公園緑地課整備班
オブザーバー (行政)	小藪 あゆみ	丹波県民局 丹波土木事務所 公園砂防課 課長
オブザーバー (行政)	三浦 仁志	丹波県民局 丹波土木事務所 管理課 課長
オブザーバー (行政)	村上 由樹	丹波篠山市教育委員会 文化財課 課長

施設の概要・沿革

丹波並木道中央公園について

1 概要

丹波並木道中央公園は、「丹波の森構想」に基づく広域レクリエーション、都市と農村の交流及び地域活性化の拠点となる丹波地域初の広域公園です。

本公園を「丹波の夢ビジョン」で示されている「いのち（自然）、ひと（人間）、なりわい（産業）」の3つの「環」を育む拠点として、県民の参画と協働によって魅力的な森の空間を体感していただける公園です。

- 所在地 兵庫県丹波篠山市西古佐・大山下
- 開園面積 70,9ha
- 開園年月 平成19年10月14日
- 種別 広域公園
- 休業日 12月29日～1月3日
- 主な施設

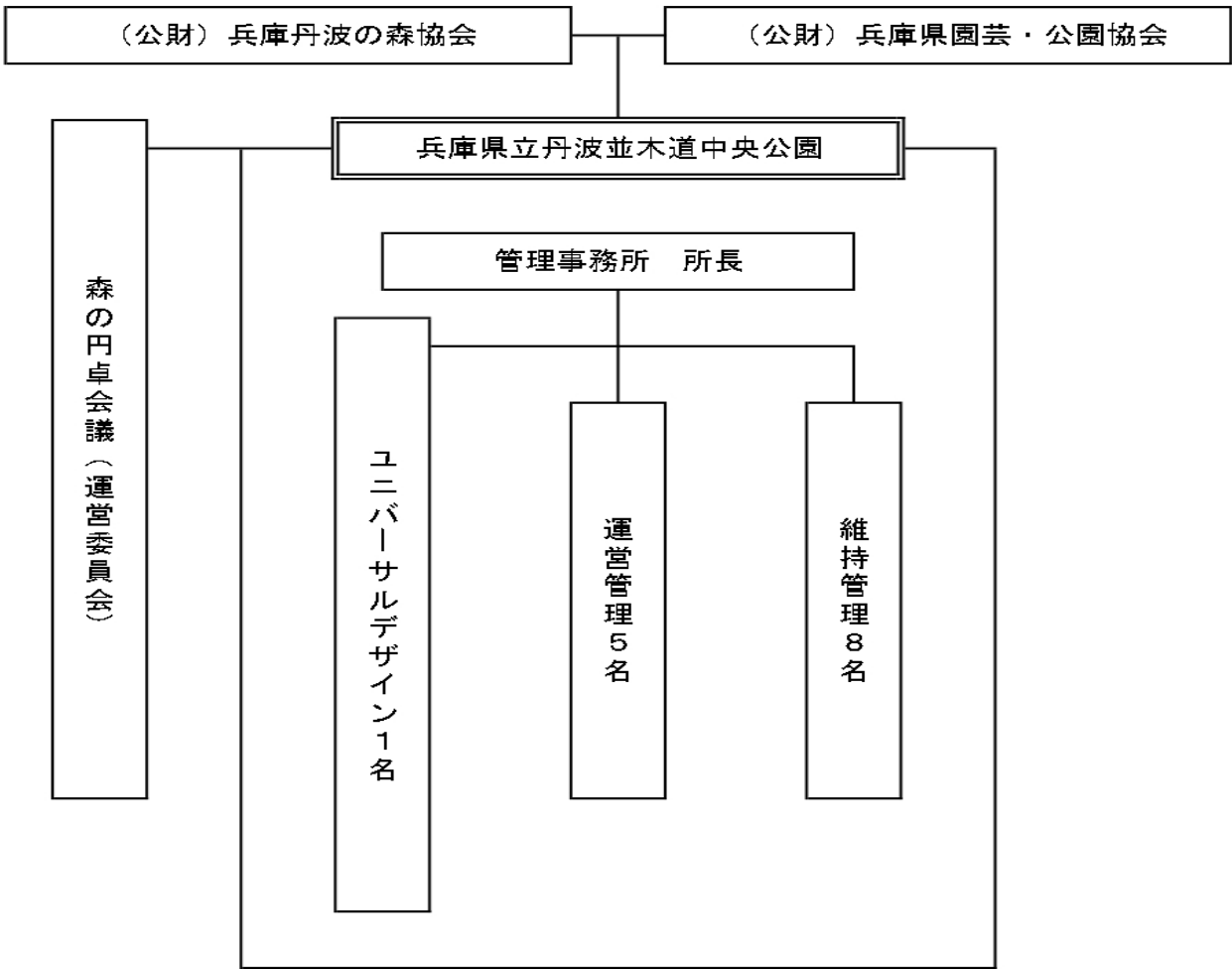
名 称	内 容
公 園 管 理 棟	事務所、会議室、トイレ、授乳室（木造平屋建 279㎡）
か や ぶ き 民 家	畳部屋、かまど、トイレ（木造平屋建 242㎡）
森 林 活 動 セ ン タ ー	森林活動拠点（木造平屋建 374㎡）
駐 車 場	普通乗用車161台（大型駐車場5台）
広 場	芝生広場（4,200㎡）、森の広場（9,400㎡）、お花見広場（1,900㎡）、朝市広場（1,200㎡）
棚 田	棚田（2,200㎡）、あおぞら広場（2,500㎡）
育 成 展 示 林	生産林（5,1ha）、景観林（1,8ha）、活動林（2,6ha）、
植 栽 地 等	高木 約1,000本、中低木 約7,200本
ト イ レ ・ 休 憩 所	トイレ4棟、東屋7棟、展望テラス1基、パーゴラ2基
調 整 池	調整池3箇所、ため池1箇所
倉 庫	木造平屋建 30㎡ 2棟
遊 具 等	遊具3基、木製散歩道77m、動く恐竜模型2体
森 の 聖 域 ゾ ー ン	21,4ha
サイクルステーション	休憩所、シャワー室、更衣室、便所、駐車場5台

2 沿 革

- ・平成19年10月14日 公園開園
- ・平成23年 4月 1日 財団法人兵庫丹波の森協会が財団法人兵庫園芸・公園協会とともに指定管理者となる。（平成23年度～平成27年度）
- ・平成24年10月15日 公園開園5周年
- ・平成28年 4月 1日 公益財団法人兵庫丹波の森協会が公益財団法人兵庫園芸・公園協会とともに指定管理者となる。（平成28年度～令和2年度）
- ・平成29年10月15日 公園開園10周年
- ・令和 3年 4月 1日 公益財団法人兵庫丹波の森協会が公益財団法人兵庫園芸・公園協会とともに指定管理者となる。（令和3年度～令和7年度）

組織と職員

(1) 組織体系



(2) 業務分担表 (兵庫丹波の森協会所属スタッフのみ)

令和6年3月31日現在

	役職・氏名	担当業務内容
管理事務所	総括責任者 (所長) 清水 康之	・ 公園管理業務の総括及び各業務の総合調整 ・ 対外的対応の総括 ・ 安全管理の総括 ・ 森の円卓議会の開催、運営企画
	ユニバーサル デザインアドバイザー 門上 保雄	・ 平等利用の確保や利用サービスの向上に関する助言 ・ ユニバーサルデザイン・パークの取組に関する助言
	管理運営マネージャー 田邊 和彦	・ 統括責任者の代行、補佐 ・ 住民の参画と協働の実務 ・ 広報発行、イベント企画 ・ 苦情処理、利用調整、利用者対応等 ・ 森の円卓議会の開催、運営企画

管理事務所	維持管理マネージャー 奥野 直之	・維持管理計画の作成・実行 ・作業工程管理、安全管理 ・維持管理関係の各種調整 ・苦情処理、利用調整、利用者対応等
	総務・管理 コーディネーター 谷口 政代	・財務会計処理業務 ・事業報告書処理業務 ・森の円卓議会の企画、運営 ・広報紙の企画・編集、情報発信
	利用促進コーディネーター 溝端 季子	・受付業務、苦情処理業務 ・利用調整、利用者対応業務 ・会計処理業務 ・住民の参画と協働のサポート ・イベント企画、各種調整
	利用促進コーディネーター 花川 恭子	・受付業務、苦情処理業務 ・利用調整、利用者対応業務 ・会計処理業務 ・住民の参画と協働のサポート ・イベント企画、各種調整
森林活動センター	里山デザイン コーディネーター 吉田 武史	・森林活動センターの各種プログラムの企画、開催、運営 ・森林活動センターの維持管理作業 ・利用者対応、苦情受付
維持管理担当	維持管理スタッフ 足立 久典	・園内維持管理作業 ・施設、設備点検業務 ・利用者対応、苦情受付 ・園内清掃業務
	維持管理スタッフ 岡田 康裕	・園内維持管理作業 ・施設、設備点検業務 ・利用者対応、苦情受付 ・園内清掃業務
	維持管理スタッフ 富田 浩之	・園内維持管理作業 ・施設、設備点検業務 ・利用者対応、苦情受付 ・園内清掃業務
	維持管理スタッフ 長澤 清一	・園内維持管理作業 ・施設、設備点検業務 ・利用者対応、苦情受付 ・園内清掃業務
	清掃スタッフ 高見 克彦	・園内維持管理作業 ・施設、設備点検業務 ・利用者対応、苦情受付 ・園内清掃業務
	清掃スタッフ 寺井 智	・園内維持管理作業 ・施設、設備点検業務 ・利用者対応、苦情受付 ・園内清掃業務
	清掃スタッフ 小倉 光	・園内維持管理作業 ・施設、設備点検業務 ・利用者対応、苦情受付 ・園内清掃業務

利用案内

丹波の森公苑

■開園時間 午前9時～午後10時

■休 苑 日 月曜日（祝日の場合はその翌日）
12月29日から1月3日まで

- アクセス ◇自動車利用
- ・舞鶴若狭自動車道「丹南篠山口IC」から、国道176号を福知山方面へ25分
 - ・舞鶴若狭自動車道「春日IC」から、国道175号・176号を柏原方面へ20分
 - ・北近畿豊岡自動車道「氷上IC」から、柏原青垣線、国道176号を篠山方面へ15分
 - ・中国自動車道「滝野社IC」から、国道175号を福知山方面へ45分
- ◇JR利用
- ・JR福知山線「柏原駅」下車、徒歩15分

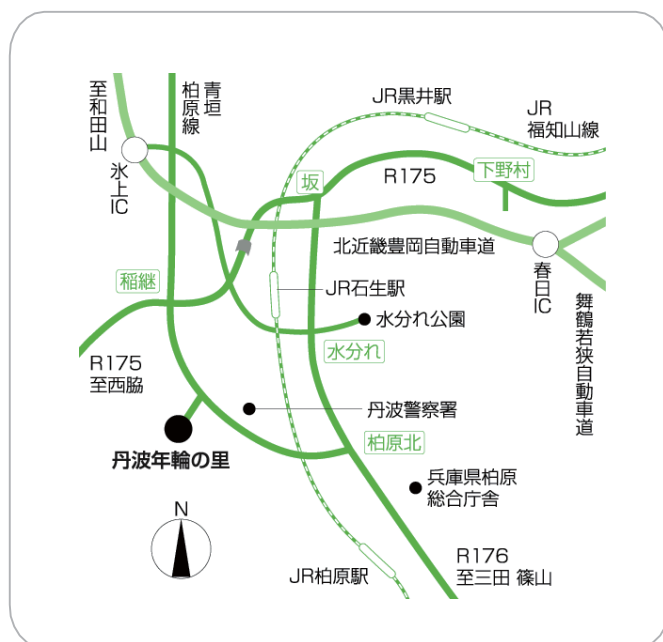


丹波年輪の里

■開園時間 午前9時～午後9時

■休 園 日 月曜日（祝日の場合はその翌日）
12月29日から1月3日まで

- アクセス ◇自動車利用
- ・舞鶴若狭自動車道「丹南篠山口IC」から、国道176号を福知山方面へ30分
 - ・舞鶴若狭自動車道「春日IC」から、国道175号・176号を柏原方面へ15分
 - ・北近畿豊岡自動車道「氷上IC」から、柏原青垣線、国道176号を篠山方面へ5分
 - ・中国自動車道「滝野社IC」から、国道175号を福知山方面へ40分
- ◇JR利用
- ・JR福知山線「柏原駅」下車、車で約5分



ささやまの森公園

■開園時間 午前 9 時～午後 5 時

■休園日 月曜日（祝日の場合はその翌日）

12 月 29 日から 1 月 3 日まで

■入園料・駐車場 無料

■アクセス

◇自動車利用

- ・舞鶴若狭自動車「丹南篠山口 IC」から、
国道 372 号を亀岡方面へ 30 分
- ・京都縦貫自動車道「亀岡 IC」から、
国道 372 号を篠山方面へ 40 分



丹波並木道中央公園

■開園時間 午前 9 時～午後 5 時

■休園日 12 月 29 日から 1 月 3 日まで

■入園料・駐車場 無料

■アクセス

◇自動車利用

- ・舞鶴若狭自動車「丹南篠山口 IC」から、
国道 175 号を福知山方面へ 10 分
- ・北近畿豊岡自動車道「氷上 IC」から、
柏原青垣線、国道 176 号を篠山方面へ 30 分
- ・中国自動車道「神戸三田 IC」から、
国道 176 号を福知山方面へ 30 分

◇JR 利用

- ・JR 福知山線「丹波大山駅」下車、徒歩 10 分

